夕刊　滿洲日報　七月十八日

本年度實行豫算各省別の節約額
きのふ大藏省議決定

[illegible]出して最後の決定をなし即日[illegible]の筈である各省別節約額左の如し（單位千圓）

省	節約額
外務省	五七〇
内務省	八、〇二〇
大藏省	二、八七〇
陸軍省	一〇、〇九〇
海軍省	二〇、〇〇〇
司法省	一、〇九〇
文部省	二、二四〇
農林省	一、二〇〇
商工省	七五〇
遞信省	一三、二六〇
拓務省	二九〇

[illegible]志願兵の一部召集延期に依る約百萬圓 二、兵器製造の延期、營繕事業繰延べに依る約百五十萬圓である

藏相首相訪問

【東京十八日發電通】井上藏相は十七日午後六時濱口首相を訪問し十八日の閣議に來年度實行豫算節約額規定せるにつき附議決定すべきを述べて詳細報告しなほ財界對策來年度豫算編成につき打合をなした

租稅割賦納入同盟陳情

【東京十七日發電通】深刻な不景氣のため租稅延納を目的とする東京牛込區内の有志より成る租稅割賦納入同盟會では十七日午後七時より牛込會館に大會を開き氣勢を擧げたが十八日朝同盟員代表約五百名大擧して大藏、内務兩省、稅務監督局及び東京府市を訪ひ陳情を爲す筈

東久邇宮殿下
名古屋旅團長御榮轉
皇族の地方へ御轉補は嚆矢

【東京十八日發電通】[illegible]に御陞進以來參謀本部[illegible]團の定期異動に際し名[illegible]御決定になつた右は殿[illegible]結果で皇族として地方[illegible]が御最初である

陸海軍の大節約交涉成立は成功
歲入缺陷の補充可能

[illegible]は若し今後なほ歲入が減じた[illegible]は再度の節約を餘儀なくさる[illegible]公約せる減稅、追加豫算及[illegible]

陸軍節約額
總額一千萬圓

製鋼所問題の閣僚協議會

多獅島築港を更に專門的調査
拓相、仙石總裁に要求

【東京十七日發電通】昭和製鋼所事業地問題につき齋藤總督は十七日松田拓相仙石總裁と會見し朝鮮側の希望を述べ諒解を求めたが、この結果松田拓相は仙石總裁に對して

多獅島築港は一千萬圓位にて出來るのではないか干滿の關係等から同島築港の技術的不能を調査しては如何

と慫慂し仙石總裁も滿鐵をして專門的調査を行はしめる事となつた斯て右調査終了後において各關係者の最後の協議を行ふ由

輕減を陳情

【東京十八日發電通】糖業聯合會では十七日砂糖消費稅輕減に關する委員會を開き協議の結果、砂糖業者の立場を考慮し現行稅法に依る第一種より第五種に至る稅率は据置きとなし政府は財政の許す範圍内にて極力消費稅輕減を圖るやう十八日の糖業聯合會總會にはその承認を求めた上で政府に陳情することに決した

航空事業から手を引く
帝國飛行協會

【東京十八日發電通】太平洋橫斷飛行計畫失敗以來兎角の批評ある帝國飛行協會は毎年一萬五千圓の補助金を交附されてゐるのにオイロツパ號修繕費も無い始末の折柄この際斷然航空事業から手を引き單に航空界の社交俱樂部として存續せしむることゝなつた模樣である

走馬燈
荻川

滿鐵（其十二）

前世紀の武裝競爭時代に臨むると、其競爭が絕頂に達した時分には、競爭同志は喧嘩をせぬ、所謂そこには武裝平和が成り立つて、慘めなは武裝なき國々である、それへ武裝國の侵略が向けられ、勝手氣儘に勢力範圍なぞを定めて、弱きものを喰ひ荒す、極東も此禍害を受けたが、餘波は容易に治まりそうでない、そこに這度は經濟競爭なるものが顯はれて、愚に役立てし武裝を後に隱しての、經濟侵略こそ油斷はならぬ。

◇

我邦は過去の武裝競爭に應じて克く極東の危險を拯つたとの自負を有す、勿論これからの經濟競爭に對しても同樣であらねばならぬが、さてそこに支那を想ふ、若し支那にして日本と相携へ所謂武裝同盟で過去の武裝競爭に對したものなら、極東の現狀は決して今日の如くでなく、或は歐米を壓し得て、當時に擾はれた國權を現在に無理して取返さうなんかと騷がんでも善かつたかも知れない、假令遲からずで、これからの經濟競爭につき、支那は何を考ふべきか。

◇

遠く距つる歐米には、支那と利害の共通點は乏しい、そうした國々が、支那に好意を寄せるとせば、其好意は利得ずくめにあらずんば、道德的のもので、國家の道德は、國家の利害にぶつかると、其力は甚だ弱い、斯う考へると、歷史のうへから、地理のうへから、將亦人文のうへから、日本ほど支那と利害の共通點を保つはない、こゝでどうじや、日支經濟同盟は、そうして過去武裝競爭に失敗した損失を、此經濟同盟で取返してはどうか、我邦としては之を望みたい。

◇

動もすると支那人士は、日本の貧弱なる、支那に由つて國を興さんとなしありと云ふ、されど此貧弱なる日本は、支那に頼らず、武裝競爭では世界に引けを取らなんだでないか、經濟競爭だとて亦當に然るべきを確信する、唯これに支那を誘ふは、過去の武裝競爭に支那が手足纏ひとなつた如く、經濟競爭にも再び然らざるかを氣遣ふが第一、次いでは同盟ともならば、手足纏ひが變じて味方となる効益を知るからで、强て支那を之に釣込もうとするでない、斯くて同盟ともならば、滿鐵なぞが其手解役じや。

婦人社員に對し發言權を與へよ
滿鐵社員會幹事會に要求す

滿鐵社員會は會員二萬一千人中婦人會員は約その二パーセントであるが從來の組織からすれば各箇所が夫々一分會となつて小選擧區を形作つてゐる結果被選擧者は上社員會における發言權は男子のみに獨占され事實上社員會における發言權は男子のみに限られてゐる實狀にあるので吾等にも評議員會及び幹事會における發言權を與へよの聲は婦人會員の一致した叫びとなり遂に社員會幹部に對して組織並びに選擧區改正の要求となつて現はれた、組織部においては幹事會に謀つた上目下研究中とあるが婦人會員の希望は各箇所の婦人會員を以つて分會を組織し全婦人社員を以つて一聯合會を形作り男子會員に對立せんとするものでこれが實現すれば評議員は勿論幹事にも婦人會員を出すことゝなり最近やゝだれ氣分の社員會に一沫の清新味を加ふることゝなるらう、然し現幹事會においては婦人會員を以て獨立の一組織分子を形作ることは婦人を特殊扱ひにする結果となるといふ理由で大選擧區によつて從來の缺陷を充たさうといふに傾いてゐるがその成行は興味を以て迎へられてゐる

社員會組織改正問題
幹事會で協議

滿鐵社員會では過般の滿鐵職制改正に依つて選擧母體たる分會の定員數缺如したものや評議員を失つた分會等あり且つ全般に亘つて評議員が自己の選擧地盤を離れて異動したので近く人事課の暫定員決定と共に組織を根本的に改正すると評議員の改選は幹事會において協議した上明年の例會までそのまゝとするか或は組織改正直後行ふかを決すると

國民代表會議に張學良氏贊成か
楊氏近く說得に赴奉

【奉天特電十八日發】過般閻錫山氏代表として來奉せる楊廷溥氏は閻氏の召電により歸晉したが近く再び來奉する旨支那側に入電があつた、氏今回來奉の使命は目下閻馮氏等が計畫中の北京政府樹立、全國々民代表會議及び第三次國民黨代表大會開催に關して張學良氏の贊成を求むるためで張氏としては嚴正中立の立場上他の二件に就いては贊否を明かにしないであらうが國民代表會議は中立問題と關係なきを以て恐らく贊意を表するものと見られてゐる

阿片吸飲許可五千餘名
臺灣總督府で

【東京十七日發電通】臺灣總督府新阿片令に依る出願者二萬五千五百二十七名中比較的輕癮者の重きもの七千百六十名につき再審の結果全島にて特許を與へられたのも五千四百八十五名に達した

汪氏は天津へ直航
南京刺客日本で待受の情報に香港にて汽船を借受

【上海十七日發電通】汪精衛氏は北平擴大會議成立に依り日本經由北平に向ふ豫定の處日本に中央側の暗殺隊が待ち受けてゐるとの情報に依り豫定を變更し香港より汽船一隻を借り受け天津に直行することゝなつた

北方政府否認の對外宣言見合せ
當分成行きを觀望

【上海特電十八日發】北方擴大會議成立に對し南京政府では表面平靜を裝ひ乍ら内心多大の脅威を感じて居ることは事實にして先日來部内に對外宣言を發表して北方政府を否認すべしとする意見を生じ各機關において眞面目に討議されてゐたが、北方は尙未だ完全に成熟したものとは觀られずとの觀察有力にして結局南京政府としては當分その成行を觀望することに決定した模樣である

力學應用會議へ出席のため赴歐
出席者三百餘名か學說發表
小野九大教授語る

十八日はるびん丸で來連の九大教授小野鑑生博士を船室に訪ねると學者らしい謙遜ぶりでボツ〱語る

今度はスエーデンのストツクホルムで開催される萬國應用力學會議に出席の爲行くもので、日本からは私の外に十名位の技術者や專門家が出席する筈です今回は三回目で第二回目は一九二六年スイスのチユーリツヒにおいて開催されその折も出席しましたが要するに會議は會議といつても寧ろ學會で學術論文の檢討が主なるものです、萬國から約三百餘名參集する筈で多分八月の末になると思つてゐます、極く地味な會議ですからこれといつてとり立てゝお話するやうな事はありません、例へば飛行機のプロペラの振動だとか自動車の抵抗力だとかまあそんな學理的專門の事に亘つたもの許りです十月までには歸りますがまづ私はベルリンに直行するつもりです

夏休を利用し滿洲見物に
君島九大教授

九州大學教授でわが工學界の權威者君島八郎博士も同じく來連したが、同氏を訪ねると

別にこれといつて仕事があつて來たわけでなく只夏休みを利用して滿洲見物に來たので滿鐵の方にも少し用事もあるしまあ上陸の上沿線行のプログラムを決定するがまあ滿洲をよく見に來たに過ぎないその意味では全く君達の種にはならないよ、だが私にして見れば鞍山、撫順、本溪湖見たいところは山程ある

東北電信管理局
八月から事務開始

【ハルビン特電十八日發】東北交通委員會は東北電政管理局、長距離電話、無電總局を改革して東北電信管理局を設け東綫二十六縣の電信局吉林黑龍兩省の電信局、哈市の自働電話、無電長距離電話、電報局を一括し八月一日から事務を開始すると、哈爾濱市内は電信局名義で一部行ふ由

結核免疫劑のAOにつき講演
萬國結核會議に出席する有馬賴吉博士來連

わが結核療養界における權威者として内外に名聲高き有馬研究所長醫學博士有馬賴吉氏は紙野、小山兩醫學士を伴ひ十八日入港のはるびん丸で來連したが同氏等は萬國結核會議に出席の爲渡歐の途すがら寄つたもので船中語る

來る八月十三日から十五日までオスローで開催される萬國結核會議に日本代表として出席するのですそしてハルブルグ大學において開催される西北ドイツ結核學會にも出席して「結核免疫劑「AO」に關し八月六日から九日迄講演するつもりでゐます次いでケイニツヒベルグで開かれる萬國科學會にも出席講演をするつもりで居るのです、何れも學界の專門的なもの許りで興味のある材料のないのが殘念です

最後に新中作の「いつしかにこれが別れの朝ごはんたらふく食ふて腹ははるびん」の獻歌を示し上陸と直ちに一先づヤマトホテルに向つた【寫眞は有馬氏】

鐵嶺電燈局愈よ一割六分の値下
十七日附で認可さる

鐵嶺附屬地内外に電氣の供給を行つてゐる鐵嶺電燈局では從來資產中に整理を要するものがあつたので營業成績芳しからず長らく無配當を續け從つて供給料金も一昨年來他地において値下げした際これに追隨して値下する事が出來なかつたが最近その資產整理も一段落を告げ且つ監督當局からも慫慂を受けたので今回右料金の値下げを斷行する事になり豫て規程變更の認可申請中であつたが遞信局の指示により一部料金に再低減を加へた上いよ〱十七日附を以て關東長官の認可を得、即日遞信局より電報を以つて傳達された、多分七月分から實施す可く料金値下げは

▲從量燈　月額五十錢以上を取つてゐたメーター損料を全廢し準備料三十錢を二十錢乃至十八錢に電氣料二十五錢を二十錢乃至十六錢に改め平均一割六分の値下げ

▲定額燈　最需要數の多き十ワツト、二十ワツトにて約二割減その他全體を平均すれば一割一分減

▲電力　產業開發の趣旨で値下率を最も多くし最大二割五分、平均二割三分減

で、これを綜合すると事業者としては年額約三萬圓の減收を生ずる見込みで相當の犧牲を拂ふものと認められる、尙改正の結果鐵嶺の料金は近接の開原、四平街、公主嶺各地料金よりも相當低廉となつた譯でこれ等各地も關東廳の料金改正指定期が到來するので

近く改正

さるべく各事業者においてそれ〲準備中であるから各地需用家は監督當局の公正なる取締に信賴し徒らに運動を起すやうな事のない樣にしたいものであると特に遞信局當事者等は語つてゐた

滿鮮連絡電話
通話區域擴張

關東廳遞信局では今般滿鮮商取引其他通信網充實の見地から朝鮮總督府遞信局と協議した結果本月廿一日より左記の通り滿鮮連絡電話の通話を開始することゝした

△安東、碧團間△同渭原間△同龍川間△同順安間△同寺洞間△奉天、安洲間△四平街、安洲間△同新安洲間

人事

▲有馬賴吉氏（有馬研究所長、醫博）紙野、小山兩醫學士帶同十八日入港はるびん丸で來連
▲君島八郎氏（九大教授工博）同上
▲小野鑑生氏（同教授、工博）同上
▲矢野仁一氏（京大教授、文博）同上
▲赤堀正助氏（前代議士）同上
▲松平一郎氏（松平駐英大使令息）同上
▲齋藤秀雄氏（音樂家）同上
▲本橋謙吉氏（海事補佐人）同上
▲岸一郎氏（滿鐵社員）同上
▲眞榮平房雄氏（大連檢疫官）同上
▲立命館大學生一行十七名　同上
▲河部五郎一座五十七名　同上

大觀小觀

支那の戰爭、南軍は不利、さりとて北軍が攻勢に展開することもならぬ理狀。

◇

そこで戰線で勝敗を爭ふよりは奧の手の政治的運動といふのに狂奔。

◇

北平政府も成り汪兆銘君もいよ〱北上するといふから歷史は繰返すともいへる。

◇

たゞ近所迷惑なのは支那の内亂を有利に導くべく對外策に小細工を弄することの多いことだ。

◇

全く油斷も隙もあつたものではない。飽迄合法的に政府を建設し、國家國權を觀念してゐる先生らに於ては。

◇

風雨まづ九州を襲ふ。年々歲々このタイフーンに鍊へられて來た日本人、艦艇は常に波を玉成する

天氣豫報

十九日（北西の風）曇時々晴

各地溫度

	十一日	昨日最高
大連	二五、八	二六、八
旅順	二五、五	二八、〇
營口	二六、七	二三、五
奉天	二七、八	二五、二
長春	二五、三	二八、二

滿潮（午前三時廿五分 午後三時三十分）
干潮（午前九時五十分 午後十時廿分）

劍戟王河部五郎が　けふ華々しい乘り込み
埠頭はフアンで黑山を築いた　賑かな入港船から

三尺物で來い、腹藝で來い、劍戟ならお手のものだ、修羅入荒における、修羅王における、河部五郎の人氣は壓倒的だつた、その後、淺草の舞臺で完全に他の劍劇團をノツクアウトした河部は愈々多年の懸案たる滿洲遠征を試みたが、河部五郎一枚で大連の客を魅了せずにおかないのに加へて御馴染の山本禮三郎、宇治龍子、石原龍之助

西野龍子の幹部どころがズラリ顏を揃えて、陣容物々しく大連フアンに迫り、十八日入港のはるびん丸、ワツと立てられた河部五郎歡迎の旗のぼり、船からは、河部管絃樂團が御得意のジヤズ、のぼる歡聲、檢番の美しいところもさる事ながら埠頭は映畫で馴染の河部一行を迎へる人達で黑山を築いた

大蛇や獺の　珍客も
奇聲を發して

かける

またこれは風變りなお客様を載せて來た、大蛇四匹、オツトセイ一匹、獺一匹、猪一匹、山猫一匹、ヤマアラシ一匹、カンガール一匹、鷲一羽、マングス一匹、これ等は大連浪速町の納涼園に出品する爲に玄海灘の荒浪を乘り切つて來たものだが籠詰にされながら甲板の上で奇聲を發して珍しがらせてゐた

舞臺に張がある
實演を語る河部五郎　敵役の山本禮三郎も一座

河部五郎は背廣でキリツと好い男振り「何分よろしく、非常な意氣込みで來たんです」とフアンに呼

た

河部五郎は背廣でキリツと好い男初めて來ました、スクリーンでは色々御ひいきを願つてゐますが、實際お會ひするのは初めてです、何分ともよろしく、映畫のときは日活に五年程居つて作年英傑秀吉を最後に手をひき舞臺に大衆を相手におどり出しました、映畫も興味がありますがイタの上を思ひきり跳ね廻つたり皆様の目前で芝居をすると云ふ事も眞劍味があつて張合があります、まあ今後どちらにでも出られる樣なフリーな氣持で働きたいと思ひます、こちらの演しものは旅人棚三、妙法院勘八それに貴紙の艶色生膽秘譚ですがこれは讀んでも興味がありますから舞臺にかけたら面白いものが出來るでせう、とにかく一同馬力をかけますよ

次に山本禮三郎、マキノの敵役で斷然賣れてゐる

巡業中河部さんを助ける事にしました、一生懸命するつもりです、こちらには十六年前に來た樣なウツスラした記憶がある丈けです

禮三郎、これもニガミ走つた好い男だ最後に女優を代表して宇治龍

夏休みに倫敦へ
松平大使の令息來る

「父から來いと云はれたので一寸夏休みを利用してロンドンまで行つて來ます」と松平駐英大使令息一郎氏は音樂家齋藤秀雄氏と渡英の途次十八日入港のはるびん丸で來連したが刺を通じると全く父の許に行く丈けの用事です、ロンドンは私の生れ故郷で四歳まで居つた事がありますがもう殆ど忘れています、丁度二十年ぶりですからね、大連には一日泊つて十九日の朝の列車で一路ロンドンに向ひます、學校

野球界の霸者　慶大軍來る
素晴らし守備率と打擊率で　實業滿倶兩軍と對戰

六大學リーグ戰の春シーズンに十勝引分け一、敗二、勝敗率八割三分三厘の好績を示して霸權を獲得した慶應大學野球部は去る七月八日東京を出發、朝鮮經由滿支遠征の途につき途中京城に於て京鐵、遞信、殖銀の三チームと戰ひを交へ、全勝の好成績を示したが、實業、滿倶兩後援會の招聘に應じ十七日十九日二十分京城發の急行で出發十八日二十時三十分着列車で來連することになつた、而して二十一、二兩日滿倶と二十六、二十七の兩日實業とそれぞれ對戰する

倫敦の高松宮殿下

グロスター公ヨーク公兩殿下と御同乘にてバツキンガム宮殿に向はせらる兩殿下と無名戰士の碑に御會釋の殿下

麵類丼を　値下げ
組合を創立し

さきに大連飲食店組合から分離した市内四十四軒の麵類營業者は同業組合創立に關し奔走中のところいよいよ具體化し來る廿五日午後一時から市内大山通花園席で麵類業組合創立總會を開催する段取となつた、なほ當日は麵類と丼物の値下げ及び雇人給料の値下問題を緊急議題として提出協議する筈であるが麵類及び丼物は約一割値下の實現を見る模樣である

の始まるまでには歸りますよ

女學校講堂　倒壞す
熊本も被害甚大

【長崎十八日發電通】熊本地方は朝來暴風雨に變はれ熊本市最大風速は午前十時十八、五雨量三一、五である縣保安課への報告によれば市内橫手町建具商大道木藏方新築二階建一棟倒潰し作業中の大工山形某は壓死した飽託郡川尻町小學校教室倒潰し市内成信女學校講堂倒潰し其の他各地に被害多き見込みである

暴風雨中に　列車追突
小倉驛附近で

【長崎十八日發電通】今朝八時四十分門司驛發三號列車が午前九時九分折柄の暴風雨の中を小倉驛構内に差掛つた際小倉市京町踏切附近に停車中の門司發鳥栖行二百二十三列車の後部に追突し二百二十三の後部手荷物車と客車一輛はめちやくちやに破壞され乘客十四、五名重傷を負ひ上下線共閉塞され卅一列車の機關車も大破し復舊作業中なるが現場は大混雜中

帽子を振る河部五郎とその一黨

が前者は都市對抗出發前に强敵慶應軍を血祭に上げんとする滿倶の戰ひであり後者は最近不振を叫ばれて居る折からこの一戰で名譽回復せんとする實業との對戰であり加ふるに慶應軍は遠征成績十戰を獲得して歸京すべく實滿兩軍を攻め立てることであらうから必ずや近來稀なゲームとなるであらう、一行のメンバー及び春季リーグ戰の打擊率は左の如くである

メンバー▲監督腰本壽▲投手宮武、塚越、碣石、濵井▲捕手岡田、小川、川瀨▲内野山下、本鄉、三谷、牧野、村尾、堀川、水原▲外野堀、楠見、梶上、高樑、井川

春季リーグ戰の打率（リーグの最高打擊者）▲宮武四割五分七厘▲堀川三割三分四厘▲井川三割四分▲山下三割四分▲岡田二割九分八厘▲村尾二割四分三厘▲碣石二割二分二厘▲楠見二割一分四厘▲本鄉一割七分四厘▲堀一割四分三厘

なほ又チームの守備率及び打擊率は守備率九割七分一厘、打擊率二割五分一厘である

妻から藝妓へ　結婚詐欺に罹る
友人が出刄で絹緣を迫り　男と共に取調べ中

市内沙河口仲町五八番地鐵工業藤井初太郎（四〇）は妻子のあるを包み隱して市内西公園町公園館止宿の青木フミ（二七）と情を通じ、妻子の内地歸省中は自宅にフミを引入れて内緣關係を結んでゐた、ところが歸國中の内緣の妻岸川トミ（四〇）から手紙が來たのをフミが發見、痴話喧嘩の果、藤井は内地へ歸つて妻との緣を切つて來るとフミを騙し、依然同棲生活を續けるうち生活費に窮しフミのダイヤ指輪外四點を三百圓で入質し生活を支へてゐたが本年三月藤井は妻子が歸連しそうになつたのでフミを騙して沙河口博多屋へ前借三百圓で藝妓に賣み込ませた、其後フミは藤井にあやつられてゐたことを知り藤井を相手取り結婚詐欺で大連署察局に告訴した

なほ藤井とフミとの間を絶緣させるため藤井の友人長谷川政雄（二五）が出刄包丁でフミを脅迫した事實あるといふので長谷川も脅迫罪で告訴されてゐるが目下春木檢察官代理の手で取調中

破戒僧に　懲役四ケ月
手付金を騙取

僧侶から巡査、巡査から運轉手へと女故に波瀾の人世を辿り罪を犯した男の公判――京都生れ住所不定宇佐美寶藥（三）は二十歳まで僧侶を勤めたが女道樂から破戒僧として寺を追はれ、福井縣巡査を奉職したが放蕩のため免職となり昨年初め來連、市内春日町平和タクシー運轉手に雇はれ中同僚の金錢を盜み内地に逃走し、本年五月京都で知人の大八木善一（三）が失職して生活に困つてゐるを奇貨として誘ひ出し大八木の内緣の妻越野初子（三）を甘言を以て逢坂町へ賣ることを說きつけ前借手付金として五十圓を騙取逃走したものであるが、立會檢察官は懲役四ケ月を求刑した

山崩で五十戶埋沒し　百五十名が壓死す
豪雨から朝鮮の慘事

【京城十八日發電通】十五日夜江原道寧越郡水周面に於て豪雨の爲め川崩れあり土砂流出して人家五十戶埋沒し百五十名の死者を出した交通杜絶のため十六日夜漸く江原道廳に報告あり目下救護中である

慘澹たる　江原道
實地調査中

【京城十八日發電通】江原道寧越郡水周面に於ける百五十餘名の水害慘死事件と共に警務局では十八日朝取敢ず急電を發し眞相調査中であるが、十七日午後十一時迄に判明した被害報告に依れば原郡州内にも死者十五名、負傷者五名、流失家屋三十八戶、倒潰家屋四十四戶、半潰家屋七戶、浸水家屋一千百八十六戶に上り又今回の慘事を惹起した寧越郡では兩邊面に死者十六名、行方不明二名、家屋倒潰四戶、浸水家屋五十戶を出し水周面では百五十餘名が慘死した外家屋の倒潰五十餘戶、浸水家屋十一戶あり其の他各郡部に死者四名を出して居る、而して水周面に於ける慘死事件の詳報はなほ不明なるも江原道廳より孫學與、牧島警務課長等が現場に急行實情調査中であ

屋根瓦が飛び　長崎大荒れ
電信電話は全滅狀態

【長崎十八日發電通】昨夜半より大颶風襲來し未明よりは愈々吹募り市内は屋根瓦飛び行人なく光景凄慘、電信電話は海底線以外は全滅し其の他の被害多き見込み、測候所にては氣壓七二五、風速三十メートル、目下中心は五島南部を北東に向け進行せりと

交通機關も　全部杜絶

【長崎十八日發電通】沖繩から九州西海岸を荒した示度七百三十五ミリ風速三十米の颱風の中心は夜半より今朝にかけ長崎縣下に襲來今尚猛烈に吹き捲くりつゝあり今朝五時半長崎驛發列車は道の尾驛にて七時半着列車は大村にて何れも立往生し爾後鐵道電信電話不通のため各地との聯絡を全く杜絶し孤立の狀態となり港内聯絡船も全部運航を中止し市内電車も不通電信線は僅かに海底線の一部を殘して全部通信不能となり市内外に亘り家屋の倒潰其の他相當の被害ある見込みなるも街路は電信電話線の切斷屋根瓦亜鉛屋根看板等吹き飛ばされ危險にて踏査出來ず詳細不明學校は全部授業を休止してゐる

電報が遲延
わづか長崎線一本となり　日滿間の電信不通

關門方面大暴風雨のため日滿間電信線は東京大連線、佐世保大連線、大阪奉天線、下關奉天線とも今朝四時ごろより不通となり長崎大連線の一線のみ辛うじて單信で通信中であるが、長崎局も市内線を除くほか各線不通で通信全く杜絶し朝鮮内地間も同樣の狀態にあるので滿洲内地間の電報は大遲延を免れざるべく遞信局では遲延承知の者に限り受け付けてゐる

因みに長崎局の情報に依れば被害の中心は下關附近で降雨は本日正午が絶頂の見込み、その他の模樣は通信杜絶の爲め目下判明してゐない

藝妓自殺未遂

市内逢坂町三田尻樓抱藝妓德八こと尾關トミ（二）は十八日午前三時ごろ多量のカルモチンを嚥下自殺を企て苦悶してゐるを午前七時半朋輩藝妓が發見、直ちに桐原醫師を迎へ應急手當を加へたので生命を取止めた、大連署から大崎警部補が檢視した

德八は昨年五月三好樓から二千五百圓で仕替へしたもので遺書一通もなく自殺の原因は不詳

長崎縣人會

大連長崎縣人會では會員である前滿鐵用度事務所長富永氏が製鐵部次長に岡田氏が本社文書課長に榮轉したので兩氏歡送迎會を七月二十日正午から星ケ浦樂大閣において開催する（會費三圓）

艶色生膽秘譚 (176)

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

鳳翔丸(三)

「鳳翔丸へ!」
「鳳翔丸へ!」
たちまち起るこの叫び、藩邸にあふれる浪士の群が騒々によばつた。
「それッ、非常門から脱出せよ!」
ドッと雪崩うつた一隊、相樂總三を中心におつとりかこみ、寄手が隙間もなく銃陣布いた眞只中を白刃揃へて立向ひ、血路を開かうと云ふのである。
「追手の通路をはばめ!」
「火を放て!」
「火を放て!」
火藥がしかけられた沿道の民家は罪ないのに銃丸を浴びた。
急を告げる警鐘亂打。
炎々たる業火は、藩兵に追擊を妨げる……
左近は相樂を守る一隊と共に、からくも品川に辿りついた。
「それ、はしけを調達せよ!」
「はしけぢや!」
「はしけぢや!」

眦下にとびかふ浪士。
一人として臆かざる者はない。
「貴公もか!」
「うん!」
「俺もやられた!」
たちまちはしけに乗り移るや、一隻、二隻、また一隻、まだ明けやらぬ沖合に、くろ〴〵と浮んだ船影めざして漕いでゆく。
「欣彌どの、あれが鳳翔丸ぢや」
事態急なることを既に報じられたものか、碇をあげ、總帆風にはらんで、機關も音をたてゝゐる。
「それ、乗移れ、はしけはすぐ引返せ、第二陣を迎へろ!」
喚き叫んでドヤ〳〵と船に上れば、
「總員集れッ!」
艙からぬ甲板に押しあひひしめくを、即座に、砲員、航海員の區分して各自その任務についた。
砲員の部署にふりあてられた左近、
「欣彌どの、休息するがよい、出血は止つたかな」
かうした間も氣になるのはこの手疵の同志がことである。
悔いても及ばぬ錯誤にむざ〳〵と妙香をさへ狂刃に仆した己ではあつたが、それだけに欣彌がいとはしくも感ぜられる。
「あッ、左近様、あ、あれは?」

欣彌が突如として指したは濠場の彼方に赤い一點の灯、朧朧たかくまたたいてゐる怪しき船影——
「おお、——はてな」
左近は眼をすますと正しくそれは榎本鎌次郎が督する回陽丸に違ひはなかつた。
「しまつた!」
左近は轉ぶが如く船檣へかけあがつた。
「先生、回陽丸が見えまする、迎ひ擊ちませうや」
「何?回陽丸が——」
相樂は依然夜の幕にとざされてゐる暗の海上をぢつと見詰めたが
「おゝ、正しく回陽丸ぢや、應戰の準備!」
忽ち起る殷々たる砲聲、鳳翔丸からその火蓋を切つた。
いままで靜まりかへつてゐた海上には、落下する砲彈に水柱たち、暗の夜空には、花火の如く砲丸が炸裂した。
左近は砲員としてその曳綱を受持ち、欣彌はかよわい腕に、船底から砲丸を運んだ。
轟然空をつんざいて飛來した敵彈、
「しまつた!」
鳳翔丸の帆柱をうちくだけば、黑煙もう〳〵とたちこめる。
ひきちぎられて海面へ舞ひおちてゆく帆布には、犧牲者の血が赤々と染まつてゐた。

キネマと演藝

レコード演奏會

大興公司主催にて明十八日午後七時より大連基督教青年會館にてコロムビアレコード演奏會を開くが入場無料で曲目は左の如くである
▲吹奏樂「拔錨、行進曲」コロムビア吹奏樂團▲童謠「汽車ポッポ、幼年の歌」澤田信夫▲少吹「都々逸、博多節」天中軒雲月▲喜劇「東海道膝栗毛」市川猿之助、市川段猿、大谷友右衛門▲吹奏樂「水兵、行進曲」コロムビア吹奏樂團▲映畫説明「江戸城總攻め」熊岡天堂▲浪花節「鼠小僧次郎吉」松風軒榮樂▲交響管絃樂「シンフォニア」コンツェルトゲザウ▲童謠「動物園、いくさごつこ」清水三七子▲ジャズソング「テノールの豆腐屋」岡部德次▲じよんがら節「召集令」内山綿蔦、澤田信次▲管絃樂「セレネード」コロムビアコサート管絃樂團▲童謠「ほうほう螢、蝶々の子供」飯野千代、飯野ふみ子▲新民謠「靜岡、行進曲」河原喜久惠▲流行小唄「ザッツオーケイ、海の行進曲」河原喜久惠▲チエロ獨奏「ラルゴ調」ガスフハルカサード

愈よ今夕から 本社觀劇會

呼物の艶色生膽秘譚の場割
本紙讀者は優待割引

待望濃卷く眞只中に劍戟王河部五郎とその一黨は愈よ今夕午後四時より歌舞伎座に於て本社觀劇會の初日の幕をあけるが、既報の上演藝題の時間割は左の通りである
▲午後正四時開幕「旅人權三」三場▲五時半より本社劇「艶色生膽秘譚」五場▲八時廿分より「妙法院勘八」九場▲打出し十一時

屢報の通り本社主催の觀劇大會は七日間の興行中を通じて左の通り愛讀者に限り觀劇料大優待をなすことに決定したが優待券を利用されたい、因に藝題のうち最も呼物とされ好劇家の注視の的である本社連載の「艶色生膽秘譚」の脚色された場割は左の如くである

第一場 武甲國境小佛峠
第二場 大川端洲町河岸
第三場 諏訪神社の境内
第四場 宿場旅籠の二階
大詰 上野五重塔附近

尚一般入場料と讀者優待割引は左の如くである

	普通料金	讀者割引
特等	四圓	三圓二十錢
一等	三圓五十錢	二圓八十錢
二等	二圓	一圓六十錢
三等	一圓	八十錢

各方面よりの團體觀劇申込も殺到してゐるが場所申込等は直接歌舞伎座(電話四五三八・六七四六番)へ申込まれたい

佐藤仙人が生きた猫を食ひ「ニャンとも無い」と洒落れてゐるが▲見物人は猫の泣き聲を聞いて悲鳴をあげてゐる、映畫だつたら蛙を食つてもカットされる▲常盤座の「岡惚れハリー」はどこかで見たやうな顏だと、映畫街が囀る▲「ライラックタイム」はと言へば「妾は見たがまだ聲は聞かぬ」▲常盤座すかさず「その聲が千兩だ」とそりかへつて宣傳▲演藝館は廿一日限り帝キネと左樣ならをして後釜が決つたやうで決らず何時でも蓋をあける用意をして二三日休館するらしい▲そして帝キネ最後の映畫が「四ッ谷怪談」で怨めしいところには化けて出る氣か

ラヂオ

大連 JQAK
七月十九日午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲獨逸語講座「第三課」大連語學校講師荻榮
▲宗教講話「宗教は眼より入るものなり」東京田中淸純師
▲長唄「秋の色種」大連長唄櫻會社中、中村愛子、指導吉住小之藏
▲箏曲「六段調」尺八辻泰正、同高取泰靜、同加藤泰表、同谷本泰陽、同松田泰草、三味線稿永大勾當、同辻村勾當、同森川とし子、箏平井勾當、同安田夫人、同木次初榮、同小笠原松子
▲尺八「都山流本曲湖上の月」一部林泰鄉、宮地泰風、二部木村汲山、川島讃暢
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK
七月十九日午後六時廿五分
▲狂言「入間川」野村萬造、同萬介、同萬齋
▲小唄(一)扇舞(二)牛月(三)ラヂオ(四)とゝやの茶碗(五)たまきく(六)土堤に飛交ふ唄 岩井みさ 三味線佐橋明
▲管絃樂(一)組曲胡桃割人形チヤイコフスキー作(二)歌劇ジヨコンダ時の踊ポンキエリー作 日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラット

河部五郎觀劇會
讀者優待割引券
この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引
主催 滿洲日報社

消費方面より見た「銀安座談會」

銀で拂ふか換算して拂ふか

本社旅順支社主催

(一)

我社旅順支社では既報の如く近時の銀暴落に鑑み消費經濟方面より之が對策に就て左記人々の出席を得て去る十四日座談會を催したが各位の意見概要について紹介すれば左の如くである

出席者

河相外事課長
水谷地方課長
源田財務課長
山中商工係主任
西山民政署長
森正隆支店長
矢島鮮銀支店長
中地金融組合理事
高柳本社長
寒河江旅順支社長
其他本社員三名

高柳 我社旅順支社では銀の問題について御出席の方々の御高見を承り度く且つは紙上を通じて在滿一般人に知らせたいと存ずる次第であります

高柳 寒河江君が支社長として斯る催しは本社の喜びとする次第であります、何卒皆樣の忌憚なき意見の發表を願ひます

河相 私の方は銀そのものについては何等の意見はありませんが只旅大間を往復する際によく銀問題が話題に上つた、斯くの如く邦人は金銀相場の知識がなき爲め度々損失を招いてをり其の額は大したものであるとの話が出たが之をどうしやうと云ふ對策は別に話は出なかつたが突込んだこれらの對策にまで進んで行けば大變結構である、ところが森君との話がそれに及び

寒河江 最近銀の殺人的下落により我々の日常生活に影響を蒙ることが甚だ大なるものがあります、一體支那人は金銀の相場に非常に敏感であるが日本人は甚だ無頓着であるであるから日本人は大變損をして居ります此點に關し公人の自覺を促し、適當の施設を施し、公人の日常生活を指導する爲めに今日皆樣の御集りを願つた次第で、消費經濟から見た銀安影響並に對策(これ等に關係する人々が集つて話をしたら大變に良いと思つてこの座談會の話を進めた譯であります

西山 金銀比價の掲示の必要あると同時に商改革の必要がある

高柳 滿鐵に入ると纏莊が非常に多いから金を銀に換算するのは便利だが州内に入ると錢莊が少いから兩替が不便のやうだ、我々が銀を使つたらどうだらうか

西山 危險の負擔は現在支那人が負つてゐるがさうすれば危險は一體誰れが負擔するかゞ問題であるが、日本人がもつと見てやる必要はあるまいか、それは兎に角支那金融を金本位とすることが最も必要である、それには今日の内亂が中止し中央集權が統一されてなされたければならぬが今日ではそれも駄目である、だから内地と密接な關係ある滿洲だけでも金本位とし日本がそれに援助をしたらよい、これが根本でそれから漸次支那全部に行渡ればよい、斯くすれば日本との貿易關係が甚だ良くなる

高柳 それは大變な事だ

河相 銀を通貨とすることは許されるか

源田 それは差支へないでせう然しそれには鮮銀が關係がある

高柳 鮮銀では銀票を出されたら何うです

西山 形式はそのまゝで實際はこちらで手加減したら好いでせう

高柳 金を持つて銀の店に行くのは面倒だ

森 日本人が強く出れば必ず實行出來る、支那人が拂ふ時は小洋の二十錢、日本人が拂ふ時には金の二十錢と云ふ按配だ、然し最近は支那人と同樣に換算してゐるから小額でよい

森 實所經濟も強く出れば良い

高柳 小洋を持つてゐないから困る

矢島 小洋との兩替はそれは主婦が無知だから困る

森 實は換算して拂ふのが一番樂だ

矢島 要するに主婦を啓蒙する必要がある

高柳 例へばナスビの金銀相場はボーイの換算とニーヤの換算とは大分異つてゐる

山中 掛値するからでせうね

高柳 結局金で拂つて値切る方が好いことになる

森 換算して拂ふのが良いが換算の力なきものは自然の力で商賣させぬがよからう

河相 要するに換算法と銀で拂ふ方法があるが換算方法は面倒で銀で拂ふ方法が一番よい

西山 店に換算率を掲げさせるが好い、掲げねばならぬ事にしたらどうか

森 新聞にも大きく出して貰つたらよからう

西山 換算率の掲げてない店からは買はぬことにしたらよからう

卸市場改善の方針公開が必要

世間の疑惑を避けるためと一般に輿論化し來る

大連中央卸賣市場の改善は市當面の要緊問題で巷間種々の說も傳へられてゐるが未だ何等主義信念の確立したものもなく宛然屋氣樓のやうなもので市民は勿論、市場關係者すらもこの

正體を 摑むに惱まされ一般の疑心暗鬼を生むに至つてゐる由來卸し賣市場の改善は單獨、複數の兩制度それ自體をはじめ官營、市營、民營等の何れにせよそれぞれ一長一短は免れず、假に最後の斷案を下し纏き狀態にあるので爲政者は一層愼重な態度を必要とするが問題が市民の利害に直接關係ある重大問題である以上此處に陰謀暗鬪の行はれる事は容易に想像される事である、然れば市理事者は市の

威信を 失墜する事にもなる、故にこの際これ等の策謀を排去し疑惑を一掃して合理的に進まんには市に於て主義方針の確立を公開し多數識者の智と協調の力を以つて解決するのが最も公明正大であり、常を得た方法であると一般輿論は傾きかけた模樣である、內地各都市に於ても本問題を進め

參加と 專門家の審議は世の疑惑を一掃するに充分である、各機關の各機關、同業者、商工會議所、民間有識者等を委員に囑託して水も洩らさぬ陣容を整へ全委員會、小委員會の二部に分ちて改善の目的を達した實例がある、委員の數が多ければソレ丈け公明であり、斯る重大な案件を市理事者のみの考へで簡單に解決しやうと云ふのは抑々の誤りで何時まで經つても埒明かず甲の起案したものは乙が駁し、乙の起案したものは甲が駁すやうなものであり百年河清を待つに等しいと云ふのである

名醫の診斷が必要だ

根本治療を施したらよからう

右に關して某有識者は語る

虛心坦懷に卸賣市場問題の過去現在を顧ると誰もが感ずる事は當局者が餘りに美味しい料理にのみ盲目で肝腎の板場や獻立に無關心であつた缺陷ではあるまいかと思はれる、仙石總裁に伺ひを立てたら乾度名醫の診察を怠つた罪だと仰せられるであらう、爲政者は宜しくこの際名醫の診斷を求め策動病、利權病の潛入する餘地のない妙藥を盛り而して手術切開の根本治療を行つたら必ずやこの市場もヨリ良く改善されるであらう

銀價暴落と華人生活の影響

食料品は一割二分五厘の騰貴

生活費は二、三割々高

大連民政署商工係七月上旬調査の「銀價暴落が華人生活上に及ぼした影響」は左の如くである、銀價が有史以來の慘落を演じこれが一般經濟界に及ぼした影響は實に深刻なものであつたが、華人日常生活に對し如何なる影響を及ぼしたかを見るために大連市の華人の最も住居してゐる西崗子方面においてで華人生活必需品の小賣價格を調査したるに別表の如き結果を得た

食料品 穀類七種、肉類四種、魚類八種、野菜類十四種につき見るに前年同季に比し騰貴十四種、下落七種、保合十二種にして穀類は平均一割二分九厘

肉類八分五厘、魚類四分六厘の各騰貴を示し野菜類は平均二分の下落を示した、その內騰貴の最も甚だしきは馬鈴薯の十割、刀魚の五割、牙片魚(カレイ)の三割三分三厘、麥粉三割一分二厘にして、下落の主なるは白蝦四割、大蝦二割二分二厘、大頭菜三割、玉葱二割五分等にして野菜類は馬鈴薯の外悉く下落、或は保合にして他の種目が何れも平均騰貴を見たるに獨り野菜類のみ下落を告げたるは注目せられる

調味品 十種中騰貴九種、保合一種にして平均二割一分三厘の騰貴にして食鹽の保合なるほか香油の五割の騰貴を筆頭に何れも上騰を示した

飲料及嗜好品 黃酒を除く外何れも昂騰し飲料品二種、煙草五種の平均二割四分の騰貴を示した

衣料品 綿糸類二種下落したるに絹布類三種は騰貴を示し綿、絹を通じて平均四分の下落

燃料 調査品目五種中、石炭木炭が五割六分以上の暴騰を示し、高粱稈其他にありても齊しく昂騰し平均四割四厘の暴騰を告げた

以上六十種を騰落別にすれば、騰貴三十七種、下落九種、保合十四種にして總平均は一割二分一厘の騰貴となりしも野菜類を除くときは一割五分七厘方の騰貴に當る、これにより一般華人生活狀態を考察するに生活主要必需品は前述の如く一割餘り騰貴するに止まつたが電燈、瓦斯、水道諸税金等金仕拂を要するもの相當ありて之等は金洋換算の變動率、即ち六割以上の値上と同樣に見らるゝので生活程度の如何により同一に見ることは出來ぬが生活費は大體において二割乃至三割方の增加を來したものと推定することが出來る、從つて收入が小洋或は鈔票にして暴落による增加收入なき華人は頗る困難な實狀にあるは否定し難きも金收入を得るものは之に反し三四割の餘裕を有するものと認められる

高橋常務の値下反對に錢鈔取引人怒る

高崎錢信專務の公言にも非難

錢鈔信託手數料値下問題について正隆常務高橋氏が十六日の水曜會席上において高崎錢信專務に「値下げは絕對反對である」と明言したと昨夕刊に於て報道したが事實は高橋常務が內地へ出發前高崎專務と會見の際「値下げに反對なる旨」を言明せることがあつたのを十六日の水曜會の席上高崎專務が之を公表したことが恰も水曜會席上に於て高橋常務が反對を言明せる如く誤り傳へられたのである、

併し要するに高橋正隆常務の手數料値下反對言明は事實であるので二、三財界の人々は少くも正隆常務の言としては餘りに輕率であるとし又取引人連中もこの不況のドン底にある取引人の興隆をも考へず自分の立場のみを考慮して斯る言をなすは甚だ不德であると云つてゐる而して一方では高崎專務が高橋常務との非公式の話を水曜會の如き公式の席上公表せるは稍輕率であるとの非難もある

左樣な問題に就ては積極的に觸れぬ

何かの誤傳ではあるまいか

山本正隆支配人談

當行が錢鈔信託手數料値下げ問題に對し極力反對し十六日の水曜會においては高橋常務は絕對に値下げをなすべからずと強硬に高崎錢鈔專務に言明したと傳へられてゐるが高橋常務は八日上京留守中であるから何かの誤傳でないかと思ふ、銀行も錢鈔株主としてのみの立場から言へば錢鈔信託會社の收益を減少せしむる手數料引下げを喜ぶ道理はないが當行は取引人等に對する關係もあり、從來とても取引所に關する問題については積極的にタッチするやうなことはしない、恐らく高橋常務もそれに關する話をしたとしてもそんな強い意味の言葉ではなかつたと思つてゐる

呉服界の革命兒

磐城町の三井呉服店

更に遼東百貨店へも一大進出を決行する

人生は五十年といふも百年といふもたゞ一瞬間の連續に過ぎない「こゝに千萬の富」とか人間の極を得る事に限られたものではない、自己の完成、眞の人間の完成が大切だ。自己に忠實なる人は亦その職業にも忠實である、徒らに空想に走らず唯々前途に光明をかざして進む人は幸福にして且つ意義ある人生を送る事が出來る

自己の職業に忠實で然も活氣溢る努力實行の人に三井呉服店主がある、氏は隣邦中華の地に雄飛せんとする道程として先づ山東に渡りて青島及び濟南に三井呉服店を開店し續いて天津に躍進し更に昭和三年九月現在の我が大連磐城町に乘出し創立以來終始一貫せる主義を以て戰ひ續けたる其の奮鬪史は涙ぐましめるの感がある。氏は良品、廉價を「モット」とし仕入に、販賣に、宣傳に、非凡商才と「剛毅不屈きの養性」を大いに發揮し遂に今日の三井呉服店の基礎を築き「今亦更に大連開店三周年をトして浪速町の一角に巍然として聳え、將に竣成せんとする近代式七層樓の遼東百貨店に一大進出を決行するに至つた。開店の曉は必ずや滿洲呉服界革命兒たるの名に背かず界に一大センセイションを興へ大連市をなす事と信ずる、氏の如きは實に立志傳中の人とも云ふべきである。

氏に前途洋々たる三井呉服店の活躍と發展は氏の理智明せる快腕に俟つと頗る大である

新に決定した製油原料の取引條件

十月一日から適用

(下)特産界發展に寄與

第六條　夾雜物含有步合は滿鐵會社の檢査を以て最終とし左記標準に依るものとす、但一契約二車以上のものにして同一船にて積出したる場合は其の平均率に依るものとす

一、豆子
但銘柄指定の場合は左の如し　八分
イ、吉長、奉海物　七分
ロ、四洮線物(四平街物を含む)　九分
二、小豆子
イ、北滿物(范家屯以北の出廻品)　五分
ロ、南滿物(公主嶺以南出廻品及び四洮線物)　九分
三、大豆子
イ、新民屯、法庫門物　四分
ロ、四洮線物、其の他　八分
但鬼皮は夾雜物と看做す
四、胡麻
イ、新民屯、法庫門物　三分
ロ、八面城物　六分

夾雜物分量が前項標準步合を超過したる場合は契約値段に應じ左記計算により値引するものとす

一、標準步合を超過すること標準步合の五割以内の場合は其の超過部分に對し一對一の割合とす

一、標準步合を超過すること標準步合の五割超過の場合はその五割を超過する部分に對しては一對一、五の割合とす

第七條　前條の滿鐵檢査成績表に船積證明書は滯滯なく買主に送附するものとす、但奧地船車連絡積にありては必らずしも船積證明書の送附を要せざるも檢査成績表の貨車番號と船車連絡證券の貨車番號と符合することを要す

前項の檢査成績表並に船積證明書なるものは最初陸揚せられたる場所に於ける商工會議所、又は公認鑑定人の鑑定に依り夾雜物含有步合を決定す、但此場合に於ける鑑定費用は標準步合を超過したる場合に限り賣主の負擔とす

夾雜物標準步合を超過したる場合は遲滯なく其の差金を決濟するものとす

第八條　約定品を積出したるときは賣主は約定價格に其の約一〇%を加へたる金額に對しWA條件の海上保險を附するものとす但兩解及陸揚後七日間の火災保險を含む

海難ありたるときは保險證券を交附して受渡に代ふ

第九條　約定品を積出したるときは賣主は遲滯なく其の船名、品名、數量、荷印を電信にて買主に通知するものとす、但荷印は豫め打合せある場合は此限にあらず

前條の通知を爲さゞるか又は通知が遲延したる爲め滿地に於て沖取不能となりたるとき總揚に要したる餘分の費用は賣主の負擔とす

第十條　品種、限月の同一なる數回の契約あるときは原則として契約の順序に依り積出すものとす

第十一條　約定品の積出は期限內の分割積出賣主の任意とするも一回の積出は第四條の數量以下たるを得ず若し此の標準量以下の積出により滿港にて諸掛嵩みたるときは其の差額を賣主の負擔とす

但不可抗力によるか又は Shut out せられたる場合は此の限にあらず

積出は積込日を以て最終とす

第十二條　受渡品に對し苦情發生せる場合は買主は本船着港後十日以內に賣主に對し電信を以て通知するものとす

前項の苦情が賣買兩者間に於て解決するに至らざる場合は賣買兩者協議の上仲裁人を選定し其の裁決を以て解決するものとす

前項の方法に依るも解決附かざるか又は仲裁人の選定出來ざる場合は最初陸揚せられたる場所に於ける商工會議所若くは公認鑑定人の鑑定を以て解決するものとす

第十三條　買主は積出前賣主に對し契約に該當する信用狀を發行するものとす

爲替期限は原則として左の通りとす

一、大連に於て船荷證券を以て荷爲替取組む場合は一覽後十五日目拂

一、奧地に於て船車連絡證券を以て荷爲替取組む場合は一覽後三十日目拂

附則

本覺書に依る取引條件は昭和五年十月一日以降の積出品より之を適用す、但昭和五年七月三十一日以前に契約したるものは此限りにあらず

昭和五年七月十五日

黄塵

◇…滔々たる銀の反影では今や諸物價…時代を現…としてゐる

◇…即ち全國的のものとし擁護物價の値下げのため巨まで乘出し其他各方面に亘つて物價の低下運動がてゐる。

◇…大連では日本一の高率を初め水道料金も高ければ書籍代も高くうどん、そば湯錢も豆腐も皆高い。

◇…電燈料の如きも最近若干値下げをしたが內地に比すれば高である。

市況

特産

買物少なく大豆反落

今朝の市場は差したる材料も現出しなかつたが大豆は買物薄で反落

豆

昨日大豆は今手關係で一氣に急騰を呈せる氣先今朝は差したる新規材料が突發した譯ではないが買氣薄で反落を呈した▲近來大豆は大弗筋の買氣があれば急騰し買氣一服を呈すれば反落を呈するといふ狀態である▲目先き新規材料が突發しない限りかゝる狀態が

株

今朝內地市況は電線故障のため前場寄鼻未着であつたので地場も氣乘らず諸株共依然として閑散裡の保合であつた▲前場引際大阪諸株は全然同事を入れ新東短期のみ五十錢高を入れたが現物の新東は寄引共前日同事と釘付であつた▲株界もいよいよ夏枯期に入り閑散裡に焦付いて了つたが強氣筋は財界事態も約一ケ年に亘る金解禁前後における試練を經て今や底入れ點まで來てゐる全體的にみて相場も立直る氣力は未だ出來て居ないまでも既に底は入つたものとみてゐる▲之に對し弱氣筋は相場の戻りを單に虛勢と解してゐるそこに強弱の分岐點があるがいづれに今後の材料が味方するか強弱双方共材料待に見送りの形である

◇現物前場(銀建)

定期喰合高(七日現入)

錢鈔

倫銀反撥で鈔票强保合

内地株釘付地場も閑散

上海爲替情報

奥地市況

手形交換

鳳凰號自轉車

純國産製奬勵

金五十五圓也

満一年保険付

発売元　西岡茂次郎本店　大連市伊勢町四(日本橋南詰)　電話八〇九七番

(支店)沙河口仲町　電話九二五番

三根眼科醫院　大連市信濃町若代町角　電話六四一〇番

滿洲日報

スズシさとハツラツさとトップ！

令女界 八月

水かげろふ(詩)……北原白秋
夏(小品)……西條八十
夏の海・山・湖(隨筆)……野口米次郎
桔梗の別れ(戯曲)……岸田國士
青春の一挿話(小説)……水守龜之助
都會の女(戯曲)……北村喜八
蟲を放つ(小説)……塚原健二郎
警戒する瞳(小説)……諏訪三郎
鷗になつたのか(小説)大木雄三

令女界夏期大學講座
時事斷片(婦人問題)……吉田絃二郎
お庭で藥になる木と草(衛生)……中山忠直
八月の星座(天文)……野尻抱影
甲子園野球夜話(スポーツ)……春日俊吉
八月の行事(季暦)……小山淑郎
登山漫語(登山)……冠松次郎
素人寫眞現象燒付の話(寫眞)……林唯一

人生の四季(長篇小説)……北川千代
燃えない蠟燭(長篇小説)……龍膽寺雄

モダーン納凉案
白い指(怪談)……宮原寛
踊れない(小品)……さへきふさ
妖しき都會(怪談)……北村壽夫
碧紫色の貝殻(怪談)……佐左木俊郎
北極の幻想(怪談)……阪中正夫
墜落した星(コント)……飯島正
蜉(童話)……千葉省三
溫泉場の寫眞(小品)……楢崎勤

令女界は斷然八月のクヰーンです

八月附録 登山の栞(日本アルプス)……全國名所巡遊(5) 定價四拾錢

黒板略畫

東京府立豊島師範學校教諭 萬富三著

これは略畫の一大寶華鏡だ。こゝに花鳥、山川、人物——森羅萬象が最も單純な然し優美な線によつて再現されてゐる。略畫の本質、妙味は本書によつて始て闡明された。著者は斯道の研鑽によつて令名高い萬氏だ。初學者には就て學ぶべき略畫讀本であり、專門家には他山の石とすべき良參考書だ。海へ行き山に旅し都會の舗道を散歩する諸君が、時に一枚のスケッチを描きたい衝動を感じることはないか。殊に諸君の子弟の中にさういつた欲望の閃きを見出すことはないか。その人々にこそ本書は無上無比の指南書だ。

抒情カット圖案集

版畫美術研究會編纂

竹久夢二、川上四郎、田中良、林唯一、岩田專太郎、蕗谷虹兒、加藤まさを——之等當代一流の抒情畫家が折にふれて發表した傑作を分類して、花卉、鳥獸、静物、風景、人物等としたもの。單なる技術的なカット圖案の寄せ集めと異り、夫自身獨立した一個の藝術品とも謂ふべきカット圖案の一大集成だ。凡そ圖案に對し興味を有する總ての人々にとつて欠くべからざる良參考書たるは勿論、將來のカット圖案の進路を暗示すべき藝術的羅針盤だ。

株式會社 大連商業銀行
大連市西通
一、資本金 二百萬圓(拂込濟)
一般銀行業務確實に御取扱可申候
電話 (三三四七番 五〇〇番 四八五二番)

良い醬油は……
キッコータツ
大連市伊勢町 丸辰醬油會社
電話四八五八番

内科 産科 婦人科
佐志醫院
大連市敷島町吾妻橋南
電話八五〇二番

眼科
馬場醫院
ドクトル 馬場庄江
大連市吾妻橋詰 電話八九七八番

産婦人科
婦人の病は婦人の手で
女醫 永井清子
永井婦人醫院
大連市若狭町四十三
電話三六六六
産室完備入院隨意

餅は……餅屋へ
煖房衛生工事の御用命は
大連市監部通一〇九番地
高石商會
電話三五〇二番へ

急告
八月一日開始
客車トラック運轉手養成
大連市北大山通十四番地
日華自動車研究所
電二二〇六一番

横濱正金銀行 大連支店
資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億壹千壹百五十萬圓
本店 横濱市
支店出張所 (東京、東京丸ノ内出張所、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北平、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽(一時閉鎖中)、西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカッタ、孟買、カラチ、マニラ、スラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、紐育、リオデジャネイロ、ブエノスアイレス)
大連市大山通二番地
電話 代表番號 三一六一番 三一六二番
海關取扱所 四七六六番
宿直専用 六〇一五番

最新刊
森本實也著 一茶の研究 實價二圓九十四錢送料十六錢
小西榮三郎著 朝鮮滿洲支那案内 實價二圓七十二錢送料十二錢
中村武羅夫著 誰だ花園を荒す者は 實價一圓二十六錢送料十錢
大日社著 南米大陸 實價一圓八十九錢送料十錢
今東光著 愛染地獄 實價二圓六十二錢送料十二錢
吉野豐次郎著 鮮滿旅行記 實價三十一錢送料四錢
後藤武男著 新聞起業時代 實價一圓二十六錢送料十錢
與謝野晶子著 滿蒙遊記 實價二圓十錢送料十二錢
上山草人著 素顔のハリウツド 實價一圓五十七錢送料六錢
中谷鹿二著 新らしい支那語を研究せよ 實價一圓六十錢送料六錢
酒匂秀一著 ロシヤはどうなるか 實價一圓三十六錢送料六錢
宮里良保著 飛行機と航空船の作り方 實價七十八錢送料六錢
ヘレン・パーカスト著 ダルトン教育理論 實價九十四錢送料六錢
放滝一夫著 肉體の悪魔 實價二圓五錢送料六錢
太白社著 女性詩歌集 實價一圓五十七錢送料八錢
上野陽一著 家庭經濟の秘訣 實價九十四錢送料六錢
遠藤千泉著 楠公父子 實價一圓五錢送料八錢
白根孝之著 戀愛論 實價一圓二十六錢送料六錢
大阪屋號書店

最新刊
冠松次郎著 双六谷 實價二圓六十二錢送料八錢
エー・エス・ニイル著 霜田靜志譯 問題の子供 實價一圓三十七錢送料八錢
今田護著 陶器の鑑賞 實價二圓七十三錢送料十錢
小林鶯里著 俳句は如何して作るか 實價一圓一十六錢送料八錢
ハインリッヒ・ストレーベル作 獨逸革命とその後 實價二圓十錢送料十錢
アイザイヤ・ボウマン著 南米大陸 實價一圓八十九錢送料十錢
南田成雄著 南阿の開拓者セシル・ローヅ 實價一圓二十六錢送料八錢
大學一六著 大衆法律教程 實價一圓二十六錢送料八錢
木全德太郎著 聲音字彙 實價一圓五十錢送料六錢
野間清治著 體驗を語る 實價二十一錢送料四錢
廣間事務官著 小學五年生 美談物語 實價一圓二十六錢送料八錢
井上吉次郎著 村と町と 實價一圓二十七錢送料八錢
太田兼之助著 街頭の廣告新研究 實價二圓六十二錢送料十錢
辰巳和文著 大和雜報記 實價一圓四十二錢送料十錢
マイケル・ゴウルド作 一億二千萬 實價一圓五錢送料六錢
アンドレ・リュルサ著 市浦健譯 建築 實價一圓五十七錢送料六錢
安藤盛著 幕末海戰記 實價一圓五十七錢送料八錢
大連市大山通 滿書堂書籍部

滿日地方版

後離奉赴連

▲深川瓦斯會社奉天支店長　大連に於て開かれた支店長會議に出席した同氏は十七日歸奉
▲今井榮藏氏（滿電常務）　十七日長春へ

奉天

日淸　日露兩役　追憶座談會　當年の勇士相會して

奉天には鈴木特務機關長を始め木下、服部、飯島の諸氏その他鶴岡、向野、庵谷、中尾、齋藤の諸氏等日露、日淸兩役從軍者及び特科隊として砲煙彈雨の中に一身を獻げて皇國のため盡した志士多く今回初めての試みとして是等志士が相會し在りし日の追憶座談會を開催すべく齋藤邦獻氏の思ひ立ちで計畫されてゐたが來る廿日午後一時から溫泉倶樂部において第一回會合を催し當時の述懷を試みることゝなつた、上氣漸く弛緩しつゝある今日の世風に奮起した諸氏は當時の意氣を示し後進青年に一脈の義血を注がんとするものであつてこの催しは非常に期待されてゐる

後七時よりヤマトホテルに官民を招じ新任の披露宴を張つた

◇

十六日午前八時半長春行南行十二列車が文官屯發車後乘客のポケツトより金錢を掏り取らんとした一支那人あり取調べの結果大東關姚天佑（三〇）と稱し列車內掏摸專門の賊と判明した

◇

北市場居住五鳳九（三〇）は十六日午前十時半頃奉天驛三等待合室に於て混雜中天津行苦力馬洪祥（一八）のポケツトから卅八圓を掏り取らんとして逮捕された

◇

奉天輸入組合では十八日午後三時から役員會を開き新規加入申込者講習の件及び大連における見本市展覽會の報告をなす處あつた

民會評議員補選

奉天居留民會では十九日午前十時から午後四時迄同民會に於て三評議員の補缺選擧を行ふと

全省教育會議

遼寧教育廳長吳家象氏は本月二十五日全省教育會議を擧行すべく既に各縣教育局長及び中小學校長に召集を通令した

生活難の自殺

市內彌生町六張村田（三七）は十七日未明阿片を嚥下し苦悶中を妻女に發見され醫大醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが同日午前七時頃絕命した、原因はその日の糊口にも苦み職もなく全く厭世の自殺を遂げたものであると

町の便り

ビール一本の値段問題については十六日組合側に於て役員等打合せをなし十七日白石組合長は奉天署を訪れ之が諒解方につき懇談する處あつたが大體組合側で主張してゐる五十錢から五十五錢案は五十錢均一として話を進めた模樣である

◇

藤田奉天商工會議所會頭は廿日午

人事

▲藤田關東軍經理部長　十七日長春へ
▲高橋匡一氏（衆議院議員）　十六日鞍山より來奉十七日長春へ
▲佐藤喜八郎氏（同）　同上
▲東京帝大學生一行三十五名　十七日來奉同日撫順往復
▲馬龍潭氏（四洮鐵路顧問）　十七日四平街より來奉
▲東支鐵練習所生一行廿五名　十七日過奉大連へ
▲齋藤善三郎氏（撫順新報奉天支局長）　今回支局長を辭し大連において實業に從事のため十七日

滿滴

どちらへ向いても廣漠たる平野、夏は來ても蟬も鳴かなければ蜻蛉も飛ばぬ、毎日九十何度といふ暑さを示しても避暑のため山もなければ海もない海水浴も出來なければ舟遊びも出來ぬ全く自然に惠まれぬ單調で無聊に苦しむ奉天市民に對してせめて山間遊びでもと元奉天鐵道事務所で計畫し毎日曜に態々蘇頭まで運轉してゐる遊覽列車▲そして本溪湖の太子河上流まで上つても休憩所の飲料水や辨當類などは市價より安いといふ大勉强振り▲この分なら同列車もヘシかけツメかけ利用されるかと思へば是は又意外先週日曜日には乘客が百五十人その中半額の料金を支拂つたものが僅か五十人▲それから十三日の日曜は煤鐵公司が奉天の各知名士を招待し一日の淸遊を試みる位のもので市民として自發的に淸遊をなすものはホンの僅かなものである▲これでは何ぼ臨時列車を運轉しても利用されなければといふので該列車の運轉中止說まで出てゐる▲しかし折角市民のため毎年運轉してゐる遊覽列車が乘客がないといふので運轉が中止されるやうでは▲と奉天驛當局では之が勸誘策に苦心慘澹、無理を推して行く必要もないが一日暑い〳〵と家の中に引籠り苦勞してゐるよりも是非一度は本溪湖でも蘇頭でも淸遊して奉天では味はれぬ山氣に浴することも必要である▲そうすれば奉天に居住のつまらぬ思ひも僅かの經費で一掃され廢止されんとする該列車も永續運轉される譯である

撫順

銀價の暴落で　華商の破產續出　◇既に五十六に達す◇

銀相場は殺人的相場を辿るのみで撫順附屬地のみにおいてすらその打擊を受け中流以上最も基礎安全と傳へられてゐた中國人經營特產商、雜貨商等で支那節句以來倒產せるもの二十四軒、附屬地外支那街一流商人の破產せるもの三十二軒、計五十六軒の多きに達し、中流以下の破產せるもの亦頗る多く且つ舊盆の支那側決濟期も愈々差迫つた昨今既破產者と取引あるものを始め尙破產者續出の兆あり撫順附屬內外の支那側經濟界は前例なき危機に直面してゐる

炭坑明年度豫算　合計二千六百萬圓

炭礦部の六年度事業費豫算の查定も明二十日を以て終るまでに漕ぎつけたその額ザット一千萬圓費目內譯は坑內掘採炭の機械化古城子その他露天掘の電化機械化の徹底第四發電所の內部設備、製油工場の附帶工業の研究乃至事業化、龍鳳坑の新竪坑繼續事業等々が數へられてゐる

右事業費豫算會議が終れば六年度營業費豫算に移るのであるが、双方合して六年度炭礦部豫算は二千六百萬圓位に上らうと

撫順署員の宿舍四十戶　十月末竣工

撫順署で署員優遇のため西七條の本署に最も近い個所に住宅四十戶を新築する事と決定、その競爭入札が十六日正午行はれ五萬七千七百七十圓で矢野組に落札、近く起工する筈である、二階建煉瓦作り建坪八百二十二坪竣工は十月末の見込、右宿舍竣成の曉は只に署員が喜ぶのみならず警察の使命を遂行する上においても頗る圓滑にならうと

指紋まで誤魔化して　華工が工賃詐欺　管理人も共謀し大懸な犯行　採炭所は防止に狂奔

大仕掛の巧妙極まる工賃詐欺が最近炭礦で流行してゐる、その方法は工賃支拂に絕對必要な原本指紋をその保管人と共謀ごまかし大びらでやつてゐる、現在撫順、煙臺双方で炭礦部華工は四萬人ゐるがその採用當時正副二通の指紋を取り一通は本部指紋係へ、一通は所屬採炭所の庶務に保管してゐる、所が各採炭所で工賃支拂の際はかねて保存の指紋原本と工賃傳票指紋とを對照確實なるもののみ支拂つてゐるのであるが、各採炭所の原本指紋保管人は

中國人　であるのを利用その保管人と共謀原本指紋を巧に消し工賃傳票持參者の指紋を押し、形式上完全な「工賃傳票」を作り大びらで詐僞してゐたもので、彼等は大仕掛なグループを組織各方面で連續的に行ひその被害は甚大なものゝ如く目下各採炭所でその對策に狂奔してゐる

沿線都市の公會堂巡り　第一位は撫順の新公會堂

撫順新公會堂の使用料金改正の參考資料を蒐集すべく約五日間に亘り沿線各地の公會堂を比較研究十五日歸撫した鮎沼地方係員語る

集會、活動、芝居等何んにでも使へ內部設備の完備と、新らしい事、一千人を收容し得る等、

十五萬圓　を投じただけ撫順が州外第一だ、奉天公會堂も煉瓦二階建經費十六萬圓、收容人員六百名、一般の集會講演には適するが演劇等に不便で、まづ第二位第三位は安東公會堂で經費五萬圓收容人員五百人、第四位が經費一萬三百六十一圓收容定員六百人の營口座で使用料極めて安く民衆娛樂上映場としては好適である

第五位は　公主嶺公會堂で經費一萬三百九十一圓、收容人員三百名、第六位が瓦房店公會堂で經費四千七百十五圓收容人員六百名の木造、第七位が大石橋公會堂で經費二千百二十一圓の收容人員五百人、是も木造である、尙ほ撫順新公會堂の使用料金も前記各公會堂に比し格安にならう

炭坑主任級異動　十七日附發表

炭礦部主任級の異動が十七日附を以て左の如く發表された

技師　松元隆夫　電氣課計畫係擔當員を命ず
技術員　宮本春生　モンドガス發電所工場係主任を命ず
技術員　山田高　採炭課計畫係擔當員を命ず
事務員　加納吉次　大山採炭所庶務係主任を命ず
技術員　荒卷敏次　大山坑勞務係主任を命ず
技術員　西原駒市　工事事務所煖房係主任を命ず
事務員　山崎一雄　機械工場庶務係主任を命ず
技術員　山下寬　機械工場準備係主任を命ず
技術員　松本亘　機械工場鑄物職場、鍛冶職場主任を命ず

因に前記の內加納吉次、山崎一雄の兩氏は非常な拔擢であへ、尙前大山坑庶務係主任小田敬三氏は滿鐵本社總務部に近く榮轉の筈

遼陽

太子河の築堤　支那官憲が依然煮切らねば　斷然日本側で着工す

數日來の降雨は鐵嶺奉天等に比し雨量において多からずと雖も太子河上流の雨量に依りては昨年以上の水害を蒙るべしと憂慮され地方事務所と領事館は太子河護岸工事施工方につき再三支那側に交涉を進め居るも未だに進捗せず若し此儘推移せば北門外一帶の堤防が危險故山崎領事及び見坊所長は十六日縣公署に庾縣長訪問の上最後的折衝をなし、若し縣長に難色あれば附屬地の自衞上築堤する外なく其の曉において城西一帶の農村被害は甚し思ひ半に過ぎるものがある

鐵嶺

吾等の町を語る

各方面からの觀察　振はぬ附屬地の實業界　鐵嶺警察署長　青木昇氏談

着任以來未だ日も淺く我等の町の發展策などゝいふ點について充分なる研究する暇がない、が追々在住者諸氏の意見も聞き在任中に出來る事だけは盡力したいと思つてゐる、最近の鐵嶺は悲觀材料ばかり多くこれと言つた名案も無いやうだが、巷間傳へられる如くに鐵嶺の人口が減つてゐるかどうかといふ事について、先日詳細な統計によつて調べて見たら、鐵嶺全體の人口として歲毎に殖えてゐる傾向である

◇

併し　これを營業別について見ると其處に鐵嶺の衰退振りを明かに物語つてゐると同時に、漸次堅實味を帶びた人達のみが踏止つてゐるといふ事を物語つてゐるやうにも見える、即ち人口の方面は

（何れも年末調查）

年別	附屬地	居留地
明治四十年	一二二九	二一九三
大正八年	一八五六	一四四九
昭和元年	二七八〇	一〇七四
昭和四年	二九九五	六九三

斯くの如く附屬地は滿鐵の行政施設の完備によつて年々歲々增加し四十年から昨年末までには二倍以上の增加を示したのに反し、居留地方面は著るしい減少であるが、總計においては增加を示してゐるけれどこれを職業別にすると

人口率による職業別（附屬地）

	明治四十年	大正八年	昭和四年
交通業	五〇、六%	四五、四%	五三%
其他の有業	三三、六%	一、六%	……
商業	一四、〇%	一五、〇%	一一、九%
公務自由業	九、〇%	一七、七%	三、八%
工業	四、%	一七%	五、七%

右の　うち其他の有業者とあるは所謂日傭業者で、明治四十年頃までは未だ何か好い事はないかと其日暮しの頼りない生活をしてゐたものが總人口の二二・六%を示してゐたもので、それが大正八年には僅か一・六%となり殆ど顧みられなくなり、昨年末は全く影を見せないといふ有樣である、尙これを居留地側によつて見ると明治四十二年末商業四三%本業者三五六人、工業一九%本業者一三八人、其他の有業者二五%本業者三五一人、公務自由業者四・八%本業者五一人、家事使用人五・六%一二三人であつたが、昭和四年末にはこれが商業四四%一五九人となり、四十二年當時より半數强の激減である工業は一九%四七人三分一に減じ、公務自由業は一二%三三人其他の有業一二%四二人となり昔日の俤を全く止めないまでに凋落してゐる

◇

有職　者と家族の關係は附屬地において明治四十年當時本業者七一〇人に對し家族は四一九人でまだまだ獨身者が多かつた、それが昨年末になつたら本業者一〇八八人に對し家族はそれよりも多く一九〇七人で、世帶を持つて子供まで出來て人口率はグンと殖えた其の業態から見ると明治四十年には交通業（主として滿鐵社員遞信局員）は五七四人であつたが二十三年後の昨年末には一五七八人に激增し、公務自由業の一〇二人は六八三人となり、所謂サラリーマンは著るしく殖えたが商業の方は僅に一三八人が三五六人となつたに過ぎない、工業の如きは一三八人が一六〇人となつたのみ誠に微々たるものだ、依之觀之と實際に町のために活躍せねばならぬ實業家の發展しないのは吾々が最も研究せねばならぬもので無からうかと思ふ【寫眞は青木氏】

電燈料の値下げ　愈々認可さる　十七日附遞信局から　＝料金、實施期日は未發表＝

鐵嶺三千市民が鶴首してゐた電燈料金値下問題も愈々解決の時機が來た十七日午後遞信局より電燈局に對し料金規定變更の件認可の指令が到着したが新料金及び實施期日については追つて正式に發表される筈である

街燈廢止の連判狀で　電燈値下の認可促進　松島町が怪我の功名？

電燈料金問題で一部市民が業を煮やした結果のナンセンス——二三日前鐵嶺唯一の商店街松島町の一角から誰が發起したとも判らぬ回章が町內各戶に轉送されて來た、回章には不景氣の此頃何も節約だから松島町の街燈（六十燭六十個）全部を廢燈したい、御贊同の上御捺印を請ふとあり

街燈廢　止の連判狀である結局松島町內全部の署名捺印が出來て十六日の夕方には郵便局の手で右街燈廢止連盟書が電燈局へ配達された、ところが電燈局でも普通廢止同樣に取扱ひ早速十七日朝八時六十個の街燈全部を撤去して了つた、驚いたのは松島町內の人達、連名廢止に捺印したもののまだ何とか相談はあるだらうし

實際は　不景氣に藉口して電燈料金値下の瞼を探るつもりらしかつたので此高飛車な當局の態度に大面喰らひ、一方警察署でも宗石局長を呼んだところ全く寢耳に水、早速撤去した電燈を再び取付るといふ騷ぎ、それと見た松島町民が今度は逆に鼻息が荒くなる、警察署でも不取敢關東廳に向け料金値下發表を申請したるも午後になつて遞信局から「電燈料金規定變更の件認可す」と電報がありこれで一切解決、松島町は矢張り今まで通りに明るい」

洪水の迹　排水に惱む

十三年振りの大洪水は既報の如く附屬地內住宅三百戶近くに浸水し減水後も排水に忙殺されたが、最も困難なのは地下室を有する建物で病院、學校市場料理店等二十數ケ所は五六尺も濁水が漂ひ人力ではどうする事も出來ないので滿鐵及び民會消防のガソリンポンプ二臺の出動を請ひ連日排水に努めてゐるが學校病院の如き數時間を運轉しても排水し切れぬところあり、而も降雨は今尙歇まず排水の後から滲出するので後始末の完了するのは尙餘程の時日を要するやうである

執務時間變更　警察署と郵便局

警察署では來る二十一日より暑中執務時間として朝八時出勤正午退廳、午後は三週間に亘り演武場において土用稽古を行ふと、なほ鐵嶺郵便局も來る廿一日より八月三十一日までを暑中執務時間とし午前八時より正午まで執務すると

齋藤氏廿二日出發

前地方事務所地方係長齋藤元昇氏は愈々來る二十二日二十一時十分發列車にて家族同伴離鐵の上內地へ引揚げる

鞍山

傳染病の豫防宣傳　青年團の努力

鞍山實業青年團では惡疫益々蔓延の兆あるに鑑み地方事務所、衞生係員と協議の上各分團より十名宛都合四十名が自轉車にて行列を作り二十日午前七時より同九時迄消防隊自動車を先頭に全市を練り傳染病豫防宣傳を行ふ由

滿洲講演行脚　佐賀高校生

佐賀高等學校生徒七名は部長及教諭に引率され滿洲講演行脚を企て來る二十四日午後二時二十二分着急行列車にて來鞍し社會係、新聞協會、佐賀縣人會等の後援の下に午後七時より北二條町娛樂館に於て無料で講演會を開催、一般多數の來聽を望むと

コート開き

鞍山興業會社では事務所裏に庭球コートを作つたので二十日午前九時よりクラブコート開きを擧行すると

富永氏の招宴

鞍山製鐵部次長富永能雄氏は十七日午後六時より北二條町料理店銀蝶に於て市中有志を招待し懇親宴を張つたが頗る盛宴裡に午後十時散會した

哈爾賓

支那飲食店が新稅に反對　重大なる社會問題

當地支那側飲食店は飲食物檢查員の俸給捻出のため毎月雜種稅を徵收されることになつたところ、飲食店業者は斷然これに反對し五百餘名の同業者は十四日總商會に大會を開き「この上重稅を負擔することは堪へられない」と決議し飽管理處長にこれが緩和方を陳情することになつた、彼等は「警察費の捻出に一部の飲食店業者に雜種稅を賦課するのは不穩當である、官公署の豫算は一律に行ふべきものである」と力說して居り重大な社會問題として各方面から注目されてゐる

職業組合休暇

東鐵三十六個所の組立工場の職業組合は本月十八日から八月一日まで全部閉鎖し一齊に休業することになつた、ストライキーではない二週間の暑中休暇のためである、其の期間中に各部の修繕を行ふ筈で電燈廠だけは作業の必要上、更替休暇を與へると

松島事務官　北平に榮轉

朝鮮總督府事務官松島親造氏は既報の如く北平駐在に榮轉し十七日總督府との打合せを了り歸哈、後任古市進氏に事務を引繼ぎ廿二日北平に赴任の由なほ在哈記者有志は氏の惜別宴を民會と共同で十九日午後七時から會費三圓で開催する、會場は公會室である

殺人的暑氣から　俄に氷點下に　北滿の珍らしい天候

殺人的の暑さ——歸氏三十五度を示してゐた北滿は十二日の大暴風雨ですつかり天候が狂ひ同日午後四時頃東鐵東部線穆稜炭礦から密山縣一帶に一百支里に亘りて俄の冷氣あり、桃の種に似た雹が降つたので今まで上りつめてゐた寒暖計の水銀がサツと氷點下に降つた附近の作物は降雹のために少からぬ損害を受けた、盛夏に氷點下は北滿でも二十年來にないレコードの尖端である

商業登記受理　特別區にて

東省特別區では市政管理局の手を經て各種商業の登記申請を受理せしめ廢業、移轉、開業の場合は必らず該規則に從ひ登記せしめる方針で三聯單の證書を發給することになつた

濱江雜俎

極東に於ける有力なるチーシンセメント會社は東鐵に對し價格表を送付しセメントの購入方を申請した

◇

十六日の東鐵金留對哈洋の換算率は二四二元

◇

十五日東線西部線エー不譯附近に於て第三號列車にて第十二區のコルチエンコが列車の下敷となつて車輪で冥途へ

安東

大和校生徒が各所で實習　夏休みを利用して

大和小學校では暑中休暇を利用し昨年高等科生を各方面に委囑し業務の實習を爲さしめたるがその成績極めて良好なりしため本年度も同一計畫のもとに本月二十二日より二十五日間實習せしめる事となつて實習個所並びに配屬兒童數は左の通りである

▲大森鐵工所一名▲無限公司五名▲機關區九名▲國際運輸二名▲電氣會社六名▲瓦斯會社四名▲消費組合三名▲精美館二名▲圖書館四名▲蓬萊商會一名▲丸三紙會社二名▲日東號一名▲製タクシ二名▲夜店十名▲實習販賣二十五名

右の內夜店は毎夜十時迄とし驛前土產販賣所は實習販賣二十五名の手に依つて毎日午前六時より同十時迄午後三時より同十時迄の二回開店する事となつた

豪雨から暴風に　被害は相當激しい

十五日夜半頃から降り出した豪雨は十六日夜明には物凄い暴風雨に變じたが七時頃より小降りとなり終日風は吹き通した、降雨量は七十粍で鴨綠江は平常より二尺二寸の增水、市中各所の大樹及び六尺以上の板塀の倒壞數ケ所に及び看板、門柱、廣告塔の飛散數なく電線も數ケ所切斷された、十五日夜十一時頃から十六日午前二時にかけ十二回停電して全市暗黑と化し電氣會社は總動員を行ひ徹宵修理

四平街

あす公園の庭球大會　出場選手決る　午前九時から試合開始

四平街體育協會庭球部主催第一回鐵、四、公の對抗庭球大會は愈々來る廿日（日曜日）午前九時より公園コートにおいて擧行に決定した、當日は五組づゝの選手を出しリーグ戰となし最高點のチームを優勝組となすもので當日の白熱戰を非常な期待を以て迎へられてゐる、四軍の選手は左の如し

1 藤井・藤原　2 上野・平塚　3 入川・小林　4 鈴木・今井　5 金子・一松　補 田中・杉野

角力大會　今夜益濟寮で

體育協會相撲部は今十九日（土曜日）午後六時より益濟寮裏庭において相撲大會を開催、守備隊、機關區、驛、保線、地方の各方面より選手が對抗勝負が行はれる、尙一般の飛入も大いに歡迎する由

賦課カード　至急に屆出を

當地方事務所は嚮に賦課カードを作製の資料調書を日支人各戶に配布せるが未だ右調書を返送せざる向往々あり當事者は困惑を來してゐる由、至急調書に明確に記入し當地方事務所へ提出されたしと

現金受拂時間　郵便局で變更

四平街郵便局にては來る二十一日より八月三十一日まで爲替貯金其他現金受拂時間を午前八時より正午までに變更された

ポスター展　十七日から開催

內務省社會局並びに各府縣より送附し來れる經濟統計圖表及び緊縮宣傳ポスター四十九枚を十七日より二十日まで四日間滿鐵社員倶樂部應接室において一般の觀覽に供してゐる

山本主事廿日赴任

安東地方事務所社會係主事山本毅一氏は今回本溪湖地方事務所庶務係長に榮轉來る二十日頃赴任の筈

門間係長榮轉

地方事務所勸業係長門間堅一氏は奉天地方事務所勸業係長に榮轉近く赴任の筈

檢病的戶口調查

安東附近の傳染病は依然猖獗を極め殊に赤痢の新患續發し當局はこれが防止に大童の態であるが安東は傳染病患者總數において第六番目であるので安東署では約一週間に亘り臨時淸潔法を施行すると共に檢病的戶口調查を行ふ事となつた

柔道大會　來廿七日擧行

團體優勝旗並に個人優勝カツプ爭奪第二回安東柔道大會は來る二十七日正午から安東公會堂を會場に充て柔道有段者會主催の下に開催される事となつた出場者は有段者無段者合せて百數十名にのぼる見込みであるから劍道大會に劣らぬ大盛況を呈するであらう

安義對抗庭球試合

恒例に依る安義對抗庭球試合は來る二十七日午前十時より新義州に於て開催される事になり十五日安東側に挑戰狀が到着した、今年の出場チームは各七組宛で安東側に於ては目下選手選定中である

鮮人の詐欺

新義州府外光城面鷺下洞生れ當時府內老松町二李昌基（三七）は本年二月中鷺下洞の張樹英に對し自分の母名義に係る所有地所を相續するから保證を賴むとその關係書類の如く見せかけ捺印させたがその實張樹英の所有の田一千五百五十七坪及八百四十五坪の二筆を擔保に他より金を借るべく企らんだものでその書類に依つて老松町三李根澤より三百五十圓を借用騙取したのを手始めに六月迄數千圓を騙取したる事新義州署に探知され數日前逮捕目下嚴重取調を受けて居る猶犯人の共犯者として安東縣江岸浦石川忠作も共に引致され取調を受けてゐる

長春

軟式野球リーグ戰　二十日から一週間

長春スポンヂ協會主催にかゝる本年最初の夏期リーグ戰は愈々廿日から一週間に亘つて行はれるが出場チームは十七日まで十一組の多數に達し、主將會議は十七日午後七時から滿鐵倶樂部で開かれルールその他の件を決定した

選手十餘名　州外劍道大會

來る八月十七日奉天で開催される事となつた恒例の州外劍道大會には長春から選手十餘名出場に決定いづれも猛練習を開始した

來る二十八日午後七時より滿鐵社員倶樂部において映畫會を開催、プログラムは「陛下巡幸帝都復興式典」「秩父宮殿下御渡滿記念寫眞」「朝日出づる國」「覺めよ國民」等である入場無料

藤原貨物助役　營口に榮轉

長春驛貨物助役藤原龍一氏は今回の異動で營口驛貨物主任に榮轉月末頃正式赴任の豫定であると、氏は長春在任中、長春體育協會のため獻身的盡力をなし氏の轉任は長春體育界として惜まれてゐる

特產振興委員會

長春商工會議所では十七日午後三時からホテルで特產振興策に就いての委員會を開催すると

人事

▲大場警部（長春署警務主任）　旅順へ出張中の處十八日歸任
▲村川五郞氏（新任長春細菌檢查所長）　十七日十三時十分着任
▲大岩峯吉氏（長春地方事務所長）　廿一日大連に於ける消費組合理事總會出席のため廿日出發の豫定
▲瀧谷初五郞氏（新任長春地方事務所社會主事）　十六日着任
▲久永重男氏（新任鐵嶺地方事務所庶務係長）　事務引繼ぎのため十八日一先づ鐵嶺へ、正式赴任は月末の豫定

瓦房店

緊縮委員會映畫

公私經濟緊縮委員會瓦房店支部は[illegible]

開原

滿鐵球場で　庭球大會　けさ九時から

開原青年團にては今二十日午前九時より滿鐵コートにおいて庭球大會を開催し申込人員を四チームに別ちリーグ戰を行ふと團員並びに贊助員の出場を熱望する

青年團辯論會　廿二日公會堂で

開原青年團にては來る廿二日公會堂において辯論會を開催し團員各自隨意の演題にて熱辯を揮ふと

新作書頒布會

帝國書畫弘道會の早川梅亭、戶澗直文、小野寺梅丘、岡藍舟、大野雨山、大關禹江、高木美石、久野柳莊、山本耕坪、湯原楊畝、宮田司山、長谷川溪水の十二畫伯新作品頒布會は前田警察署長、川崎地方事務所長發起にて二十日頃滿鐵倶樂部において開催すると

遠藤氏の寄附

前地方係長遠藤憲治郎氏は離開に際し開原神社へ金十圓を寄附したと

人事

▲子安甚平氏（長春車輛事務所長）は十七日來開し利光課長同道新任の挨拶のため各方面を[illegible]

外蒙の現狀(16)

Y X 生

十五、ポリヤードと烏梁海

(一)ポリヤード共和國

ポリヤードは蒙古民族と同一系統に屬し宗教風俗習慣略同一なるも、數百年前よりロシヤに歸屬せる爲教育の程度蒙古人に比し遙かに優る、而も一定の領土を有せずザバイカル一帶の闊哥隆克の間に雜居し或は外蒙乃至烏梁海の領域內(主にホブスグル湖附近及び其の以北一帶)に遊牧し、或は國境を越えて遠く領外呼倫貝爾に及ぶ(此管內にては土地を支給せられ同管內に一旗を組織せり)勞農政府の極東における民族政策の最初の一彈は先づ彼等に自治を與へザバイカル一州を其の領土として共和國を組織せしめたり、其政府所在地をウエルフネウジンスクに置き、此地を中心として各地に散居せる彼等同族を糾合して其所住行政區域を定め同時に郡制を執行したり、左の如し

一、アギンスク、アイマグ(都市アギンスコイ)
二、アラルスキー、同(同クウトリツグ)
三、バルグジンスキー、同(同バルグジン)
四、ホーハンスキー、同(同ウツサ)
五、ウエルフネウジンスキー、同(同ウエルフネウジンスク人口約四萬人)
六、トロイツクサブスク、同(同トロイツクサブスク人口約八千四百人)
七、トンキンスキー、同(同トンカ)
八、エヒリツトブラガツド、同(同ウスチオルダ)
九、ホリンスキー、同(同ホリンスク)

以上九郡を更に六十一ヶ村に分てり、其總面積三十五萬四千平方吉米、全人口約四十五萬人と稱せらる、予は其境內を通過し往復共に其首都ウエルフネウジンスクに滯在して政府各機關を訪ひたるが同處にポリヤード人の影を認めず是を同行のポリヤード人に聞くに彼笑して曰く

共和政府とは表面の名目のみ、國務總理(同地方在住の支那人は國務總理と稱せずして省長と稱す)を始め各機關のポリヤード人總長は實際上政務に參與せしことなく一小事務員に至るまで全部露人を使用せり

と、故に其實權は細大となくロシヤにあり、彼等は既に勞農社會聯邦共和國內に編入せられ其一附屬國たるに過ぎず、是外蒙政府とは大いに異る所とす

附記　支那の恰克圖領事館は恰克圖にあらずしてウエルフネウジンスクに設置し在り

(二)烏梁海共和國

烏梁海は外蒙西部烏里雅蘇臺及科布多の北方に位し唐努山脈を以て外蒙との境界をなす、北は露領エニセイスク縣に接しサヤン山脈を以て界せらる、人口僅に十萬に過ぎず、東部より中央に向ひ北方にはハケム、南方にはベーケムの二河、西部よりはケムチグ河貫流し共にエニセイ河に注ぐ、此沿岸十有餘の砂金鑛あり、亦多量の石綿岩鹽を產す、國內灌漑に便に土地亦豐饒、住民は農牧を兼業し露人以外々部との交通殆ど無き爲め住民の生活容易に去らず依然として原始生活の狀態にあり、言語も全く外蒙と異り文字は同じきも解するものは甚だ稀なり、宗教は喇嘛教を奉ずるも一部には薩滿教の風習行はる、性情は極めて獰猛なり

露人は數十年前より移住し來り各處に都市建設、道路改修、通信完備等事實上の彼等の植民地たりしかの觀あり、當時既に支那人の入境を禁じ居たるが、民國八年夏支蒙聯合軍侵入して在住露人を徹底的に驅逐したるも、第二次外蒙獨立と同時に運動を起し反つて共同の軍隊を掃討したり、次いで蒙古軍亦此地を撤退するに至り爾來數年殆ど其存在を忘れられたるかの狀態にありしが、突如外蒙と相前後して支那に對し獨立を宣言し漸次其獨立を認めらるゝに至れるも遠く僻地に介在するが故に其影響する所外蒙の如く大ならず、烏梁海共和國の現狀に關し蒙古人は笑て曰く「外蒙と同一視すべからず」と、蓋しポリヤード共和國と同じく單に表面上共和國としての面目を有するにあらざるか

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

下劣な野次

惠秀生

法政對實業の野球の試合を見てゐて一番氣持惡くさせられたのは下劣なる野次の飛んだことだつた遙々本國から遠征して來た選手達は下劣な野次をあびせ掛けられる時どんな氣持がするだらうか。選手達は恐らく勝負のみの目的でやつて來たのではないのだ。「純眞なスポーツ」への精進のために海を越えて遠征して來たのだ。彼等は唯フエアプレイを望んでゐることだらう。そして又、彼等を迎へる當地の選手達も、心からこの遠來の同志を迎えて共にスポーツへの精進を意圖してゐることだらう。かうした美しい意圖に依つて交へられるゲームを、下劣な野次は根こそぎ打ち壞してしまふ。熱狂の餘りの野次も人情だらう、然し相手を中傷し惡罵する野次は全く鼻向けならぬ。味方の美技は賞讃するが相手の美技は嘲笑し、失策でもあれば言語道斷な罵詈雜言を吐く――大連ならでは見られない圖だ、

或人はそれを素町人根性だと云つた、或人は植民地根性だと評した、實際にかうした野次は滿洲の人氣を如實に表はしてゐるものかも知れない、我子可愛さに他の子供の持てる菓子をも奪ふ愚劣さだ斯うした點に表はれた滿洲の人氣が遠來の選手の腦裡を通ほしてどう母國に影響するだらうか「此處は俺等の天地だ、手前達の來る處ぢやねい」てな感じを與えないと誰が保證出來よう、

今後野球、陸上競技等の種々なチームが遠征して來ることだらうが、遠來の選手を心から迎えてやる襟度が一般に要求されるべきだと思ふ。

夏を知らぬ滿洲輕井澤

連山關にて　野村生

滿洲の輕井澤と稱されてゐる憧れの連山關を訪れた自分は五、六年前の盛夏に暫時此の地に避暑した時、涼しいこと、空氣の良いこと、飲水が氷のやうに冷たいこと、鶯や郭公が鳴くことに驚いた、今井大隊長に聞けば兵士の健康狀態は大隊中での最右翼、小學校で聞けば生徒の健康も優良だと云ふことであつた、それなら、なぜ汎く紹介して避暑の爲め利用せぬのかと土地の人に聞いて見たら、或時滿鐵から其筋の人が來て調査に來たが「そんなことに利用されて呼吸器病の人なんかに澤山來られて困る」と云つた隊長さんがあつてオジヤンになつたのださうだ、自分は早速此の天惠の地を本紙上で紹介したものだつた、翌年は滿鐵が學術的に色々研究して小學兒童の山間聚落地となつてなか〳〵賑はふやうになつて來たが、まだ一般に山間避暑地として重視されて居らないやうに思はれる

×

連山關は暑さを凌ぐと云ふよりも、暑さを知らずに過ごすと云ふ方かも知れぬ、汽車から降りて驛を出ると街路の兩側に鬱蒼として思ひ切り伸び上つたポプラ並樹が一直線に植ゑられてある、摩天嶺河の清流に立派な橋が架かつて居る渡れば第四大隊本部がある右折すれば清流に沿ふて柳の老木が町餘に涉って繁茂して居る、旅館が二軒ある、簡單に泊れる、朝早く起きて見れば朝霧深く連峰を包み可憐な小鳥の囀り、鶯も啼いて居る、朝露を踏んで散歩する時の氣持の良いこと、晝は淸流に魚を漁り、或は混蟲、藥草等を採り、夜は虫の鳴き聲や時鳥の絹を裂くやうな聲も聞くことがある、守備隊のラッパの音や、偶には機關銃の爆音も聞くことがある、懷しき母國にでも歸へつたやうな氣持がする、自分は大隊本部に敬意を表する皆であつたが、汽車の時間に迫られたのと、菱刈軍司令官が近日來られるので御多忙だらうと失禮した。

歐洲大戰
兩軍の戰術的淸算(15)

K、O、生

四、航空機と潛航艇(三)

飛行機と列んで戰爭の恐怖を三次元の世界に擴めたものに潛航艇がある。

一九一三年英海軍は演習によつて潛航艇の威力を知り恐怖を來した。一四年五月大戰直前の獨海軍の演習にもそれは豫想外の威力を示した。さうして同年九月英の三裝甲巡洋艦がオランダ沖を巡邏中U九號の爲に相次で擊沈されたと言ふ事實は、完全にその威力を證明した。僅かに五百噸の一小艇が三萬三千噸とその千五百名の乘員を海底に沈めたといふ事實は凡ての專門家に取りて大いなるセンセイションであつた

一九一五年二月獨は英國封鎖を宣言し、潛航艇戰を開始した

當時獨逸には大部分一九〇八年建造のもの二十五隻有りて一時に八隻出動し得るに過ぎなかつたが、僅に二ケ月半に五十一隻の船舶を擊沈した。この潛航艇戰はルシタニアの擊沈に伴ふ米國の强硬なる抗議に會ふて中止されたが、英國にとりては夫れは依然たる恐怖の原因であり、ドッガアバンクの海戰に於て、又ヂュットランドの海戰において、獨艦隊を逸走せしめた主因は、この潛航艇に對する恐怖に外ならなかつた

陸上で勝利の望みを失つたドイツは一九一七年に入り遂に無制限潛航艇戰を宣言した。それによりて米國の參戰を誘致することを恐れて、獨首相も、墺帝もこれに反對し、獨帝も甚だしく躊躇したが獨の參謀本部は纖細なる表示により、七月までに英國を屈服せしめ得る事、米國參戰するとするも其力が戰線に加はるまでには長時日を要する事を主張し、その承認を强要したのである

當時獨には百十一隻(その最頂點に於ても百四十隻)の潛航艇あり、一時にその半數出動し得るのみ、而して英國の情報機關はそれの何號が何日の何時、いづれの方面に出動するかをすら偵知し得たにも拘はらず、その跳梁を如何ともする事が出來なかつた。公表されたる犧牲は實際の三分の一內外に過ぎなかつたが、實は每月百萬噸內外の船舶が擊沈され、擊沈されないものも極度に行動を妨害され、事實英國は飢餓に瀕した。米のシムス提督が倫敦から「聯合軍は今は已に海上を司配せず」と打電したのは四月である。たゞ一人ロイド・ヂョーヂが理由無くして樂觀說を唱ふる外、英國の最高幹部は一時悉く前途の望を失つたと傳へられる。

併し廣き大洋の全部を封鎖するには獨の潛航艇はその數あまりに少なく、而して各種の對抗方法は日に改善されて行つた、それの通路に水雷を布設し、網を張り、ボートと呼ばれた囮船を使用し、商船にも武裝せしめ、又カモフラージュを施して船の性質と前後と距離とを渺茫鏡に對し混亂せしむる等の手段がその例である、だが結局最も有力なる兵器は驅逐艦であつた、水中の位置探知機や、一定の水深で爆發し七十五碼の直徑で有効なる爆彈等の新發明を備へた驅逐艦が、日米諸國からもの參加によつて次第に其數を增し、商船は隊伍を組みてこれら驅逐艦の警備の下に行動するに及んで、流石の潛航艇も次第にその活動を壓迫されて行つた、驅逐艦に對する唯一の武器は魚形水雷であつて、その發出も搭載も甚だ制限さるゝことを免れないからである。

且又、英國を餓死せしめるといふ標榜の下に行動を起した獨司令部は、あまりにこの標榜に執着し需品と兵員とを等値に見て、危險の多い警備附きの兵員輸送船に對する襲擊を避けた事で、一の過誤を犯した、需品の擊沈された事は償敵出來るが、兵員の擊沈は當然大なる心理的打擊と動搖とを敵國に起させ得ると言ふ事までは考へつかなかつたゝめに、千仞の功を遂に一簣に缺いたのであつた(此項終)

探偵小說 女妖(145)

江戶川亂步作　橫溝正史　伊藤幾久造畫

黑い棘(九)

花子が氣絕したのを見すますと由良子はニッタリと氣味惡い微笑を洩らした。胸に手をあてゝみると、心臟はまだ正確に鼓動を打つてゐる。然し、その顏には全く血の氣がなく、唇は恐怖の爲に激しく引釣つてゐた。而もその端からは、桃色の血沙が二筋三筋、首筋の方へ流れ出してゐるのだつた。

「可哀さうに氣絕して了つた。然し、この方が結局幸福かも知れないわ」

由良子はぶつ〳〵と獨り語を言ひながら、ウンと力を入れて花子を抱き起すと、それを引摺つて、眼の背後にある寢臺の側まで持つて行つた。そしてそれをがつくりと寢臺の下へ投げ出すと、彼女もその側に跪づいて人形の顏に接吻した。

と又もや寢臺の側へよつて、靜かに人形を抱き起した。

「さア、お母さま、今こそあなたの長い間の怨みを晴らしてあげます。あなたに情なかつた人々に對する復讐を、この由良子が代りになつてしてあげます。その眼を開いてよく見てゐて下さいまし」

由良子はまるで生きてゐる者に口をきくやうに、それから暫く何か搔き口說いてゐたが、やがてその人形をそつと寢臺の側に立たせた。

さうしておいて彼女は又、氣絕してゐる花子の側へよると、その身體を抱上げて寢臺の上にねかせた。そして、萬一花子が正氣にかへつた時の用意であらう。荒繩をもつて彼女の身體を幾重にも幾重にも寢臺の上へ縛りつけて了つた。

今や彼女の樣子は全く狂女の他のものではなかつた。さつきの格鬪で、解けて亂れた髮の毛は、バラ〳〵と肩の上に垂れかゝり、その美しい顏色は、今や全く紫色に變つてゐる。彼女はそれを鐵のやうに硬張らせて、人形から目を離すと、やがてつと立ち上つて祭壇の前へ行つた。そして胸に十字を切ると、祭壇に備へつけてある香爐のやうなものへ一つかみ白い粉を投入れる。とパッとほの白い焰が立つて、得ならぬ臭氣が部屋の中に立罩めた。

その樣子は、まるで昔の物語りにある妖婆そのまゝだつた。彼女はこの度の復讐を固く胸に誓ふと同時に、いつの間にやらこの空屋敷に、奇怪極まる裝置を用意して置いたと見える。常日頃冷靜なつゝましい女だけに、一旦決心したとなると、それは恐ろしい程熱狂的だつた。そしてこの場面に一層の威嚴と神秘を加へる爲に、兼て讀んだ事のある昔の恐ろしい拷問の場合を此處へ持つて來ておいたのだ。

ほの白い焰に、紫色の顏を一層凄くくまどられながら、彼女は暫く一心に何か怪しげな呪文を唱へてゐた。が、やがてそれがすむ

「さアかうしておけば、お前さんは全くあたしの自由さ、泣からがわめかうが、もうどうしやうもないのだよ」

由良子は毒々しく呟きながら、人形の胸にさゝつてゐる短刀をさつと拔き放つた。

あゝ、花子が今氣を失つてゐるのは、彼女にとつて全く幸福と言はねばなるまい。もし彼女が正氣でゐてこの恐ろしい光景を意識したら、彼女はきつと氣違ひになるか、それともこれだけでも悶死したかも知れないのだ。

やがて由良子は手にした短刀をさつと振上げた。それが下された刹那、花子は最早この世の人ではなくなるのだ。

危い！

眞に危い一刹那……由良子はさつとその短刀を振つた……。

家庭

深刻味を加へてゆく 學校出の就職難
全國中學校長會議は寧ろ平凡だつた
大連第一中學校　西内精四郎氏談

六月東京に於て開催された全國中學校長會議に出席して過般歸連した西内大連第一中學校長を訪ねてお土產話を訊く

今度東京で 開催された全國中學校長會には約五百六十名に達する多數の出席者がありました、協議事項の主なるものは公民教育の實施方法及學生の思想問題等に關する文部省の諮問案についての協議でした。何しろ多年の懸案である中學校改善案といふ根本的な大きな問題が文政審議會で未だに解決されてゐない狀態ですから協議そのものにも油の乘らない感がありました、學生の思想問題も今更

事新らしい 問題ではなく其の對策を協議して見たところで容易に解決されるものではありません、中學校の改善案も長い間行惱みの狀態にありますが之は先づしつかりした學制系統案が出來ないことには全く手がつけられませんね、内地の就職難は實に深刻を極めて居ます、上級學校の卒業者でとにかく職にありつける者は僅か一割にも滿たぬ數ですが、學校出の肩書きはもう就職戰線に立つて何等役立たないものになつてしまひました、

社會の傾向 がかうなつて來ると若い教育を從來のやうに投資事業的見方をするならばそれはまことに危險率の多い投機事業でしかあり得ないわけです、此の頃のやうに學校を出た者が容易に職にありつけないといふ事實に對し世人は教育に對するこれまでの考へ方によほど大きな改正を加へなければならないでせう、滿洲育ちの青年の中にも學校を出たまゝ職がなくて遊んでゐるものが年々增加の傾向にありますが、滿洲に於ける就職難も年と共に深刻を加へてゆくでせう、私は

先に海水浴 に行つて感じたことですが、海岸に遊んでゐる夥だしい子供の群を目擊して滿洲の將來における就職戰線の多難なることを思つて暗然たらざるを得ませんでした、年々非常な勢ひで增加してゆく滿洲の就學兒童がどし〳〵實社會に排出されてゆくとき就職難は將來どう變化してゆくでせう、これは爲政者を始めとして我々教育者の愼重に考慮しなければならないことだと思ひます

キャンプの仕方
キャンプと健康 (2)
大連少年團主事　阿左見福馬

冷えは病氣の因

キ ャムプが流行すると、誰彼の區別なく、女も男も、大人も子供も呑ん氣な遊山氣分で出かける。その結果はお定まりの飲み過ぎ、食ひ過ぎ、遊び過ぎ「キャムプをすると病氣に罹るからよくない」と云ふ樣な小言を食ふ。知らぬ親達は因つて成る源を知らないで「そうだ」と早呑込をして了ふから、眞の同志は甚だ迷惑する事が多い

原 因としては勿論食べ過ぎが第一だが、之に劣らぬものは冷る事である。下敷の不完全から來る冷の引込は實に危險千萬だ。滿洲の土地は乾燥してゐる位にあつさり考へて粘土の草原や、林の中でも茣蓙一枚位で寢轉ぶ者がある。之はどうしても防水敷布(グランドシーツ)を用ひたい(片面ゴム引のもので一枚二圓内外である)此のゴム引になつてゐる方を地面につけ其の上に叺か或は俵を切開いたものを敷き尚毛布二枚位を敷く。こうしてをけば

親 達に心配をかける事は決してない。强ひて折疊椅子を購入する迄もない、尙腹卷を用意するか、毛布を安全ピン(大形)で止め合せた袋形(スリーピングバック)を準備すれば一層理想的である。又上着として二人宛位毛布を共用する事は禁物である。それよりジヤケツのごろ寢がまだよい

寢具はよく乾かせ

先 づ冷る心配はないとして、往々不性者が萬年床をきめ込むがこれもサツパリの事である。キャムプ中は陽を拜んだら毛布、下敷叺の類は外に持出し毛布はロップを張つて之に懸け、敷布、叺の類は組合せて(地面に投り出したのでは片面が乾いても片面濕る)立てるのである。又天幕のタレも括つて通風をよくし地面を乾かしてをく。こんな小さな事もしないで魚釣に行つて來てフライでもこしらへビール何打かを倒す樣な輩をやると腹の方から故障を申出すのも無理はない

童話 お城の樹 (三)
桐野陣太郎

市長さんは毎日市長室の窓から「御城の樹」の日毎に元氣なくなつて行くのを見て心配してゐました。そして遂に都から偉い植物の博士を呼んで見て貰ふ事にしました。

博士の來る日市長さんは、燕尾服を着、山高帽を被つて停車場まで迎ひに出て早速「御城の樹」の下まで案內して來ました。

博士は木の幹をたゝいたり、見上げたりしては腕を組んでぢつと考へてゐました。その時です。市長さんは何か襟首に落ちた樣な氣がしたので、右手をそつと、そこに持つて行きました。襟首には果して何かむづ〳〵するものがあつたので指でつまみました。

「あツ!」市長さんは低く叫んで狼狽出しました。山高帽の落ちたのもかまわず、襟首を平の手ではたく〳〵たきゝながらはしり廻つてゐました。

「ナ、ナンです」博士は何事が起つたのかと、びつくりして振りむきました。

市長さんは青い顏をしながら、「ケムシです。ワワタシは、毛虫と蛇は生れつき大嫌ひなんです」

「いや分つた。分つた。なに分りました」博士は市長さんがどぎまぎしてゐるのに手をたゝいて叫びました。

「ナ、ナンです」今度は市長さんがびつくりしました。

「それがこの木の枯れかけた原因なんですよ。あれあのサイレンが原因です。サイレンを取らないとこの木は枯れてしまひますよ」

「それはどうしてです」市長さんはせきこんで尋ねました。

僕の奥さん?
次郎

……5……

紳士は同じことをそれから三度繰返した後、悄然と伏目に睡つてしまつた。列車が金州を過ぎた頃にはトン吉もうと〳〵と睡つてゐた。

「もし、もし、……」

輕くゆり起す聲に目を開けて見るとトン吉の前に目の覺めるやうな美しい婦人が立つてゐた。婦人はトン吉の顏と傍のトランクとを見比べてゐる。その時まだ例の紳士は睡つてゐた。

「失禮ですがあなたは僕の奥さんではありませんか?」

トン吉は紳士の口上を眞似て見た。

「ハイ、左樣でございます」

婦人の返事は實に意外だつた。

童謠 雨の滴
春木和夫

晝の街中
でんせんを
雨の滴が
走つてく

誰にたのまれ
この雨に
誰を訪ふ
こゝろやら

ころりころ〳〵
ならんで走る
涙のやうな
水の玉

獨逸語講座
七月十九日夜放送

講師　大連語學校講師　荻榮

(第三回)

z Z　c C　s S　x X

zu　Junge　zart　Tanz　Zorn　Cicero　Cato
Sand　Sund　las　Silbe　Max　Axt　Examen

a, o, u, au 及子音ノ前ノ　c = k
其他ノ母音ノ前ノ　c = ts,

(現今ニ於テハ固有名詞ハ c = k, 普通名詞其他ノ場合ハ c = z ヲ用フ)

Zentrum (Centrum), Komet (Comet).

h H　j J　q Q　y Y

haben　holen　Hut　Hund　Jagd　jene　ja
guer　bequem　Qual　Ysop　Lyrik　loyal

ä (ae), ö (oe), ü (ue)
Ä (Ae), Ö (Oe), Ü (Ue)

Äste　Jäger　Bär　Öl　Öfen　hören　über
müde　Jüngling

趣味の令孃を訪ねて …十…
在學時代はスポーツマン
今はピアノ、裁縫などのお稽古にいそがしい
盛京子さん

▽▽**大連**△△醫院眼科醫長盛新之助氏の愛孃、京子さんを訪ねる山城町三番地の御宅に行けば丁度お母さんはお出かけの間際であつた。

「私共の子はたゞ趣味でやつてるだけでしてお話致します程も出來ません」と謙遜されるのを無理にお目にかゝる。

間も無くお茶を持つて出て來られた京子さんは丸顏の快活なお孃さんである。本年春神明高女五年を卒へてピアノ、裁縫、お華の稽古等に忙しい日を送つてゐられるが當年十九歳とは見られぬ程子供々々した無邪氣さだ。

「ピアノは女學校に入つてから習ひ始めたのでございますが

▽▽**學校**△△ 卒業後は一週に一度園山先生にお習ひして居ますけど一向上達致しません」と京子さんはなか〳〵はき〳〵してゐる。

傍らからお母さんが「何分兄弟が六人も小さいのばかりございましておちついてピアノのお稽古も出來ない樣でございますが華標たんかやらしておきましたら一日でもやつて居ます」と助太刀である。

京子さんは一寸見ても明るい氣分のスポーツガールといふ感じだが

▽▽**在學**△△ 時代から運動は大好きでバレー、ピンポン、ランニング何でもござれだ。御本人も「野球は何だか餘り好みませんが競技會ならよく見に參ります」とおつしやる。

「學校を出てから運動が出來なくて淋しくありませんか」と聞けば「家で弟や妹とピンポンを致しますし、時には弟とキャッチボールなど致しますから身體には何ともございません」となか〳〵元氣だ。

▽▽**然し**△△ 溢れる許りの健康美のなかにも何處となくおちついた嬢にさが見えるのは、矢張り六人の頭のお姉さんの重みだらう

(寫眞は盛京子さん)

廿五年前の松公園　現在の松林小學校の場所、西檢番も此處に在つた

其頃の事ども

"滿日紙創刊廿五周年に際し　(2)

知坊生

(五)宏濟彩票の話

面白かつたのは宏濟彩票だ、公共慈善に關する事業費補給の目的で大連公議會の手に發行されたものだ、第一回の開票は明治三十八年十二月十五日、若狹町と近江町との間の能登町筋に久しく殘つて居た利鑒茶園といふのが其開票場であつた、その頃附近には幾んど人家なく、越後町から逢坂町まで見通しの野原だつたが、軍隊撤退後吹きそめた不景氣風に襲はれた時とて、空元氣の一攫千金黨が多い、開票日の群衆は身動きもならぬ程の賑はしさ、頭彩五千圓、二彩二千圓、三彩一千圓、それがアワよくば一圓で得られるのだ、第一回の好運兒は菅原事務所の林君はしたが、その後は湯屋の三助に當つたり、或は全財產を投げ出してヤツと一枚手に入れた苦力に當つたり、さる商店では二回引續いて頭彩と二彩とにブツ附かり、之が爲めメキメキ店務を擴張したとの噂が立たりした、噂が廣がるほど人氣は昂まる、殊にそれが日本官憲の嚴重な監督下に實施されるので、支那人間の信用は益々濃厚になつた、當時湖南彩票など取寄せて賣出した者もあつたが、到底大連彩票の人氣に抗すべくもない、彩額も一萬圓に値上げされたが、分布範圍は廣く沿線各地に亘り、更に日本へ取次販賣して證賣を喰ふ者さへ出來た、到頭彩票そのものにもプレミヤムが附いて、一圓の定價の者が一圓二十錢、乃至一圓五十錢にも賣れる、斯うなると立派な投資物件だ、自然買占めが始まる、仲買の數も殖える、それに絡まる悲喜劇も中々少なくない

(六)花柳界の景氣

話は少し前に戻るが、日露戰爭時代のブームは非常に短かつた、中心は重に營口と大連とにあつたが、その代表的バロメエタアは蓋し花柳界の狂騰振りであらう、一例を擧げると三十九年四月の遼東新報に、その前年の思ひ出話しが掲載されて居る、當時の大連には十五六人の醜酌婦が居て、その總てが密航者であつたそうだ、料理屋といつた處で多くは粗造の支那家屋、甚だしいのになるとアンペラ葺きの板小屋だ、「雪はしんしん降りしきる、障子明くれば銀世界」なんて、大抵はラッパ節の一本調子だつたが、歌の文句の障子さへないお座敷での酒盛である、お客の大部は軍隊附の御用商人、燭臺代りに空つぽの酒樽を据へ、煙草の吸ひ口に十圓紙幣を卷附けて、スパリスパリと大盡を氣取つたなど、今からは想像出來ぬほどの珍光景であつた、私が三十九年一月汽車旅行した際にも、大石橋附近で停車すると守備の一兵卒が覗き込んで、「日本の女は乘つて居らぬか、居れば一目見せて異れッ」と大聲に叫ぶ、乘客一同思はず苦笑したが、私は心窃に戰爭の惨禍と、出征者の勞苦とを察せざるを得なかつた、又恰度その頃の事である、大連の北海組にさる從業員の妻君が到着したが、それが最初の女房とあつて、毎日店先に見物の山を築いたそうだ、嘘もないが罪もない逸話である

(七)素晴しい發展

尤も戰爭は人道上の悲慘事であるが、其處に一面平時に見ることの出來ない急激な進歩も芽生える、平和克復と同時にボロイ儲けはなくなつたが、戰後の新開氣分は各方面に横溢し、殊に人口の急增に伴なふ家屋の建築熱は驚く許り、一月經たぬ中に彼處にも此處にも町並は出來あがる、それも二三の大通りを除けば大部分當時の場末で日本橋を中心に大山通、伊勢町が早く開けたが、支那商人の集合地點は奥町、東郷町、羽前町など、それ等を串貫して浪速町が立揃ひ更に信濃町の建設も急速であつた面白いのは繁榮の先を唱ふた者が概ね料理店と下級勞働者であつたことで、奥町、羽前町、常陸町、扨は今の松林町である松公園など何れも絃歌の響かぬ所なく、更にそれが吉野町、磐城町、美濃町、西通といつた方面に擴大した、之は娯樂機關が金を誘ふのか、金がさうした機關を引附けるのか、兎に角新開地に共通した興味ある現象である、

(八)商人のボロ儲

景氣不景氣は時代の大勢ではあるが、人と場所とに依つてその見方は一樣でない、明治三十九年以後の數年間は、戰時仕入れたストツクが澤山殘つて居て、品質は惡くなる、價値は下がる、軍隊仕込の素人商店など、滿洲はモウ駄目だと青息吐息であつたが、さうした人々は二割以上儲からぬ商品は儲けでないと心得て居たのである、それは三十九年の春、神戸のさる麥粉輸入商店から店員が派遣されたが、この派遣員の第一印象が面白い、それは麥粉でも砂糖でも、日本に比べるとベラ棒な儲けである、

「戰時中大連の某商店に毎月麥粉二三百袋宛送つて居たが、それと砂糖とで店の費用が取れるやうな通信を屢々聞かされた、元來麥粉は大量に取引される者で、利益といつても一袋一錢か二錢位が關の山だ、それで店の經費が儲かるのは不思議に堪へなかつたが、今度來て見て始めて判つた」

とのこと、聞けばその時分ですら麥粉一袋に五十錢、砂糖一袋に一圓の利益はあつたが、戰時中は麥粉一袋に二圓以上儲かつたのだそうである、隨つて舊い在住商人がもう駄目だと考へた時にも、新渡來者には結構な滿洲であつたのだ

詩

◇ゆかり

月光の波間に浮かび上る巨大な―
鯨―の、そののろくながい!姿體をまのあたりみるやうに!
いま私の「瞑想」のたゆたう水平線上に
いまひとりの私自らの背後に在るより尨大な「私」の生體が
半を水に浸しながらでも現はれて來た
おゝどんなにか私は私自らの姿體が知り度かつたことであろう
闇!渦卷く濃ひ闇の息づまるそのさなかに
自らの顏貌も姿態もゆくさき―さへも知り得なくて襲ひかゝる魂ぎる苦悶に只手をにじり合はす―
と云ふのは!
私の上にも―暗くながく埋れてゐる!
希望の!
透きとほるこゝろ吸はるゝその蒼い空―を想はする鴫の明け方のかるいどよめき―が!迫り寄らうと云ふのかしら

◇

御前は何處へゆくのか!
それは私が私自らに質さねばならない
問ひなのです、でも
やつぱり!
私は赴かなければならない
どつしどつしと内部から地響き立てゝ追ひ迫つてくる巨人―見上ぐる!の
容赦ない
跫音!がちゅちゅよする
私を踏み出させずに置かないのです
私が何處から來たのかを知らないやうに何處へ、何しに?
只いちめんに立てこめてゐる濃霧の野です
佇んで心耳を澄まして瞑目してゐる
靜寂かな靜寂かな、私のこゝろ
御聽きなさい、そら、微かに
かすかに―
いまし霧を超えて響いてくる靜寂な
靜寂なる
騷音のなかの(古都にも似し)規則正しき心音へ―こそ
悦びの!
醒めたる心魂が澄ませられてゆくのです

▽―新刊批評―△

▲**旅の茶話**(荻原井泉水著)「旅は先づ旅の計畫をし、想像をし、支度をする事が好い氣持である、もちろん、旅をしつゝある時は更に好い、而して、旅を終へてから其旅を追想し、筆錄し、或は談話するのは更に嬉しい……私は是を旅の三得といふ、即ち旅を思ふ、旅をする、旅を語る―である……而して是を聞く方に、旅を思つて貰ひたいのである」以上は現代俳壇の雄彼井泉水が本著の「はしがき」で述べてゐる言葉である、本著で「旅する心」(九篇)「其日其日」(七篇)「茶話風に」(五篇)」の三部に分ち日本の山、河、海、湖或ひは古城、寺院等を俳味豐かな得意の麗筆で行脚してゐる、花袋、桂月今や亡く、それだけ餘計に本著に限りない執着が持てる(三百四十八頁、定價一圓三十錢東京芝二本榎西二創元社發行)

▲**革命草案**(ウエルズ原著 加藤朝鳥譯)ウエルズの生活の中心的理想、世界觀の展望を語つたものが本著である、彼は序文で「私の中心的理想を追及し、探險し……或は花を咲かせたものでありまして……私の中心理想を裸にしてその基礎石だけを直截に語つて見やうと試みたもの……」と言つてゐる、宗教問題、世界國建設、公反主義公然反逆を論じ現代の勢力ある各近代式國家の實力及びその抗爭力を說き、結局に於いて世界國家を高唱してゐる例によつてマルキストと全然異にした立場から大理想論を吐いてゐる譯者朝鳥は最後に「ウエルズは知識階級の最高の支持者であり、本著はまた嚴正な意味での思想善導書であり、現代の宗教家に贈りたいと激賞してゐる(四六版二百四十七頁定價一圓東京神田今川小路アルス發行)

▲**貨幣錯覺**(フイッシャー著山本米治譯)原著者が言はんとする貨幣錯覺とは何か、貨幣は經濟價値の尺度であると同時にそれ自身の價値にも變動がある、貨幣の價値と一般物價とは畢竟同一事相を異りたる方面から見たに過ぎぬが一般大衆は個々の物價の變動を痛切に體驗するだけで、其の變動の原因が主として貨幣の側にある場合に於ても仲々それに氣付かない、その自覺が明かでない爲に資產の處理、事業經營、又は財政經濟上の政策等が往々見當違ひとなる、是が即ち原著者の謂ふ手の貨幣錯覺なのである、原著者フイシャーはエール大學教授にしてその名著「貨幣の購買力」「弗價安定策」等で夙に世界に名を知られた經濟學界の權威者である、貨幣價値の不安定が如何なる原因から釀され、如何なる弊害を生ずるか、世人はしばしばその結果を別箇な原因によるものと誤解してゐる、その救濟策は果して何か?著者は本著で讀者の前にこの問題を提供してゐる、譯者は日銀に勤める人、譯文亦正確近來の好著、序文は深井日銀副總裁(四六版二百四十九頁定價一圓五十錢東京丸ノ内昭和ビル日本評論社發行)

猛烈な大暴風雨 九州山口地方を襲ふ
各地とも慘澹たる被害を蒙る
世界記錄の四番目

【東京十八日發電通至急報】中央氣象臺發表に依れば沖繩九州山口縣下は目下大風雨に襲はれ被害甚大なる模樣なるも通信交通一切杜絶せるを以て詳細知り難し、今回の颱風は十七日午前三時那覇にて七百六ミリ、風速四十一メートルを示し、今朝六時長崎五島附近を北上しつゝあり、今釜山を經て朝鮮の東海岸に沿ひ時速三十乃至三十五キロの早さにて浦鹽の方面に拔ける見込、なほ今回の颱風は世界記錄の第四番目にして日本記錄の第三番目に當たる猛烈なものである

溺死廿三名 行方不明は多數
帆船沈沒は十五隻 關門地方被害甚大

【下關十八日發電通】關門地方は昨夜來大暴風雨襲來し今朝入港の關釜連絡船は入港せず又今朝發の船も缺航で電信、電話何れも不通にて被害箇所に在り殊に小倉驛合宿所は吹倒され數名下敷となつたが生命には異狀ない、又小倉驛構內で本日午前九時頃二百二十三列車と大分行列車と追突し一輛脫線し四五名の負傷者を出した椿事があつた又門司港にては十五隻の帆船沈沒し五隻は行方不明となつた

【下關十八日發電通】夜來の暴風雨は今朝益々猛威を振ひ入港の筈の釜山よりの連絡船は入港せず出港も缺航となり暑中休暇にて歸省の男女學生多數で一般旅客と共に驛頭は大混雜を呈してゐる、今迄に判明せる被害は門司市東海岸繫留の漁船十五隻沈沒し行方不明五隻、溺死判明二十三名、行方不明多數の見込である

沈沒、家屋倒潰
慘澹たる長崎市

【長崎十八日發電通】正午過ぎ風は漸く凪いだが判明せる被害左の如くにして今後續々分明しやう九州商船肥後丸（一五五噸）五島通ひ昨夜半、愛國丸（一二〇噸）は今曉港內棧橋附近にて、同社清生丸（一五〇噸）は茂木にて今曉沈沒、其の他港內に繫留中の發動船、艀等の沈沒二十隻以上に達すべく之等乘組員中死者ある見込み港內連絡船（市營）第一若狹丸も港內にて沈沒、其他洋船、帆船の被害甚大なるべく稻佐町にて住家三棟倒潰、漁業會社倉庫長さ三十間餘のもの倒潰、全市の屋根瓦にて滿足なもの殆どなく街路樹の如き片影を認めぬ迄に吹き飛ばされ屋根、看板又大半吹き落され光景慘澹たるものである

【長崎十八日發電通】長崎市西濱町公設青物市場の千餘坪の瓦葺建物は今曉倒潰した

列車追突原因

【小倉十八日發電通】列車衝突と共に門鐵局から多數係員繰出し復舊工事中午後二時過ぎ漸く復舊徐行運轉を開始したが、原因は信號所附近で暴風雨のため前方に列車が臨時停車してゐるのに氣付かず衝突の椿事を演じたものらしく引續き關係者取調中

西北部九州 暗黑世界
送電線切斷で

【下關十八日發電通】下關より長崎に亘る廣範圍に電力を供給してゐる東邦電力は隨所に高壓線切斷したる爲め今朝送電を中止したが復舊意の如くならず右送電區域は全部今夜は復舊困難なれば燈火の準備あり度しと諒解を求めてゐる西北部九州は今夜は暗黑世界となる

人吉町では死者五名
倒潰家屋多數

【熊本十八日發電通】縣保安課に達した報告に依ると球磨郡人吉では十八日午前三時より暴風雨襲來し倒潰家屋多數にて判明せる死者五名、負傷者一名、球磨川上流の增水甚だしく被害多きも損害不明

【熊本十八日發電通】熊本遞信局發表、熊本を中心に九州相互間、東京、大阪方面電信電話線は熊本福岡、熊本久留米其の他四回線のみ辛うじて通話をなし得るが他は全部不通の個所多く詳細不明で福岡局管內の市外電話百十五回線全滅の狀態である

【寫眞說明】（上）昨夜着連した慶大野球團（下）同日大連丸に乘込んだ青島中學野球團

釜山では二百戶倒潰

【釜山十八日發電通】十八日の大暴風雨に釜山市內は家屋の倒潰、屋根瓦、看板、ラヂオ柱等至る處吹き飛ばされ大慘狀を呈した、又勵力線の故障で送電中止された爲め電車は全線運轉を中止し各工場も全部休止の已むなきに至つた目下被害判明せるものは府內瀛州町の鮮人家屋二百餘潰、沿岸繫留中の木材を滿載せる帆船一隻沈沒其の他電信、電話線等の被害夥しき模樣である

家屋倒潰で重輕傷者
福岡で續出

【福岡十八日發電通】縣保安課發表、產業組合講習會女子聽講者三十名を收容してゐた市內百道教育會館合宿所は十一時倒潰し八名下敷となり二名は瀕死の重傷を負ひ又福岡魚市場は午前八時建物倒潰し九名重輕傷を負ふた

【福岡十八日發電通】福岡地方は今朝來近來稀有の暴風雨襲來し全縣下に被害多き見込み、通信杜絕

支廳長一行 行方不明
南松浦の被害

【福江十八日發電通】長崎縣南松浦郡北魚目村青年訓練查閱に臨んだ杉村支廳長、久保田縣視學等は昨夜九時發動機船にて北魚目村立串を發し福江に向つたが十八日午後四時に至るも消息不明なるを以て手配電話中なるが、生死の程憂慮さる又、奈良尾港防波堤は夜來の激浪に三十餘間全部崩潰し防波止場內の發動機船其他、數十隻沈沒、防波止場の損害五萬圓、其の他被害甚大の見込、尙福江町の長崎アルコール會社の建物二棟倒潰し、富江港岸壁十餘間崩潰、玉ノ浦役場は屋根瓦全部を剝がれ二階は半潰した

朝鮮の大水害
判明した死者は七十六名に達す
流失家屋二百七十

【京城十八日發電通】既報江原道寧越郡兩邊、水周兩面の被害は十四日後の降雨に依る山崩れのためと判明した、十八日午前八時までに判明せる寧越、原州、平昌、旌善、橫城各郡の被害左の如し

死者七十四名、行衛不明百七十七名（中百六十八名は死亡せるものと見做さる）負傷者九十五名、家屋の流失二百七十二戶、同全潰百十戶、同半潰八十一戶、同浸水二千二百六十四戶である

八幡野球部

沿線各地に轉戰中の八幡製鐵チーム一行は十八日朝八時着列車で歸連二十日朝出帆の香椎丸で歸所することになつた

昨夜元氣で 慶應野球團着連
全力を竭しますと 岡田主將語る

東都大學リーグ戰の覇者慶應義塾大學野球部腰本監督、岡田主將以下一行二十一名は既報の如く十八日二十時三十分着列車で實業滿俱關係者校友會先輩等多數の出迎へ人に迎へられて着連直ちに宿舍遼東ホテルに投宿した腰本監督は語る

途中怪我人もなく昨日平壤を出發來連しました、今回の遠征の第一目的は滿鮮北支の見學です秋のリーグ戰のこと等は別に今は考へてゐません

岡田主將は快活に語る

八日に試驗がすんで直ちに京城に直行し、一日の休養を取つただけで試合をやつたので充分の力は出せませんでした、打擊は全體に當つてゐますし、投手の調子は武內、水原、塚越君が好いやうです、塚越君は少し身體を害してゐますが大連ではこの三人が第一線に立つでせう、大連の試合後天津北京に轉戰再び大連に歸り來月九日大連發歸國する豫定です、八月廿五日から夏練習ですが秋の試合の第一目的は矢張り早稻田です、早稻田にだけは負けられませんからね兎に角大連では全力をつくします

昨年の優勝校 青島中學軍來る
今年も是非と希望に燃えて

全日本野球ファンの血をわかす全國中等學校野球大會滿洲豫選のトツプを切つて昨年の優勝校青島中學校ナインが十八日入港の大連丸で乘込んだ、一行は島川教諭に引率され元氣潑剌としてゐるが、他校のメンバーが解らぬので確實に記者を取卷いて「大連商業は今年は强いさうですね」と聞く選ばれたもの十六名、このうち五名は新顏、監督の島川教諭は語る

實は今年も是非と云ふ意氣込みで來たのです、昨年は幸ひ優勝出來たのに甲子園に出掛けて期待通り働けなかつた事は殘念に思つてゐます、まあ宿についた上落ついて練習も萬全を期する考です

一行は上陸後直ちに吾妻旅館に向つた

榮町一帶に 排水溝
毎年の水害で

市內小崗子滿鐵用地榮町一帶の低地は毎年雨期毎に附近の譚家屯小崗子一帶の下水管を溢れた雨が東關街陸橋下より流出して同地域內に充滿したために同地では例年日支人家屋が五百戶の浸水騷ぎを生じその後は又傳染病の發生を恐れて臨時清潔を施行する等非常なる被害を蒙つてゐるが右は同地一帶が低地の上に何等の防水排水の設備がないためであるといふので所轄小崗子署では最近滿鐵に對し右水害防止のため至急排水溝を施設するやう要望する所があつた

渾河增水し 洪水憂慮
兩岸は泥海

【奉天特電十八日發】連日の豪雨の爲め渾河は大增水し濁流滔々として物凄い狀態を呈してゐるが、堤防を決潰するまでには至らない、しかし兩岸の田野は一面の泥海と化し收穫の望みなく被害甚大である、此の降雨が尙數日續けば下流の遼中、臺安各地方は大洪水に襲はれる虞があると憂慮されてゐる

農事會社の 水害調査
案外尠い

過日の大豪雨に依る農場被害に關し大連農事株式會社では其の被害調査の爲め十六日千葉常務を貔子窩方面へ派遣し調査中であるが、暴風雨に依る損害は金州小蓮泡農區其他にて耕地整理工事施行中のものは數ケ所の堤防破損したが被害は輕微で農作物は約一割乃至二割方減收の見込であるが、尙詳細調査中である

次回連載小說は
仲木貞一氏作『海の唄』
挿畫は春陽會の一木弴氏

本紙朝刊連載、日活現代劇臺本から晦面座同人が構成した「此の母を見よ」は滿洲に於ける新聞小說界に一エポツクを劃した尖端的創作として愛讀者の稱讚裡に近日完結を告げる事となつたが、次回小說は本邦小說界の中堅作家として又劇作家として文壇に重きを爲し現に日本大學講師、文部省囑託、東京中央放送局文藝部長として令名ある仲木貞一氏原作小說「海の唄」を連載する、挿畫は春陽會の花形として本年無鑑查會員に推薦された一木弴氏の麗筆を配し、仲木貞一氏の豪放華麗な才筆を作中の情景を點描する一木弴氏の丹青とは必ずや愛讀者各位を魅了し惱殺することを豫期して疑はない、作者仲木貞一氏は左の如く作者の言葉によりその抱負を語つてゐる。

作者の言葉　仲木貞一

我々の生活は、四方八方から責めつけられてゐる。それが社會と云ふものである。社會の爲に我々は生きてゐるやうなもので、その嚴然と決めつけられた習慣道德規則の中につゝましく生きて行けば、我々は幸福な生活を送る事が出來るのであらう。それが理想的文化人と云ふのかも知れない。

けれども、悲しい哉、我々の血の中には、幾十萬年以前の動物性が殘つてゐる。それを我々は我々の心の中のオリの中に押へつけてゐるのだが、時々番人の油斷を見すまして、その野蠻性はオリから顏と爪を出したがるのである。それを押へる爲に、我々は日常不斷の苦勞をしてゐるとも云へる。

我々の生活は、一面この野蠻と文明との鬪ひとも云ふ事が出來やう。其處に浮世の變化が生じ、生活の單調さを破る事が出來るのである。その最も甚だしい最近の現はれは、彼の歐洲大戰爭であると云へよう。

それ程大きくなくても、誰もの家庭に、誰もの個人生活に日常それがある。

これをば客觀的立場に立つて觀照する時、人生の中の深き哲學味を味はふ事が出來るのである。氣づかずにゐる自己心中の姿をば、初めて振返り見る事が出來よう。其處に大きな教訓があり得るわけである。

この「海の唄」と名附くる一篇の小說は、半ば事實に立脚した世の中の有りの儘の姿に、然うした事件から當然起り得るカタストロフイーを事實らしく具象化して、此處に描き出したものである。

事實は小說よりも奇であると云ふ。この物語り等は、將に興味本位とも見られる種に、變化と刺戟との强いものであるが、作者の筆を下した動機とも云ふべきものを前もつて述べさせて戴く事にした。

北寧線の水害 線路上に浸水

【奉天特電十八日發】北寧鐵道の水害は繞陽河附近最も甚大で線路上は浸水四呎半に及び今明日中に減水して開通するか疑問である、目下奉天新民間は運轉してゐる、十九日葫蘆島から歸奉の豫定であつた張學良氏も兩三日出發を延期するかも知れないと、また白旗堡附近は兩三日前來の水害で不通であつたが連日の降雨で線路上三尺の出水を見るに至つた、昨夜來降雨止み本日は曇天であるが本日中降雨なければ減水し明日邊りは開通するものと見られてゐる

疑似コレラ 青島に發生す
近いから當地は危險

傳染病の流行期に入り各方面では豫防警戒に力めてゐるが、十八日午後當地阿波共同汽船への入報によると青島に本年最初の疑似コレラ患者が發生したと、右に對し阿波共同では語る

眞正と云ふのではなくまあ疑似と云ふのですから判然としませんが、今日青島にある私の方の代理店から通知が來たのです、もし事實としたら私の方の線に取つては甚だ危險ですから今各方面に手配をしたところです

右の報を海務局にもたらすと私の方でも今關東廳に報告して善後策を講ずる事になりました、もうボツボツ時期ですから充分警戒はしてゐたのですが最も近く來往する港の事ですから危險も多いわけで眞僞をたしかめた上更に檢疫を嚴重にするつもりです

酌婦三名が 行方晦ます
警察へ搜查願

一軒の貸座敷から一時に三人の抱妓が行方を晦ましたと云ふ珍しい事件がある、市內逢坂町百三十九第二鶴榮樓抱酌婦のぶ子（二〇）は十七日午前七時過ぎ、家人の隙を見て家を出たまゝ未だに歸らず、又殆どこれと同時に酌婦やす子、つるじの二名も共に姿を晦まし家人は八方に手を延ばして發見につとめてゐるが今に至るも消息なくやむを得ず十八日大連署宛搜查願を提出した

夏家河子行 臨時列車
增結の計畫

炎熱地獄をさけてキヤンピングに水泳に郊外の海濱に涼を追ふ都會人は日毎に增加し昨今の夏家河子行き列車は避暑客で賑はつてゐるが殊に前週の日曜日の如きは滿鐵が二往復の臨時列車を出したところ滿員の盛況であつたので廿日の日曜日には五往復の臨時列車を出すさうである、又毎年眞夏には夏家河子に野外生活をして大連に通ふものや毎日出向くものが多いので本月廿八日から九月七日までは平日も一往復の臨時列車を出すと

夕刊 滿洲日報 七月十八日

本年度實行豫算 各省別の節約額
きのふ大藏省議決定

【東京十七日發電通】歳入補塡のための本年度實行豫算節約額は十七日午前陸軍省との折衝漸く完了したので大藏省では同日午後一時より藏相官邸に豫算省議を開き主計局原案を基礎として審議したが既に豫定より一ケ月遲れ時日切迫せる爲めこの程度を以て承認する事とし七時散會した、この結果大藏省原案に依る豫算節約總額は六千三十餘萬圓と決定十八日の閣議に提出して最後の決定をなし即日實施の筈である各省別節約額左の如し（單位千圓）

省	節約額
外務省	五七〇
内務省	八、〇二〇
大藏省	二、八七〇
陸軍省	一〇、〇九〇
海軍省	二〇、〇〇〇
司法省	一、〇九〇
文部省	二、二四〇
農林省	一、二〇〇
商工省	七五〇
遞信省	一三、二六〇
拓務省	二九〇

志願兵の一部召集延期に依る約百萬圓
二、兵器製造の延期、營繕事業繰延べに依る約百五十萬圓である

藏相首相訪問

【東京十八日發電通】井上藏相は十七日午後六時濱口首相を訪問し十八日の閣議に來年度實行豫算節約額規定せるにつき附議決定すべきを述べて詳細報告したほ財界對策來年度豫算編成につき打合をなした

租税割賦納入 同盟陳情

【東京十七日發電通】深刻な不景氣のため租税延納を目的とする東京牛込區内の有志より成る租税割賦納入同盟會では十七日午後七時より牛込會館に大會を開き氣勢を擧げたが十八日朝同盟員代表約五百名大擧して大藏、内務兩省、税務監督局及び東京府市を訪ひ陳情を爲す筈

東久邇宮殿下
名古屋旅團長御榮轉
皇族の地方へ御轉補は嚆矢

【東京十八日發電通】今春陸軍少將に御陞進以來參謀本部附にあらせらるゝ東久邇宮殿下は今回の定期異動に際し名古屋旅團長に御榮轉遊ばされる事に御決定になつた右は殿下御自ら旅團長を御希望遊ばされた結果で皇族として地方旅團長に御轉補あらせらるゝは殿下が御最初である

陸海軍の大節約 交渉成立は成功
歳入缺陷の補充可能

【東京十七日發電通】本年度豫算節約額は大藏省議にて六千三十餘萬圓と決定したが右節約に伴ふ歳入の自然減百五、六十萬圓、事實局その他特別會計節約に依る一般會計の歳入増加七百萬圓となる見込みで結局節約に依つて浮ぶ純粹財源は六千五百萬圓前後に達し歳入缺陷だけは辛うじて補ひ得る見込みである、これを最初の大藏省原案八千百萬圓に比せば二千餘萬圓の減少であるが強硬な陸海軍を宥め此處迄漕ぎ付けたのは成功であると見られてゐる、然しこれだけでは若し今後なほ歳入が減じた場合は再度の節約を餘儀なくさるべく又公約せる減税、追加豫算及び緊急已むを得ざる新規事項、當然増しなど新たな財源を要するものは一億數千萬圓に上つて居りこれ等は全部今後の既定經費節約に俟たねばならぬ然かも明年度の歳入は更に數千萬圓の自然減收を豫期されてゐるので今後の財政殊に明年度豫算編成は未曾有の難關を豫想されてゐる

陸軍節約額
總額一千萬圓

【東京十八日發電通】陸軍の最後の節約總額は約一千萬圓であつてこの内既定節約のもの七百五十萬圓以外の二百五十萬圓は一、豫後備役、第一補充兵、一年

製鋼所問題の 閣僚協議會

向つて左、會議を終へて首相官邸を出る仙石總裁、會議の列席閣僚（右より阿部陸相代理、松田拓相、幣原外相）＝十四日＝

多獅島築港を 更に專門的調査
拓相、仙石總裁に要求

【東京十七日發電通】昭和製鋼所事業地問題につき齋藤總督は十七日松田拓相仙石總裁と會見し朝鮮側の希望を述べ諒解を求めたが、この結果松田拓相は仙石總裁に對して

多獅島築港は一千萬圓位にて出來るのではないか千滿の關係等から同島築港の技術的能不能を調査しては如何

と慫慂し仙石總裁も滿鐵をして專門的調査を行はしめる事となつた斯て右調査終了後において各關係者の最後の協議を行ふ由

輕減を陳情

【東京十八日發電通】糖業聯合會では十七日砂糖消費税輕減に關する委員會を開き協議の結果、砂糖業者の立場を考慮し現行税法に依る第一種より第五種に至る税制は据置きとなし政府より財政の許す範圍内にて極力消費税輕減を圖るやう十八日の糖業聯合會總會にてその承認を求めた上で政府に陳情するに決した

航空事業から 手を引く
帝國飛行協會

【東京十八日發電通】太平洋横斷飛行計畫失敗以來東角の批評ある帝國飛行協會は毎年一萬五千圓の補助金を交附されてゐるのにオイロッパ號修繕費も無い始末の折柄この際斷然航空事業から手を引き單に航空界の社交倶樂部として存續せしむることゝなつた模樣である

走馬燈
滿鐵（其十二）　荻川

前世紀の武裝競爭時代に鑑むると、其競爭が絶頂に達した時分には、競爭同志は喧嘩をせぬ、所謂そこには武裝平和が成り立つて、慘めなは武裝なき國々である、それへ武裝國の侵略が向けられ、勝手氣儘に勢力範圍なぞを定めて、覗きものを喰ひ荒す、極東も此禍毒を受けたが、餘波は容易に治まりさうでない、そこに遺度は經濟競爭なるものが顯はれて、爲に役立てし武裝を後に隱しての、經濟侵略こそ油斷はならぬ。

◇

我邦は過去の武裝競爭に應じて克く極東の危難を拯つたとの自負を有す、勿論これからの經濟競爭に對しても同樣であらねばならぬが、さてそこに支那を想ふ、若し支那にして日本と相携へ所謂武裝同盟で過去の武裝競爭に對したものなら、極東の現狀は決して今日の如くでなく、或は歐米を懾し得て、當時に攫はれた國權を現在に無理して取返さうなんかと騒かんでも善かつたかも知れない、戰鬪は遠からずで、これからの經濟競爭につき、支那は何を考ふべきか。

◇

遠く距つる歐米には、支那と利害の共通點は乏しい、そうした國々が、支那に好意を寄せるとせば、其好意は利得ずくめにあらずんば、道徳的のもので、國家の道徳は、國家の利害にぶつかると、其力は甚だ弱い、斯う考へると、歷史のうへから、將亦人文のうへから、日本ほど支那と利害の共通點を保つはない、こゝでどうじや、日支經濟同盟は、そうして過去武裝競爭に失敗した損失を、此經濟同盟で取返してはどうか、我邦としては之を望みたい。

◇

動もすると支那人士は、日本の發展なる、支那に由つて國を興さんとなしありと云ふ、されど此發展なる日本は、支那に頼らず、武裝競爭では世界に引けを取らなんだでないか、經濟競爭だとて亦當に然るべきを確信する、唯これに支那を誘ふは、過去の武裝競爭に支那が手足纏ひとなつた如く、經濟競爭にも再び然らざるかを氣遣ふが第一、次いでは同盟ともならば、手足纏ひが變じて味方となる効益を知るからで、強て支那を之に釣込もうとするでない、斯くて同盟ともならば、滿鐵なぞが其手解役じや。

國民代表會議に 張學良氏贊成か
楊氏近く說得に赴奉

【奉天特電十八日發】過般閻錫山氏代表として來奉せる楊廷溥氏は閻氏の召電により歸晉したが近く再び來奉する旨支那側に入電があつた、氏今回來奉の使命は目下閻馮氏等が計畫中の北京政府樹立、全國々民代表會議及び第三次國民黨代表大會開催に關して張學良氏の贊成を求むるためで張氏として は嚴正中立の立場上他の二件に就いては贊否を明かにしないであらうが國民代表會議は中立問題と關係なきを以て恐らく贊意を表するものと見られてゐる

全島にて特許を與へられたのも五一千四百八十五名に達した

阿片吸飮許可 五千餘名
臺灣總督府て

【東京十七日發電通】臺灣總督府新阿片令に依る出願者二萬五千五百二十七名中比較的輕症者の重きもの七千百六十名につき再檢の結果

汪氏は天津へ直航
南京刺客日本で待受の情報に
香港にて汽船を借受

【上海十七日發電通】汪精衞氏は北平擴大會議成立に依り日本經由北平に向ふ豫定の處日本に中央側の暗殺團が待ち受けてゐるとの情報に依り豫定を變更し香港より汽船一隻を借り受け天津に直行することゝなつた

北方政府否認の 對外宣言見合せ
當分成行きを觀望

【上海特電十八日發】北方擴大會議成立に對し南京政府では表面平靜を裝ひ乍ら内心多大の脅威を感じて居ることは事實にして先日來部内に對外宣言を發表して北方政府を否認すべしとする意見を生じ各機關において眞面目に討議されてゐたが、北方は尚未だ完全に團結したものとは觀られずとの觀察有力にして結局南京政府としては當分その成行を觀望することに決定した模樣である

力學應用會議へ 出席のため赴歐
出席者三百餘名が學說發表
小野九大教授語る

十八日はるびん丸で來連の九大教授小野鑑牛博士を船室に訪ねると學者らしい謙遜ぶりでボツ〳〵語る

今度はスエーデンのストツクホルムで開催される萬國應用力學會議に出席の爲行くもので、日本からは私の外に十名位の技術者や專門家が出席する筈です今回は三回目で第一回目は一九二六年スイスのチユーリツヒにおいて開催されその折も出席しましたが要するに會議は會議といつても寧ろ學會で學術論文の檢討が主なるものです、萬國から約三百餘名參集する筈で多分八月の末になると思つてゐます、極く地味な會議ですからこれといつてとり立てゝお話するやうな事はありません、例へば飛行機のプロペラの振動だとか自動車の抵抗力だとかまあそんな學理的專門の事に亘つたもの許りです十月までには歸りますがまづ私はベルリンに直行するつもりです

夏休を利用し 滿洲見物に
君島九大教授

九州大學教授でわが工學界の權威者君島八郎博士も同じく來連したが、同氏を訪ねると

別にこれといつて仕事があつて來たわけでなく只夏休みを利用して滿洲見物に來たので滿鐵の方にも少し用事もあるしまあ上陸の上沿線行のプログラムを決定するがまあ滿洲をよく見に來たに過ぎないその意味では全く君達の種にはならないよ、だが私にして見れば鞍山、撫順、本溪湖見たいところは山程ある

君島九大教授

東北電信管理局
八月から事務開始

【ハルビン特電十八日發】東北交通委員會は東北電政管理局、長距離電話、無電總局を改稱して北寧信管理局を設け東鐵二十六區の電話、無電長距離電話、電報局を一括し八月一日から事務を開始すると、哈爾濱市内は電信局の自働電話、無電長距離電話、電名義で一齊行ふ由

社員會組織 改正問題
幹事會て協議

滿鐵社員會では過般の滿鐵職制改正に依つて選擧母體たる分會の定員數缺如したものや評議員を失つた分會等あり且つ全般に亘つて評議員が自己の選擧地盤を離れて異動したので近く人事課の暫定員決定と共に組織を根本的に改正すると評議員の改選は幹事會において協議した上明年の例會まで其のまゝとするか或は組織改正直後行ふかを決すると

婦人社員に對し 發言權を與へよ
滿鐵社員會幹事會に要求す

滿鐵社員會は會員二萬一千人中婦人會員は約その二パーセントであるが從來の組織からすれば各箇所が夫々一分會となつて小選擧區を形作つてゐる結果被選擧者は

男子のみ に獨占され事實上社員會における發言權は男子のみに限られてゐる實狀にあるので吾等にも評議員會及び幹事會における發言權を與へよ

の聲は婦人會員の一致した叫びとなり遂に社員會幹部に對して組織並びに選擧區改正の要求となつて現はれた、組織部においては幹事會に臨つた上目下研究中とあるが婦人會員の希望は各箇所の婦人會員を以つて分會を組織し全婦人社員を以つて一聯合會を形作り男子會員に對立せんとするものでこれが實現すれば評議員は勿論幹事にも婦人會員を出すことゝなり最近やゝだれ氣分の社員會に一沫の

清新味を 加ふることゝなら

う、然し現幹事會においては結局人會員を以て獨立の一組織分子を形作ることは婦人を特殊扱ひにする結果となるといふ理由で大選擧區によつて從來の缺陷を充たさうといふに傾いてゐるがその成行は興味を以て迎へられてゐる

鐵嶺電燈局愈よ 一割六分の値下
十七日附で認可さる

鐵嶺附屬地内外に電氣の供給を行つてゐる鐵嶺電燈局では從來資產中に整理を要するものがあつたので營業成績芳しからず長らく無配當を續け從つて供給料金も一昨年來他地において値下げした際これに追隨して

値下する

事が出來なかつた關係上相當高率なものになつてゐたが最近その資產整理も一段落を告げ且つ監督當局からも催促を受けたので今回右料金の値下げを敢行する事になり總て規程變更の認可申請中であつたが遞信局の指示により一部料金に再低減を加へたいよ〳〵十七日附を以て關東長官の認可を得、即日遞信局より電報を以つて傳達された、多分七月分から實施す可く料金値下げは

▲從量燈　月額五十錢以上を取つてゐたメーター損料を全廢し準備料三十錢を二十錢乃至十八錢に電燈料二十五錢を二十錢乃至十六錢に改め平均一割六分の値下げ

▲定額燈　最需要數の多き十ワツト、二十ワツトにて約二割減その他全體を平均すれば一割一分減

▲電力　產業開發の趣旨で値下率を最も多くし最大二割五分、平均二割三分減

で、これを綜合すると事業者としては年額約三萬圓の減收を生ずる

結核免疫劑の AOにつき講演
萬國結核會議に出席する
有馬賴吉博士來連

わが結核療養界における權威者として内外に名聲高き有馬研究所長醫學博士有馬賴吉氏は紙野、小山兩醫學士を伴ひ十八日入港のはるびん丸で來連したが同氏等は萬國結核會議に出席の爲渡歐の途すがら寄つたもので船中語る

來る八月十三日から十五日までオスローで開催される萬國結核會議に日本代表として出席するのですそしてハルブルグ大學において開催される西北ドイツ結核學會にも出席して「結核免疫劑「AO」に關し八月六日から九日迄講演するつもりでゐます次いでケイニツヒベルグで開かれる萬國科學會にも出席講演をするつもりで居るのです、何れも學界の專門的なもの許りで興味のある材料のないのが殘念です

最後に船中作の

「いつしかにこれが別れの朝ごはんたらふく食ふて腹ははるびん」

の戲歌を示し上陸と直ちに一先づヤマトホテルに向つた【寫眞は有馬氏】

滿鮮連絡電話
通話區域擴張

關東廳遞信局では今般滿鮮兩取引其他通信網充實の見地から朝鮮總督府遞信局と協議した結果本月廿一日より左記の通り滿鮮連絡電話の通話を開始することゝした

△安東、碧團間△同滑原間△同龍川間△同順安間△同寺洞間△奉天、安洲間△四平街、安洲間△同新安洲間

近く改正

さるべく各事業者においてそれ〴〵準備中であるから各地需用家は監督當局の公正なる取締に信頼し徒らに運動を起すやうな事のない樣にしたいものであると特に遞信局當事者等は語つてゐた

料金は近接の開原、四平街、公主嶺各地料金よりも相當低廉となつた譯でこれ等各地も關東廳の料金改正指定期が到來するので

人事

▲有馬賴吉氏（有馬研究所長、醫博）紙野、小山兩醫學士帶同十八日入港はるびん丸で來連
▲君島八郎氏（九大教授工博）同上
▲小野鑑生氏（同教授、工博）同上
▲矢野仁一氏（京大教授、文博）同上
▲赤松正助氏（前代議士）同上
▲松平一郎氏（松平駐英大使令息）同上
▲齋藤秀雄氏（音樂家）同上
▲本橋謙吉氏（海事補佐人）同上
▲岸一郎氏（滿鐵社員）同上
▲眞榮平房雄氏（大連檢疫官）同上
▲立命館大學生一行十七名 同上
▲河部五郎一座五十七名 同上

大觀小觀

支那の戰爭、南軍は不利、さりとて北軍が攻勢に展開することもならぬ現狀。

◇

そこで戰線で勝敗を爭ふよりは奧の手の政治的運動といふのに狂奔。

◇

北平政府も成り汪兆銘君もいよ〳〵北上するといふから歷史は繰返すともいへる。

◇

たゞ近所迷惑なのは支那の内亂を有利に導くべく對外策に小細工を弄することの多いことだ。

◇

全く油斷も隙もあつたものではない。觀念的に政府を建設し、國家國權を概念してゐる先生らに對しては。

◇

風雨まづ九州を襲ふ。年々歳々このタイフーンに鍛へられて來た日本人、艱難は常に汝を玉成する

天氣豫報

十九日（北西の風）曇時々晴

各地溫度

地名	十八日	昨日最高
大連	二五、八	二六、八
旅順	二五、五	二八、〇
營口	二六、七	二三、五
奉天	二六、八	二三、五
長春	二七、八	二五、二
滿潮	午前三時廿五分 午後三時三十分	
干潮	午前九時五十分 午後十時廿分	

劍戟王河部五郎が けふ華々しい乘り込み
埠頭はファンで黒山を築いた 賑かな入港船から

三尺物で來い、髷物で來い、劍戟ならお手のものだ、修羅八荒における、修羅王における、河部五郎の人氣は壓倒的だつた、その後、淺草の舞臺で完全に他の劇團をノックアウトした河部は愈々多年の懸案たる滿洲遠征を試みたが、河部五郎一枚で大連の客を魅了せずにおかないのに加へて御馴染の山本禮三郎、宇治龍子、石原龍之助、西野龍子の幹部どころがズラリ顏を揃えて、陣容物々しく大連ファンに迫り、十八日入港のはるぴん丸、ワッと立てられた河部五郎歡迎の旗のぼり、船からは、河部管絃樂團が御得意のジャズ、のぼる歡聲、檢番の美しいところもさる事ながら埠頭は映畫で馴染の河部一行を迎へる人達で黒山を築いた

舞臺に張がある
實演を語る河部五郎 敵役の山本禮三郎も一座

河部五郎は背廣でキリツと好い男 初めて來ました、スクリーンでは色々御ひいきを願つてゐますが、實際お會ひするのは初めてです、何分ともよろしく、映畫のときは日活に五年程居つて昨年英傑秀吉を最後に手をひき舞臺に大衆を相手におどり出しました、映畫も興味がありますがイタの上を思ひきり跳ね廻つたり皆樣の目前で芝居をすると云ふ事も眞劍味があつて張合があります、まあ今後どちらにでも出られる樣なフリーな氣持で働きたいと思ひます、こちらの演しものは旅人權三、妙法院勘八それに貴紙の艶色生膽秘譚ですがこれは讀んでも興味がありますから舞臺にかけたら面白いものが出來るでせう、とにかく一同馬力をかけますよ

既然覺れてゐる 次に山本禮三郎、マキノの敵役で 巡業中河部さんを助ける事にしました、一生懸命するつもりです、こちらには十六年前に來た樣なウツスラした記憶がある丈けです

禮三郎、これもニガミ走つた好い男だ最後に女優を代表して宇治龍子が「何分よろしく、非常な意氣込みで來たんです」とファンに呼かける

大蛇や獺の 珍客も
奇聲を發して

またこれは風變りなお客樣を載せて來た、大蛇四匹、オットセイ一匹、獺一匹、猪一匹、山猫一匹、ヤマアラシ一匹、カンガール一匹、鷲一羽、マングス一匹、これ等は大連浪速町の納涼園に出品する爲に玄海灘の荒浪を乘り切つて來たものだが羅詰にされながら甲板の上で奇聲を發して珍しがらせてゐた

夏休みに倫敦へ
松平大使の令息來る

「父から來いと云はれたので一寸夏休みを利用してロンドンまで行つて來ます」と松平駐英大使令息一郎氏は音樂家齋藤秀雄氏と渡英の途次十八日入港のはるびん丸で來連したが剌を通じると全く父の許に行く丈けの用事です、ロンドンは私の生れ故郷で四歳まで居つた事がありますがもう殆ど忘れています、丁度二十年ぶりですからね、大連には一日泊つて十九日の朝の列車で一路ロンドンに向ひます、學校の始まるまでには歸りますよ

野球界の覇者 慶大軍來る
素晴らし守備率と打擊率で 實業滿倶兩軍と對戰

六大學リーグ戰の春シーズンに十勝引分け二、敗二、勝敗率八割三分三厘の好績を示して覇權を獲得した慶應大學野球部は去る七月八日東京を出發、朝鮮經由滿支遠征の途につき途中京城に於て京鐵、遞信、殖銀の三チームと戰ひを交へ、全勝の好成績を示したが、實業、滿倶兩後援會の招聘に應じ十七日十九日二十分京城發の急行で出發十八日二十時三十分着列車で來連することになつた、而して二十一、二兩日滿倶と二十六、二十七の兩日實業とそれぐ對戰する

倫敦の高松宮殿下

グロスター公ヨーク公兩殿下と御同乘にてバツキンガム宮殿に向はせらる兩殿下と無名戰士の碑に御參拜の殿下

麵類丼を値下げ
組合を創立し

さきに大連飲食店組合から分離した市內四十四軒の麵類業者は同業組合創立に關し奔走中のところいよく具體化し來る廿五日午後一時から市內大山通花園席で麵類業組合創立總會が開催する段取となつた、なほ當日は麵類と丼物の値下げ及び雇人給料の値下問題を緊急議題として提出協議する筈であるが麵類及び丼物は約一割値下の實現を見る模樣である

女學校講堂倒壞す
熊本も被害甚大

【長崎十八日發電通】熊本地方は朝來暴風雨に襲はれ熊本市最大風速は午前十時十八、五雨量三一、五である縣保安課への報告によれば市內橫手町建具商大道木欣方新築二階建一棟倒潰し作業中の大工山形繁は壓死した飽託郡川尻町小學校教室倒潰し市內成信女學校講堂倒潰し其の他各地に被害多き見込みである

暴風雨中に 列車追突
小倉驛附近で

【長崎十八日發電通】今朝八時四十分門司驛發三號列車が午前九時九分折柄の暴風雨の中を小倉驛構內に差掛つた際小倉市京町踏切附近に停車中の門司發鳥栖行二百二十三列車の後部に追突し二百二十三の後部手荷物車と客車一輛はめちやくに破壞され乘客十四、五名重傷を負ひ上下線共閉塞され卅一列車の機關車も大破し復舊作業中なるが現場は大混雜中

帽子を振る河部五郎とその一黨

が前者は都市對抗出發前に應軍を血祭に上げんとする戰ひであり後者は最近不振て居る折からこの一戰で復せんとする實業との對戰加ふるに慶應軍は遠征成績て歸京すべく實滿兩軍を攻めることであらうから必ずやなゲームとなるであらう、なほ兩軍のメンバー及び春季リーグ打擊率は左の如くである

メンバー▲監督腰本壽▲投手宮武、塚越、磯石、濱井▲捕手岡田、小川、川瀨▲內野山下、本鄉、三谷、牧野、村尾、堀川、水原▲外野堀、楠見、渡上、高橋、井川

春季リーグ戰の打率▲宮武四割二分(リーグの最高打率者)▲井川三割五分七厘▲堀川三割三分四厘▲山下三割四分▲岡田二割五分…八厘▲村尾二割四分三厘▲磯石二割二分二厘▲楠見二割一分四厘▲本鄉一割七分四厘▲堀一割四分三厘

なほ又チームの守備率及び打擊率は守備率九割七分一厘、打擊率二割九分一厘である

山崩で五十戶埋沒し 百五十名が壓死す
豪雨から朝鮮の慘事

慘澹たる江原道 實地調査中

【京城十八日發電通】十五日夜江原道寧越郡水周面に於て豪雨の爲め山崩れあり土砂流出して人家五十戶埋沒し百五十名の死者を出した交通杜絕のため十六日夜漸く江原道廳に報告あり目下救護中である

【京城十八日發電通】江原道寧越郡水周面に於ける百五十餘名の水害慘死事件と共に警務局では十八日朝取敢ず急電を發し眞相調査中であるが、十七日午後十一時迄に判明した被害報告に依れば原郡州內にも死者十五名、負傷者五名、流失家屋三十八戶、倒潰家屋四十四戶、半潰家屋七戶、浸水家屋一千百八十六戶に上り又今回の慘事を惹起した寧越郡では兩邊面に死者十六名、行方不明二名、家屋倒潰四戶、浸水家屋五十戶を出し水周面では百五十餘名が慘死した外家屋の倒潰五十餘戶、浸水家屋十一戶あり其の他各郡部に死者四名を出して居る、而して水周面に於ける慘死事件の詳報はなほ不明なるも江原道廳より孫參與官、牧島警務課長等が現場に急行實情調査中である

屋根瓦が飛び 長崎大荒れ
電信電話は全滅狀態

【長崎十八日發電通】昨夜半より大颱風襲來し未明よりは愈々吹募り市內は屋根瓦飛び行人なく光景凄慘、電信電話は海底線以外は全滅し其の他の被害多き見込み、測候所にては氣壓七二五、風速三十メートル、目下中心は五島南部を北東に向け進行せりと

交通機關も 全部杜絕

【長崎十八日發電通】沖繩から九州西南岸を荒した示度七百三十五ミリ風速三十米の颱風の中心は夜半より今朝にかけ長崎縣下に襲來今尙猛烈に吹き捲くりつゝあり今朝五時半長崎驛發列車は道の尾驛にて七時半發列車は大村にて何れも立往生し爾後鐵道電信電話不通のため各地との聯絡を全く杜絕し孤立の狀態となり港內聯絡船も全部運航を中止し市內電車も不通電信線は僅かに海底線の一部を殘して全部通信不能となり市內外に亘り家屋の倒潰其の他相當の被害ある見込みなるも街路は電信電話線の切斷屋根瓦亞鉛屋根看板等吹き飛ばされ危險にて踏査出來ず詳細不明學校は全部授業を休止してゐる

電報が遲延
わづか長崎線一本となり 日滿間の電信不通

關門方面大暴風雨のため日滿間電信線は東京大連線、佐世保大連線、大阪奉天線、下關奉天線とも今朝四時ごろより不通となり長崎大連線の一線のみ辛うじて通信中であるが、長崎局も市內を除くほか各線不通で通信全く杜絕し朝鮮內地間も同樣の狀態にあるので滿洲內地間の電報は大遲延を免れざるべく遞信局では遲延承知の者に限り受け付けてゐる 因みに長崎局の情報に依れば被害の中心は下關附近で降雨は本日正午が絕頂の見込み、その他の模樣は通信杜絕の爲め目下判明してゐない

藝妓自殺未遂

市內逢坂町三田尻樓抱藝妓照八こと尾關トミ(二〇)は十八日午前三時ごろ多量のカルモチンを嚥下自殺を企て苦悶してゐるを午前七時半朋輩藝妓が發見、直ちに桐原醫師を迎へ應急手當を加へたので生命を取止めた、大連署から大崎警部補が檢視した 照八は昨年五月三好樓から二千五百圓で仕替へしたもので遺書一通もなく自殺の原因は不詳

長崎縣人會

大連長崎縣人會では會員である前滿鐵用度事務所長宮永氏が製鐵部次長に岡田氏が本社文書課長に榮轉したので兩氏歡送迎會を七月二十日正午から星ヶ浦樂天閣において開催する(會費三圓)

妻から藝妓へ 結婚詐欺に罹る
友人が出刄で絶緣を迫り 男と共に取調べ中

市內沙河口仲町五八番地鐵工業藤井初太郎(二?)は妻子のあるを包み隱して市內西公園町公園館止宿の青木フミ(二?)と媒を通じ、妻子の內地歸省中は自宅にフミを引入れて內緣關係を結んでゐた、ところが歸國中の內緣の妻岸川トミ(二?)から手紙が來たのをフミが發見、痴話喧嘩の果、藤井は內地へ歸つて妻との緣を切つて來るとフミを騙し、依然同棲生活を續けるうち生活費に窮しフミのダイヤ指輪外四點を三百圓で入質し生活を支へてゐたが本年三月藤井は妻子が歸連しそうになつたのでフミを騙して沙河口博多屋へ前借三百圓で藝妓に賣み込ませた、其後フミは藤井にあやつられてゐたことを知り藤井を相手取り結婚詐欺で大連警察局に告訴した なほ藤井とフミとの間を絶緣させるため藤井の友人長谷川政雄(二五)が出刄庖丁でフミを脅迫した事實あるといふので長谷川も脅迫罪で告訴されてゐるが目下春木檢察官代理の手で取調中

破戒僧に 懲役四ヶ月
手付金を騙取

僧侶から巡査、巡査から運轉手へと女故に波瀾の人世を辿り罪を犯した男の公判——京都生れ住所不定宇佐美實藥(二?)は二十歲まで僧侶を勤めたが女道樂から破戒僧として寺を追はれ、福井縣巡査を奉職したが放蕩のため免職となり昨年初め來連、市內春日町平和タクシー運轉手に雇はれ中同僚の金錢を盜み內地に逃走し、本年五月京都で知人の大八木善一(二?)が失職して生活に困つてゐるを奇貨とし滿洲へ行けば金儲けがあると騙まして誘ひ出し大八木の內緣の妻越野初子(二?)を甘言を以て逢坂町へ賣ることを說きつけ前借手付金として五十圓、騙取逃走したものであるが、立會檢察官は懲役四ヶ月を求刑した

艶色生膽秘譚 (176)

伊藤松雄作 河原塚鎌太郎畫

鳳翔丸(三)

「鳳翔丸へ!」
「鳳翔丸へ!」

たちまち起るこの叫び、驚愕にあふれる浪士の群が靡々によばつた。

「それッ、非常門から脱出せよ!」

ドッと雪崩うつた一隊、相樂總三を中心におつとりかこみ、寄手が隙間もなく銃陣布いた眞只中を白刄揃へて立向ひ、血路を開かうと云ふのである。

「追手の通路をはばめ!」
「火を放て!」
「火を放て!」

火藥がかけられた沿道の民家は罪ないのに銃丸を浴びた。急を告げる警鐘亂打。炎々たる業火は、敵兵に追撃を妨げる……

左近は相樂を守る一隊と共に、からくも品川に辿りついた。

「それ、はしけを調達せよ!」
「はしけぢゃ!」
「はしけぢゃ!」

眼下にとびかふ浪士。一人として傷かざる者はない。

「貴公もか!」
「うん!」
「俺もやられた!」

たちまちはしけに乗り移るや、一隻、二隻、また一隻、まだ明けやらぬ沖合に、くろぐろと浮んだ船影めざして漕いでゆく。

「欣彌どの、あれが鳳翔丸ぢや」

事態急なることを既に報じられたものか、碇をあげ、總帆風にはらんで、機關も音をたててゐる。

「それ、乗移れ、はしけはすぐ引返せ、第二陣を迎へろ!」

喚き叫んでドヤドヤと船に上れば、

「總員集れッ!」

號令が甲板に押しあひひしめくを、即座に、砲員、航海員の區分して各自その任務についた。

砲員の部署にふりあてられた左近、

「欣彌どの、休息するがよい、出血は止つたかな」

かうした間も氣になるのはこの年齢の同志がことである。

悔いても及ばぬ錯誤にむざむざと妙香をさへ狂刄に仆した己ではあつたが、それだけに欣彌がいとはしくも感ぜられる。

「あッ、左近様、あ、あれは?」

欣彌が突如として指したは臺場の彼方に赤い一點の灯、檣頭たかくまたたいてゐる怪しき船影——

「おお、——はてな」

左近は眼をすますと正しくそれは榎本鎌次郎が督する回陽丸に違ひはなかつた。

「しまつた!」

左近は轉ぶが如く船橋へ駈けあがつた。

「先生、回陽丸が見えまする、迎ひ撃ちませうや」

「何？回陽丸が——」

相樂は依然夜の幕にとざされてゐる暗の海上をぢつと見詰めたが

「おゝ、正しく回陽丸ぢや、戰鬪の準備!」

忽ち起る殷々たる砲聲、鳳翔丸からその火蓋を切つた。

いままで靜まりかへつてゐた海上には、落下する砲彈に水柱たち、暗の夜空には、花火の如く砲丸が炸烈した。

左近は砲員としてその曳綱を受持ち、欣彌はかよわい腕に、船底から砲丸を運んだ。

轟然空をつんざいて飛來した敵彈、

「しまつた!」

鳳翔丸の帆柱をうちくだけば、黒煙もうもうとたちこめる。

ひきちぎられて海面へ舞ひおちてゆく帆布には、犠牲者の血が赤く染まつてゐた。

キネマと演藝

レコード演奏會

公司主催にて明十八日午後七時より大連基督教青年會館にてコロムビアレコード演奏會を開くが入場無料で曲目は左の如くである

▲吹奏樂「拔錨、行進曲」コロムビア吹奏樂團▲童謠「汽車ポッポ、幼年の歌」澤田信夫▲少吹「都々逸、博多節」天中軒雲月▲喜劇「東海道膝栗毛」市川猿之助、市川段猿、大谷友右衛門▲吹奏樂「水兵、行進曲」コロムビア吹奏樂團▲映畫説明「江戸城總攻め」熊岡天堂▲浪花節「鼠小僧次郎吉」松風軒榮樂▲交響管絃樂「シンフォニア」コンツェルトゲヴゥ▲童謠「動物園、いくさごっこ」清水三七子▲ジャズソング「テノールの豆腐屋」同部德次▲じょんがら節「召集令」内山綿鶯、澤田信次▲管絃樂「セレネード」コロムビアコサート管絃樂團▲童謠「ほうほう螢、蝶々の子供」黒野千代、飯野ふみ子▲新民謠「靜岡、行進曲」河原喜久惠▲流行小唄「ザッツオーケイ、海の行進曲」河原喜久惠▲チエロ獨奏「ラルゴ調」ガスフハルカサード

愈よ今夕から本社觀劇會

呼物の艶色生膽秘譚の場割

本紙讀者は優待割引

待望渦巻く眞只中に劍戟王河部五郎とその一黨は愈よ今夕午後四時より歌舞伎座に於て本社觀劇會の初日の蓋をあけるが、既報の上演藝題の時間割は左の通りである

▲午後正四時開幕「旅人權三」三場▲五時半より本社劇「艶色生膽秘譚」五場▲八時廿分より「妙法院勘八」九場▲打出し十一時

既報の通り本社主催の觀劇大會は七日間の興行中を通じて左の通り愛讀者に限り觀劇料大優待をなすことに決定したが優待券を利用されたい、因に藝題のうち最も呼物とされ好劇家の注視の的である本社連載の「艶色生膽秘譚」の脚色された場割は左の如くである

第一場 武甲國境小佛峠
第二場 大川端洲町河岸
第三場 諏訪神社の境内
第四場 宿場旅籠の二階
大詰 上野五重塔附近

尚一般入場料と讀者優待割引は左の如くである

	普通料金	讀者割引
特等	四圓	三圓二十錢
一等	三圓五十錢	二圓八十錢
二等	二圓	一圓六十錢
三等	一圓	八十錢

各方面よりの團體觀劇申込も殺到してゐるが場席申込等は直接歌舞伎座(電話四五三八・六七四六番)へ申込まれたい

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引

主催 滿洲日報社

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引

主催 滿洲日報社

佐藤仙人が生きた猫を食ひ「ニヤンともない」と洒落れてゐるが▲見物人は猫の泣き聲を聞いて悲鳴をあげてゐる、映畫だつたら蛙を食つてもカットされる▲常盤座の「岡惚れハリー」はどこかで見たやうな顔だと、映畫衛が囀る▲「ライラックタイム」はと言へば「妾は見たがまだ聲は聞かぬ」▲常盤座すかさず「その聲が廿一日限り常キネと左様なら」をして後釜が決つたやうで決らず何時でも蓋をあける用意をして二三日休館するらしい▲そして常キネ最後の映畫が「四ッ谷怪談」で怨めしいところには化けて出る氣か

ラヂオ

大連 JQAK 七月十九日午後七時三十分

▲ラヂオ體操▲獨逸語講座「第三課」大連語學校講師荻榮▲宗教講話「宗教は眼より入るものなり」東京出中清純師▲長唄「秋の色種」大連長唄櫻會社中、中村愛子、指導吉住小之藏▲箏曲「六段調」尺八辻泰正、同高取泰靜、同加藤泰表、同谷本泰陽、同松田泰草、三味線福永大勾當、同辻村勾當、同森川とし子、箏平井勾當、同安田夫人、同木次初榮、同小笠原松子▲尺八「都山流本曲湖上の月」一部林泰鄕、宮地泰風、二部木村汲山、川島籟暢▲料理獻立▲天氣豫報

東京 JOAK 七月十九日午後六時廿五分

▲狂言「入間川」野村萬造、同萬介、同萬齋▲小唄(一)扇舞(二)半月(三)ラヂオ(四)と丶やの茶碗(五)たまきく(六)土堤に飛交ふ唄 岩井みさ 三味線佐橋明▲管絃樂(一)組曲胡桃割人形チヤイコフスキー作(二)歌劇ジョコンダ時の踊ポンキエリー作 日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラット

滿洲日報

青少年諸君！
新時代の成功法は即ちこれ!!
飛行家養成講義錄
會員募集
責任指導！
地上は既に行き詰まり國防に交通に、ともに、其の中心は空中へと移りつゝあり。
正に飛行機萬能時代は來た
先見の明ある士は志せ、大空へ！
大空こそ若き諸君の活躍地!!
大發展・大擴張
ひとり飛行界のみは
實に諸君登龍の門は飛行界を措いては外にない
日本飛行界の權威「石川飛行士事務所」に生れた本講義錄は、名實共に日本唯一の最高權威を有す！
ハガキで申込次第 内容見本 無代進呈
石川飛行士事務所

中元に
暑中に
赤玉ポートワイン
召しまして
つつがなく！

月星サイダー
最尖端の高級飲料
月星合資會社

社説

滿鐵の新陣容整ふ

仙石總裁によつて斷行された滿鐵の職制改正、十二部制の運用は最近、伍堂、十河の兩理事の簡拔また拔擢すべく內定せりと傳へらるゝ木村、村上、大森氏らの理事舉用によつて愈よ充實せらるゝものと期待されてゐる。すなはち總裁、副總裁、大藏、藤根、神鞭の三理事に加ふるに伍堂、十河、木村、村上、大森らの新理事によつて滿鐵の幹部陣容は全く整備するものといへる。かく陣容が整つた以上は、これが活動によつて滿鐵の社業使命が如何に遂行されるか吾人は刮目して待つのみである。

◇

[illegible]ことが出來やう。これ仙石總裁が就任以來一年に垂んとする期間、調査研究に沒頭した結晶ともいふべきものであつた。かくて最近、愈よ本質的の改正職制に人事の充實を行ひ社業遂行の新陣容が全く出來上つたものといふことが出來る。これからは新職制により陣容を運用し以て如何に社業の遂行を實現するかに存する。

◇

前述した如く滿鐵、今次の職制改正は本質的の根本立直しであつたから十二部制が圓滑融洽に運用せられんがためには相當の手ならしを必要とする。間に合せの改革でないだけに部と部との連絡調節部內の各課、課內の各係などの出入調和に熟達するまでには相當の日子を要することも想像に難くない。而して一度その合理化に馴熟せんか責任の歸着が明確となり事務の簡捷、能率の增進、期して待つべきものがあらう。尤も制度は二の次ぎであり總てのものの根本は常に人間にありといふことも眞理であらねばならぬ。

◇

かくて十二部制による滿鐵の新陣容は全く整備した。併しながら滿鐵社業の遂行は將來、決して坦坦たる大道を走るが如きものと做すことは出來ぬ。途中、山あり谷あり大水の存することを思はねばならぬ。創業時代より守成の時代に入り內延的に社業の合理化を期さねばならぬのである。かくの如き時代にありては人心を一新し以て創造的の氣分を以て派生化、複雜化せる社業の新企畫により使命の那邊に進展しつゝあるかを確めその達成を期すべきである。かくの如き意味において新職制の効果は刮目に値するものがあるであらう。ただそれを遂行實現するがために人事を盡して天命を待つの覺悟がなくてはならぬ。

◇

今次の十二部職制を充塡する滿鐵の人事行政を觀るに大體において事務本位に行はれつゝあるは吾人の意を強くするものがある。滿鐵に政黨的色彩の入り込むことは何人も反對するところ、而して政黨を超越し國家本位、國民本位に事務の遂行に努力することは滿鐵本來の使命といはねばならぬ。然るに從來やゝもすれば然らざらんとするが如きことのあつたのは遺憾とせねばならぬところ、而して今次の人事行政を觀測するに徹頭徹尾、事務本位なるは吾人の最も愉快とするところである。[illegible]人は仙石[illegible]の人事行政の苦心に對し[illegible]總裁の意のあるところに留意し社員も益々この方針を以て社業を遂行されんことを期待するものである。

◇

要するに調査研究、準備に一ヶ年の日子を費した仙石總裁の[illegible]陣容は出來上つたといふべきであらう。これからは右の整備せる陣容の運用によつて社業の遂行に邁進努力せんとするであらう。社業の第一線に活躍する一般の社員も合理化されたる新職制により十二分の成績を擧ぐべく粉骨の努力を惜しむべきではあるまいと思ふ。これからは愈よ仙石總裁の手腕のほどを實地に試むべき秋が到來したのである。われらは滿鐵全社員が協力一致、新職制による新陣容を以て社業の遂行に努力せんことを切に期待するものである。

兵力量の不足とその補充の論戰
正式軍事參議官會議の奉答が注目の焦點となる

【東京十七日發電通】揉みに揉んだ五回に亙る四巨頭會議に於て後に到着した歸着點は加藤[illegible]ロンドン條約兵力量を以て[illegible]れた即ち加藤大將は正式軍事參議官會議に於ける奉答に於て「ロンドン條約兵力量は國防作戰上支障あり」との意味を端的に奉答せんとし財部海相は「ロンドン條約兵力量は國防作戰上支障あり故に之が補充を要す」との意味を奉答せんとしてゐる故に財部海相も國防作戰上の缺陷又は支障を認める事に於て加藤大將と意見の一致を見た譯であるがこれを其の儘參議會が奉答する時は全體として調印した財部海相は頗る苦境に立つ結果となるので此の間に微妙重大なる關係があり注目の焦點となつてゐるものである

今回の條約は國防上遺憾の點ありと雖も補充方法によつてこれの缺陷を補ひ得らるゝものと思惟する

旨を明記してゐるからよし軍事參議官會議がこの點につき同樣不充分との意見の奉答をなす共却つて若槻全權の上奏と合致し却つて政府側も納得するに至るであらう、兎に角政府としては事態の前途につき特に憂慮する必要なく徐ろに軍事參議官會議の終了を待ち御諮詢の手續に出すべきであるとして居り濱口首相は十八日の閣議において右の趣きを述べて諒解を求めこれを以て今後の政府の態度をする事を申合せる

はつきりした總督の意見
松田拓相語る

【東京特電十七日發】齋藤總督と會見後語る 松田拓相は軍縮條約問題に就いては別れがけに一寸話が出たが要するに總督の意見はハッキリして居る、即ち時の海軍大臣と軍令部長が國防に缺陷なしと保證し又條約調印に依つて事實上の效力を發生して居る、故に一方軍事參議官會議で何う云ふことになるにしても樞府に御諮詢を奏請しソレで御批准が出來れば良いぢやないかと云ふのが齋藤さんの意見だ、此點では現內閣の濱口首相よりも寧ろ強硬な位の意見だ、齋藤總督もあれほどハッキリ意見を發表して居る以上この上東郷元帥其他に會見する樣な事は先づあるまいと思ふ

豫後備召集の人員を削減

【東京十七日發電通】陸軍では豫算節約の非常手段として本年度は豫後備役等の召集人員の削減を爲すに決定、十八日の豫算閣議で決次第右實施の發令を爲すことゝなつた、右に依り召集を免れる人員は四萬餘に達しこれに依る節約額は約百萬圓である

督は今日濱口首相松田拓相と會見の際條約問題に就いても政府側の意嚮を聽取したが今明日中に財部海相と會見更に東郷元帥とも會見し條約成立のため奔走するであらうと期待されてゐるがこれに關し總督は語る

余は大正三年以來海軍を追出されてゐるから今更問題の渦中に引込まれたくない併し財部海相には上京の挨拶をせぬわけには行かぬから玄關に名刺を抛り込んで置くつもりである、東郷元帥には豫てから會ひたいと思つてゐるがこれも誤解の因となることのないやうつとめたい、併し條約問題に關する今度の經緯に就ては詳細事情を聽取し其必要があれば東郷元帥とも本當に會見してお話して見たいと考へないこともない

奏請の手續を軍部で協議
軍令部國防案も研究

【東京十七日發電通】條約兵力量の御諮詢事項、奉答形式及び軍事參議會開催の順序、手續議事方法等につき十七日早朝より小林次官を軍事參議院に御諮詢奏請する際堀軍務局長以下參集協議したが軍令部でも午後一時より谷口部長は永野次長以下各班、課長を集め軍事參議院にて說明すべき軍令部案に就き研究した

第六次會議は準備完了後開く
來週中には開會困難

【東京十七日發電通】海軍々部の軍事參議會に御諮詢奏請手續準備未だ完了せざる爲め第六次海軍巨頭會議は十七日も開かれぬことゝなつた、而して第六次會議は巨頭會議最後のものとし右準備出來次第開かるべく目下の處では右第六次巨頭會議は來週中は開會困難であらうと見られてゐる

御諮詢奏請方針
きのふの閣議で申合す

【東京十八日發電通】政府はロンドン條約樞府御諮詢奏請についてはは軍事參議院の新國防計畫案奉答を待つてこれを行ふ方針で右奉答內容に濃厚の注目を拂つてゐるが過般若槻全權の復命上奏書中にも

ドイツ大汽船の極東航路合理化
世界海運界に一大ショック

ドイツの二大汽船會社たるハンブルグ・アメリカと北ドイツ・ロイドとの間にインテレッセンゲマインシャフト(利害共同契約)が成立して經營の合理化を圖る事になり世界の海運界に大なるセンセイションを捲き起してゐる、これに刺戟されてイギリスでも最近船會社間に合同交渉が進んで居ると傳へられる日本では如何であらうか、郵船と商船と合同する事にはならぬものか、早く國內の同志討ちを廢めて對外的に共同戰線を張らなければ外國の大競爭者に壓倒されてわが海運界の破滅を來す事になりはせぬか

◆

ハンブルグ・アメリカ汽船と北ドイツ・ロイド汽船の兩社が契約成立後第一着手として實行に取掛かつたのは航路整理である、ドイツからアメリカ太平洋岸に至る航路を先づ整理統一したが、更に今回はハンブルグより日本に至る極東航路を統一改善する事になり、去る六月十日より既に實行してゐる、これは日本郵船の歐洲航路に對する競爭航路であるから日本でも安閑としてはゐられまい

◆

ドイツ二大汽船の極東航路は從來左のスケヂユールによつてゐた

△ハンブルグ・アメリカ社

(極東A航路)

往航 ハンブルグを起點としてロッテルダム、ゼノア、ポートサイドに寄港し、コロンボ、シンガポール、香港、上海、神戸、横濱に至る

復航 神戸から天津、大連、青島、上海、香港、マニラ、シンガポール、コロンボに寄港してヨーロッパに至る

二週一回出帆でハンブルグより神戸迄約五十五日、ゼノアより神戸迄四十日である、就航船は大部分新造モーター船で七、八千噸級の快速船十隻である、旅客を主として貨物を從としてゐる

(極東B航路)

ハンブルグを起點としてロッテルダム、ポートサイドに寄港しペナン、スウエッテンハム(海峽植民地)、マニラ、上海、門司、神戸、横濱に至る

二週一回出帆で所要航海日數も略A航路と等しい、就航船は六千五百噸乃至八千噸級の汽船及びモーター船で此の航路は貨物を本位とし旅客を從としてゐる

△北ドイツ・ロイド社

(極東A航路)

航路及航海所要日數はハンブルグ・アメリカ社のA航路と略同じである。二週一回出帆で七千噸乃至九千五百噸級の汽船十隻(客船、貨物船各五隻)を配してゐる。

(極東B航路)

ハンブルグ・アメリカ社のB航路と略同じで二週一回出帆し六千噸級の貨物船を配してゐる

◆

要するにハンブルグ・アメリカ社も北ドイツ・ロイド社も從來は毎週一回客船と貨物船と交互に一隻宛極東航路へ配船してゐたので、今回兩社の航路を併合した結果六月十日より左の通り改善された

(一)兩社船の起點をブレメン港とし、ハンブルグ、アントワープ、ロッテルダム、ゼノアに寄港する事

(二)寄港各地に於ける兩社の荷積場及波止場を統一合併する事

(三)一週二回出帆とする事

從來も兩社船を通算すれば一週二回の割合になつてゐたが、今回の合併で寄港地及び積卸の設備が統一され、旅客及び積荷人は著しく便利となる。船積貨物は受付日を制限せず毎日受付ける

◆

因みにハンブルグから神戸迄の兩社客船の一等乘船客は九十ポンド(約九百圓)貨物船による同賃金は七十五ポンド(七百五十圓)である、序ながら歐洲大戰中に押收された船の代價としてハンブルグ・アメリカ社は四千百八十萬ドルを、又北ドイツ・ロイドは二千七百二十萬ドルをアメリカから貰ふ事になつた

昭和製鋼所問題はその後進捗せず
滿鐵の要望と政府の意見相違
事實上當分中止か

【東京特電十七日發】昭和製鋼所問題は十四日の關係閣僚協議會に於て最後的決定を見ず散會したので來る二十四、五日頃第二次會合を爲す豫定になつてゐるが仙石總裁の希望とこれに對する政府側の保護獎勵に關する意見との間には依然相當の扞格もあり目下の處その妥協接近を計るの議は一向進んで居ないので或は第二次會合に至らずこの儘の狀態で仙石總裁の歸任を見るやも知れず、更にこの事について他に打開の途を發見するに至らなければ問題の解決は果して何時になるや殆ど見當つかぬ狀態に立至り昭和製鋼所の事業着手は事實上當分中止となるであらう

會議の內容を總督に說明
朝鮮側の立場で希望
會見後松田拓相語る

【東京特電十七日發】松田拓相の招電に接し急遽上京した齋藤朝鮮總督は十七日朝濱口首相を訪問し約三十分會談、次いで同午前九時五十五分拓相官邸に松田拓相を訪問し約一時間會談し、同十一時過ぎ辭去したが會見後松田拓相は語る

昭和製鋼所問題に就いて齋藤朝鮮總督から決定留保に就いての電話があつたので關係閣僚と仙石總裁の會合で急に決まるかも知れぬと思つたので急遽上京方を打電したのである、然し會議は遂に結論に至らず又第二次の會合も何時になるか判らぬのでそのことのみでわざく上京する必要は無かつた譯だ、今日の會見では十四日の協議會の經過及び內容を詳細說明したに過ぎない、無論總督としては昭和製鋼所の本社が京城に登記してあり新義州設置の心算で種々準備もして居ると云ふので朝鮮側の立場として新義州設置を希望された、此問題に就いて仙石總裁と上京中更に第二次會合をしようと云ふことになつては居るがソレも果してどうなるか判らないその他の用件としては朝鮮統治の問題に就いて種々意見の交換をした

仙石總裁と懇談する
齋藤總督談

【東京十七日發電通】松田拓相と會見後齋藤總督は語る

昭和製鋼所設置問題につき過日仙石總裁と閣僚との會見內容を聞いた朝鮮總督としてはこれに關して意嚮を挿むべき關係には置かれてゐないから積極的にどうするといふ事は出來ない、が朝鮮の要望につきよく話した、更に懇談を遂げたいと思つてゐる、而して過般の關係者會合の結果は大體において或方向が定められ今後一回位の會合で決定する模樣であるがその時は松田拓相より本問題に關して聲明するとの話であつた勿論まだ事業そのものが遣るか遣らぬか表面上極つてゐないのだから今直ちにこの問題の決定を朝鮮側に有利であると解釋する事は無理かも知れぬ、兎も角余の滯京中目鼻がつくと思つてゐる

政府側から意嚮聽取
齋藤朝鮮總督

【東京特電十七日發】齋藤朝鮮總督は今日濱口首相松田拓相と會見の際...

滿洲設置を長官に請願
大連會議所で

大連商工會議所では昭和製鋼所滿洲設置に關し十七日村井會頭の名を以つて左の通り太田關東長官に對し請願書を提出した

昭和製鋼所は技術上又は國策上より見て之を滿洲の適地に建設すべきものたることは一點の疑ひを要せず殊に滿蒙開發を使命とする滿鐵會社の經營たるに於て朝鮮統治の爲め之を新義州に置くべしなど云ふ議論は全く採るに足らず政府は技術上經濟上反覆調査の結果に基き國家の將來を達觀し此際地方的運動に惑はさるゝことなく斷然滿洲の適地に建設する樣決定されんことを切望して止まず右爲念及請願候也

歸省學生の集會禁止
遼寧教育廳で

【奉天特電十八日發】遼寧教育廳長吳家象氏は夏季休暇中の學生の不穩行動を取締る爲め休暇中學生の集會結社を嚴禁する旨通令を發した

紡紗廠純益
奉天洋五千萬元

【奉天特電十八日發】奉天紡紗廠は官民合辦の遼寧省における最大實業の一であるが十八年度の營業成績は最近決算の結果純利奉大洋五千二百六十萬元といふ良好

マ氏の保留案
ポ委員長反對

【ワシントン十六日發電通】マッケラー氏提案の二保留案に對し上院外交委員長ボラー氏も大多數議員と同樣反對の態度を有してゐるが、右保留案採否の表決は最後の批准表決の正確な標準となるものと注目されてゐる

滿鐵理事二名增員
大森熊本縣知事も內定

【東京十七日發電通】既報のごとく滿鐵では理事二名を增員する事となり大阪鐵道局長村上義一氏は既に內定したが、他の一人は熊本縣知事大森吉五郎氏に內命のことに內定した

さらに一名は社員を拔擢

滿鐵理事二名の增員で八名となつたが理事の各部擔任は計畫部大藏理事、鐵道部村上理事、地方部大森理事、工事部藤根理事、交涉部木村理事、販賣部、用度部十河理事、鑛業部、殖產部伍堂理事、經理部神鞭理事、大平副總裁の總務部長で殖產部長のみが殘るがこの殖產部長の擔任理事を滿鐵社員から拔擢されることにならうと見られてゐるから結局理事の增員は三名に止められるものと觀測されてゐる、從つて噂されてゐた社員部長制は實現性が全く消された譯である

各植民地特別會計の豫算節約額決る
總額は千百二十七萬七千圓
關東廳は九十四萬圓

【東京特電十七日發】拓務省では十七日詮議中の各植民地特別會計昭和五年度豫算節約額につき正式決定を見たので直ちに大藏省に廻付したが其の節約總額は千百廿七萬七千圓で各地別は左の如し(單位千圓)

一、朝鮮總督府經常部	四、六四四
同臨時部	一、九八五
計	六、六二九
一、臺灣總督府經常部	一、一六〇
同臨時部	一、二〇二
計	二、三六二
一、關東廳經常部	七〇八
同臨時部	二四〇
計	九四八

節減の割合

【東京特電十七日發】關東廳の節約割合は經常部工事費約一割、臨時部にありては普通工事費一割五分繼續費總延べ一割見當で補助費の大連上下水道工事費の如きは三分減本年より三ケ年繼續事業の臨時試驗場擴張費(四萬五千圓)は節減を免れた

露支正式會議は開會の見込無し
奉天に達した情報

【奉天特電十八日發】當地某所に達したモスクワよりの情報によれば莫德惠氏は十四日カラハン氏と會見したが單に會議開始に關する手續上の問題を協議したに止まり全體の空氣は未だ何等好轉の模樣なく八月一日正式會議開會は全然見込がないと

聽衆堂に溢れる
日大生の雄辯大會盛況

本社後援日本大學雄辯部雄辯大會は十七日午後七時三十分より敷島町大連キリスト教青年會講堂で開催されたが、定刻既に熱心な聽衆で滿員となり、椅子に坐り切れず窓際で傍聽する熱心な人もあり、會場は若き婦人の姿も相當にあつた、會は先づ日大校友會大連支部齋藤篤太郎氏開會の辭に始まり中井川君始め六名の學生諸君は夫々感激に滿ちた口調で勇敢率直に社會問題、哲學問題、教育問題、或ひは婦人問題等について自己の所信を發表し前同會常務委員會山正彥氏は若き後輩の爲に挨拶を述べ、最後に東洋問題研究の大家日大教授後藤朝太郎氏は「東亞我觀」の演題の下に豐富な知識を傾けてユーモア的に日支人の性質の上に立つ文化の比較差異を述べて快辯を振ひ滿場の聽衆に深い感銘を與へ割れるが如き拍手を浴びて降壇、滿洲青年聯盟岡田猛馬氏閉會の辭を述べて頗る盛會裡に同十時散會した

な數字を擧げ一割五分の特別積立金を差引き殘額四千四百七十一元を左の通り處分するに決した

一、積立金(一割)四百四十七萬一千元
二、固定資產銷却金(一割)四百四十七萬一千圓
三、教育基金(三分)百三十四萬一千三百元
四、撫恤金及退職慰勞金(二分)八十九萬四千二百元
五、勞働獎勵金(一割)四百四十七萬一千元
六、差引配當金二千九百六萬千五百元

(內譯)

(イ)職員配當金七百八十四萬六千六百五元

(ロ)株主配當金二千百二十萬四千八百九十五元

內定は事實だらう
大平副總裁談

滿鐵三缺員理事は伍堂卓雄、十河信二、木村鋭市(歸朝後正式決定發表)の三氏就任によつて補充されたが東京電報によると更に鐵道省大阪鐵道局長村上義一氏が十八日の閣議によつて滿鐵理事に決定就任するほか熊本縣知事大森吉五郎氏も同樣理事に內定した模樣であるこれによれば二名の理事增員となるがこれについて大平副總裁を訪へば「理事增員のことか、それは全く僕には判らないよ」と冒頭し

適當な人物さへあれば理事の增員もよからうと總裁は思つてゐられたから村上、大森兩氏の理事內定も或は事實であらう

と多くを語らなかつた

人選方針
事務家を採る

【東京十七日發電通】今回理事二名の增員は過般の職制改革の結果職員に不足を告げたため其の人選は主として政治家を排し事務家を擧げて居るがこれは滿鐵が事業會社としての面目を發揮せしむると言ふ趣旨に基いたもので政黨方面から可成り多數の推薦者もあつたが全然之れを退けたのである

大森知事談

【熊本十七日發電通】滿鐵理事就任說をもたらし大森熊本縣知事を訪へば

ソンナ事は知らぬ又運動した事もないが正式任命あれば何處でも行かねばならぬが

とすげない面持だが內心うれしさうに

もう正式に發表あつたのかと記者に小聲でささやいた

重役會議開催

滿鐵定例重役會議は毎週火曜日の午後一時より開催されることゝなつてゐるが本週火曜日は大藏理事病氣のため延期され十七日(木曜)午後一時半より總裁室にて開催出席者は大平副總裁、大藏理事藤根理事、木村總務部、石川交涉部、鈴木鐵道部、向坊計畫部、竹中經理部、佐藤工事部、武部殖產部、山西地方部、白濱用度部の各次長で午後四時半終了した

寧拉間支線
本年中に竣工

【ハルビン特電十八日發】チチハル齊克鐵道の碎線寧年から拉哈に至る支線の敷設は六月末から着手し土工中であるが本年中に竣工の見込で工事を急いでゐる、尙高雲崑廣信公司總辦は財政整理の爲東北政權から五百萬元の現大洋の融資を受けたので廣信の內部を整理を行つてゐるが、そのうちの百萬元は既に黑龍江省に到着したと

東鐵輸送成績

【ハルビン特電十八日發】東鐵の本月一日から十五日に至る各驛の輸送成績は一三二〇三貨車でその內輸出もの四五三二、地方的輸送は三四八一貨車、昨年の同期は一五、六五一貨車であつた、輸出貨物中南行二〇六三、貨車東行二四六一貨車、滿洲里六貨車であつた昨年總數は六月から本月十五日までに六〇三三一貨車に達してゐる

國勢調査協議

關東廳で開催中の今秋十月一日施行さるゝ國勢調査に關する各地調査主任會議第三日は十七日午前九時から開會田邊文書課長、島產業主事等より申告書の記入心得、調査委員心得、檢查票等につき一應說明するところあり、質問應答に入つたが支那人、朝鮮人又は日支混血兒等の國籍はこれを如何に取扱ふや、妾は職業と認むるや否や妾の營む職業は旦那の職業かそれともやはり妾の職業か等の奇問などもも出で面倒な協議であつたが午後四時全日程を終り閉會した

見物に來た
赤塚正助氏談

前奉天總領事赤塚正助氏は語る

內地は大變暑いので只避暑に來たそれに孫も大きくなつたのを見舞旁々いはゞ遊びに來たのだ太田長官とは學友である關係上一度訪問するつもりだ

東北海軍が一大造船廠計畫

【奉天特電十八日發】東北省當局では東北海軍を充實する計畫を樹て管內に一大造船廠を設置すべく目下準備を進めてゐるが、右設置の上は取敢ず二千噸級の軍艦二隻を建造する事になつてゐると

滿洲の郵貯
四十四萬圓增加

滿洲の郵便貯金は去る五月末二千三百萬圓に達して以來急激なる增加を來し六月中には四十四萬餘圓を增加し七月に入りては一層その度を增し十七日には早くも二千四百萬圓を算するに至つたがこの趨勢は當分持續するものゝ如く從つて二千五百萬圓の實現も遠き將來ではあるまいと

菱刈軍司令官招宴

【奉天特電十七日發】來奉中の菱刈軍司令官は十七日正午ヤマトホテルに官民百數十名を招待し新任披露の午餐會を催し開宴と共に軍司令官は簡單なる挨拶を爲し之に對し林總領事來賓を代表して謝辭を述べ極めて盛會裏に散會した

軍司令官開原へ

【奉天特電十八日發】菱刈關東軍司令官は本日午前九時發列車で開原に向つた

林總領事歸朝
來廿一日出發

【奉天特電十八日發】林總領事は一時歸朝命令をうけ二十一日發安奉線で歸國する筈であるが八月下旬か九月初旬歸任の豫定

安眠子

「七十四翁の仙石總裁が壯者も凌ぐアノ矍鑠振りは不思議だ不思議だと思つたらその精力の源泉が漸く判つた」と上京中の寶珠山君(滿鐵販賣部)が鬼の首でも獲つたやうに言ふからその譯を聞くと▲「僕は頗る鰻好きだから晝飯には竹葉に行くが、その都度供もつれず這入つて來る仙石總裁にヒョックリ出會す、それが三度も行つて三度だから驚いたよ」▲成程、老人の仙石總裁の、精力の源泉はソレで判つたが若い寶珠山君がさうして蓄へる精力は一體何處へ持つて行くのだらう、記者は職念卆ちソレを聞き洩らした▲鰻といへば由來老人の精力と鰻は[illegible]

故大倉喜八郎男は何歳へ[illegible]にも、生きた鰻を[illegible]力の源泉として居たが[illegible]て矢張りその通り▲又[illegible]者の知つて居る限りでは[illegible]や井上藏相も[illegible]鰻丼は多分[illegible]仙石總裁の勸め[illegible]のだらう▲尙鰻狂に[illegible]れば伍堂新理事も[illegible]知らず、本社の大平副總裁[illegible]理事どうだら[illegible]

錢鈔

定期後場(銀位)
寄付 高値 安値
期近 [illegible]
出來高 十九萬圓
現物後場(銀位)
銀對金 銀對洋 金
一時半 [illegible]
二時半 [illegible]
出來高 [illegible]

滿日地方版

奉天

日清日露兩役 追憶座談會
當年の勇士相會して

[illegible]

民會評議員補選

[illegible]

全省教育會議

[illegible]

人事

[illegible]……▲深川瓦斯會社奉天支店長 大連に於て開かれた支店長會議に出席した同氏は十七日歸奉 ▲今井榮黨氏（滿電營業） 十七日長春へ

生活難の自殺

[illegible]

町の便り

[illegible]

涼滴

[illegible]……向いても廣野、夏は來ても蟬も鳴かなければ蜻蛉も飛ばぬ、毎日九十何度といふ暑さを示しても海水浴も出來なければ舟遊びも出來ぬ全く自然に惠まれぬ單調で無聊に苦しむ奉天市民に對してせめて山間遊びでもと元奉天鐵道事務所で計畫し毎日曜に態々撫順まで運轉してゐる遊覽列車▲そして本溪湖の太子河上流まで上つても休憩所の飲料水や辨當類などは市價より安いといふ大勉強振り▲この分なら同列車もヘシかけツメかけ利用されるかと思へば是は又意外先週日曜日には乘客が百五十人その中往復の料金を支拂つたものが僅か五十人▲それから十三日の日曜は撫鐵公司が奉天の各知名士を招待し一日の清遊を試みる位のもので市民として自發的に清遊をなすものはホンの僅かなものである▲これでは何ぼ臨時列車を運轉しても利用されなければといふので該列車の運轉中止說まで出てゐる▲しかし折角市民のため毎年運轉してゐる遊覽列車が乘客がないといふので運轉が中止されるやうでは▲と奉天驛當局では之が勸誘策に苦心慘澹、無理を推して行く必要もないが一日暑い／＼と家の中に引籠り苦悶してゐるよりも是非一度は本溪湖でも撫順でも清遊して奉天では味はれぬ山氣に浴することも必要である▲そうすれば奉天に居住のつまらぬ思ひも僅かの經費で一掃され廢止されんとする該列車も永續運轉される譯である

遼陽

太子河の築堤
支那官憲が依然煮切らねば斷然日本側で着工す

[illegible]……驗故山崎領事及び見坊所長は十六日縣公署に與縣長訪問の上最後的折衝をなし、若し縣長に難色あれば附屬地の自衛上築堤する外なく其の時において城西一帶の農村被害は甚し思ひ半に過ぎるものがある

鐵嶺

各方面からの觀察
振はぬ附屬地の實業界
鐵嶺警察署長 青木昇氏談

[illegible]……な統計によつて調べて見たら、鐵嶺全體の人口として歲每に殖えてゐる傾向である

◇

併し これを職業別について見ると其處に鐵嶺の衰退振りを明かに物語つてゐると同時に、職業的實味を帶びた人達のみが踏止つてゐるといふ事を物語つてゐるやうにも見える、即ち人口の方面は（何れも年末調査）

年別	附屬地	居留地
明治四十年	一一二九	二一九三
大正八年	一八五六	一四四九
昭和元年	二七八〇	一〇七四
昭和四年	二九九五	六九三

斯くの如く附屬地は滿鐵の行政施設の完備によつて年々歲々增加し四十年から昨年末までには二倍以上の增加を示したのに反し、居留地方面は著るしい減少であるが、統計においては增加を示してゐるけれどもこれを職業別にすると

人口率による職業別（附屬地）

	明治四十年	大正八年	昭和四年
交通業	五〇・八%	四四・四%	五三%
其他の有業	二二・六%	一・六%	……
商業	一四・〇%	一五・〇%	一一・九%
公務自由業	九・〇%	一〇・七%	一三・八%
工業	一四%	一〇%	一三・七%

右のうち其他の有業者とあるは所謂日傭業者で、明治四十年頃までは未だ何か好い事はないかと其日暮しの賴りない生活をしてゐたものが總人口の二二・六%を示してゐたもので、それが大正八年には僅か一・六%となり殆ど影をみられなくなり、昨年末は全く影を見せないといふ有樣である、尙ほこれを居留地側によつて見ると明治四十二年末商業四三%本業者三五六人、工業一九%本業者一三八人、其他の有業者二五%本業者三五一人、公務自由業者四・八%本業者五一人、家事使用人五・六%一二三人であつたが、昭和四年末にはこれが商業四四%一五九人となり、四十二年當時より半數强の激減である工業は一九%四七人三分一に減じ、公務自由業は一二%三三人其他の有業一二%四二人となり昔日の俤を全く止めないまでに凋落してゐる

◇

有職 者と家族の關係は附屬地において明治四十年當時本業者七一〇人に對し家族は四一九人で未だまだ獨身者が多かつた、それが昨年末になつたら本業者一〇八八人に對し家族はそれよりも多く一九〇七人で、世帶を持つて子供まで出來て人口率はグンと殖えた其の業態から見ると明治四十年には交通業（主として滿鐵社員遞信局員）は五七四人であつたが二十三年後の昨年末には一五七八人に激增し、公務自由業の一〇二人は六八三人となり、所謂サラリーマンは著るしく殖えたが商業の方は僅に一三八人が三五六人となつたに過ぎない、工業の如きは一三八人が一六〇人となつたのみ誠に微々たるものだ、依之觀之と實際に町のために活躍せねばならぬ實業家の發展しないのは吾々が最も研究せねばな[illegible]ものでは無からうかと思ふ

撫順

銀價の暴落で 華商の破産續出
◇既に五十六に達す◇

銀相場は殺人的相場を辿るのみで撫順附屬地のみにおいてすらその打擊を受け中流以上最も基礎安全と傳へられてゐた中國人經營特產商、雜貨商等で支那節句以來倒產せるもの二十四軒、附屬地外支那街一流商人の破產せるもの三十二軒、計五十六軒の多きに達し、中流以下の破產せるもの亦頗る多く且つ舊盆の支那側決濟期も愈々差迫つた昨今既破產者と取引あるものを始め尙破產者續出の兆あり撫順附屬內外の支那側經濟界は前例なき危機に直面してゐる

炭坑明年度豫算
合計二千六百萬圓

炭礦部の六年度事業費豫算の査定も明二十日を以て終るまでに漕ぎつけたその額ザット一千萬圓費目內譯は坑內掘採炭の機械化古城子その他露天掘の電化機械化の徹底第四發電所の內部設備、製油工場の附帶工業の研究乃至事業化、龍鳳坑の新堅坑繼續事業等々が數へられてゐる

右事業費豫算會議が終れば六年度營業費豫算に移るのであるが、双方合して六年度炭礦部豫算は二千六百萬圓位に上らうと

撫順署員の宿舍四十戶
十月末竣工

撫順署で署員優遇のため西七條の本署に最も近い個所に住宅四十戶を新築する事と決定、その總事入札が十六日正午行はれ五萬七千七百七十圓で矢野組に落札、近く起工する筈である、二階建煉瓦作り建坪八百二十二坪竣工は十月末の見込、右宿舍竣成の曉は只に署員が喜ぶのみならず警察の使命を達する上においても頗る圓滑にならうと

炭坑主任級異動
十七日附發表

炭礦部主任級の異動が十七日附を以て左の如く發表された

技師 松元隆夫 電氣課計畫係擔當員を命ず

技術員 宮本春生、モンドガス發電所工場係主任を命ず

技術員 山田高、採炭課計畫係擔當員を命ず

事務員 加納吉次、大山採炭所庶務係主任を命ず

事務員 荒卷敏次、大山坑勞務係主任を命ず

技術員 西原駒市、工事事務所煖房係主任を命ず

事務員 山崎一雄 機械工場庶務係主任を命ず

技術員 山下寬 機械工場準備係主任を命ず

技術員 松本亘、機械工場鑄物職場、鍛冶職場主任を命ず

因に前記の內加納吉次、山崎一雄の兩氏は非常な拔擢であり、尙前大山坑庶務係主任小田敬三氏は滿鐵本社總務部に近く榮轉の筈

沿線都市の公會堂巡り
第一位は撫順の新公會堂

撫順新公會堂の使用料金改正の參考資料を蒐集すべく約五日間に亘り沿線各地の公會堂を比較研究十五日朝歸撫した撫沼地方係員語る

集會、活動、芝居等何んにでも使へ內部設備の完備と、新らしい事、一千人を收容し得る等、經費 **十五萬圓** を投じただけ撫順が州外第一だ、奉天公會堂も煉瓦二階建經費十六萬圓、收容人員六百名、一般の集會講演には適するが演劇等に不便で、まづ第二位第三位は安東公會堂で經費五萬圓收容人員五百人、第四位が經費一萬三百六十一圓收容定員六百人の營口座で使用料極めて安く民衆娛樂上映場としては好適である **第五位は** 公主嶺公會堂で經費一萬三百九十一圓、收容人員三百名、第六位が瓦房店公會堂で經費四千七百十五圓收容人員六百名の木造、第七位が大石橋公會堂で經費二千百二十一圓の收容人員五百人、是も木造である、尙ほ撫順新公會堂の使用料金も前記各公會堂に比し格安にならう

指紋まで誤魔化して 華工が工賃詐欺
管理人も共謀し大懸な犯行 採炭所は防止に狂奔

大仕掛の巧妙極まる工賃詐欺が最近炭礦で流行してゐる、その方法は工賃支拂に絕對必要な原本指紋をその保管人と共謀ごまかし大びらでやつてゐる、現在撫順、煙臺双方で炭礦部華工は四萬人ゐるがその採用當時正副二通の指紋を取り一通は本部指紋係へ、一通は所屬採炭所の庶務に保管してゐる、所が各採炭所で工賃支拂の際はかねて保存の指紋原本と工賃傳票指紋とを對照確實なるもの丶み支拂つてゐるのであるが、各採炭所の原本指紋保管人は **中國人** であるのを利用その保管人と共謀原本指紋を巧に消し工賃傳票持參者の拇紋を押し、形式上完全な「工賃傳票」を作り大びらで詐僞してゐたもので、彼等は大仕掛なグループを組織各方面で連續的に行ひその被害は甚大なもの丶如く目下各採炭所でその對策に狂奔してゐる

鞍山

傳染病の豫防宣傳
青年團の努力

鞍山實業青年團では惡疫益々蔓延の兆あるに鑑み地方事務所、衛生係員と協議の上各分團より十名宛都合四十名が自轉車にて行列を作り二十日午前七時より同九時迄消防隊自動車を先頭に全市を練り傳染病豫防宣傳を行ふ由

滿洲講演行脚
佐賀高校生

佐賀高等學校生徒七名は部長及教諭に引率され滿洲講演行脚を企て來る二十四日午後二時二十二分着急行列車にて來鞍し社會係、新聞協會、佐賀縣人會等の後援の下に午後七時より北二條町鞍樂館に於て無料で講演會を開催、一般多數の來聽を望むと

コート開き

鞍山興業會社では事務所裏に庭球コートを作つたので二十日午前九時より實業クラブコート開きを擧行すると

富永氏の招宴

鞍山製鐵部次長富永能雄氏は十七日午後六時より北二條町料理店銀蝶に於て市中有志を招待し懇親宴を張つたが頗る盛宴裡に午後十時散會した

鐵嶺

電燈料の値下げ 愈々認可さる
十七日附遞信局から
＝料金、實施期日は未發表＝

鐵嶺三千市民が鶴首してゐた電燈料金値下問題も愈々解決の時機が來た十七日午後遞信局より電燈局に對し料金規定變更の件認可の指令が到着したが新料金及び實施期日については追つて正式に發表される筈である

街燈廢止の連判狀で 電燈値下の認可促進
松島町が怪我の功名？

電燈料金問題で一部市民が業を煮やした結果のナンセンス――二三日前鐵嶺唯一の商店街松島町の一角から誰が發起したとも判らぬ回章が町內各戶に轉送されて來た、回章には不景氣の此頃何も節約だから松島町の街燈（六十燭六十個）全部を廢燈したい、御賛同の上御捺印を請ふとあり

街燈廢 止の連判狀である總局松島町內全部の署名捺印が出來て十六日の夕方には郵便司の手で右街燈廢止連盟書が電燈局へ差された、ところが電燈局でも普通廢止同樣に取扱ひ早速十七日朝八時六十個の街燈全部を撤去して了つた、驚いたのは松島町內の人達、連名廢止に捺印したもの丶まだ何とか相談はあるだらうし **實際は** 不景氣に藉口して電燈料金値下の腹を探るつもりらしかつたので此尙飛車な當局側の態度に大面喰らひ、一方警察署でも宗石局長を呼んだところ氏は全く寢耳に水、早速撤去した電球を再び取付るといふ騷ぎ、それと見た松島町民が今度は逆に鼻息が荒くなる、警察署でも不取敢關東局に向け料金値下發表を電請したすると午後になつて遞信局から「電燈料金規定變更の件認可す」と電報がありこれで一切解決、松島町は矢張り今まで通りに明るい

洪水の跡
排水に惱む

十三年振りの大洪水は既報の如く附屬地內住宅三百戶近くに浸水し減水後も排水に忙殺されたが、最も困難なのは地下室を有する建物や病院學校市場料理店等二十數ケ所は五六尺も濁水が漂ひ人力ではどうする事も出來ないので滿鐵及び民會消防のガソリンポンプ二臺の出動を請ひ連日排水に努めてゐるが學校病院の如き數時間を運轉しても排水し切れぬところあり、而も降雨は今尙歇まず排水の後から浸出するので後始末の完了するのは尙餘程の時日を要するやうである

執務時間變更
警察署と郵便局

警察署では來る二十一日より暑中執務時間として朝八時出勤正午退廳、午後は三週間に亘り演武場において土用稽古を行ふと、なほ鐵嶺郵便局も來る廿一日より八月三十一日までを暑中執務時間とし午前八時より正午まで執務すると

齋藤氏廿二日出發

前地方事務所地方係長齋藤元昇氏は愈々來る二十二日二十一時十分發列車にて家族同伴離鐵の上內地へ引揚げる

哈爾賓

支那飲食店が新稅に反對
重大なる社會問題

當地支那側飲食店は飲食物檢查員の俸給捻出のため毎月雜種稅を徵收されることになつたところ、飲食店業者は斷然これに反對し五百餘名の同業者は十四日總商會に大會を開き「この上重稅を負擔することは堪へられない」と決議し飽管理處長にこれが緩和方を陳情することになつた、彼等は「警察費の捻出に一部の飲食店業者に雜種稅を賦課するのは不穩當である、官公署の豫算は一律に行ふべきものである」と力說して居り重大な社會問題として各方面から注目されてゐる

職業組合休暇

東鐵三十六棚の組立工場の職業組合は本月十八日から八月一日まで全部閉鎖し一齊に休業することになつた、ストライキーではない二週間の暑中休暇のためである、其の期間中に各部の修繕を行ふ筈で電燈廠だけは作業の必要上、更替休暇を與へると

松島事務官
北平に榮轉

朝鮮總督府事務官松島親造氏は既報の如く北平駐在に榮轉し十七日總督府との打合せを了り歸哈、後任古市進氏に事務を引繼ぎ廿二日北平に赴任の由なほ在哈記者有志は氏の惜別宴を民會と共同で十九日午後七時から會費三圓で開催する、會場は公會室である

殺人的暑氣から 俄に氷點下に
北滿の珍らしい天候

殺人的の暑さ――歸氏三十五度を示してゐた北滿は十二日の大暴風雨ですつかり天候が狂ひ同日午後四時頃東鐵東部線穆稜炭礦から密山縣一帶に一百支里に渉りて俄の冷氣あり、桃の種に似た雹が降つたので今まで上りつめてゐた寒暖計の水銀がサツと氷點下に降つた附近の作物は降雹のためにか少からぬ損害を受けた、盛夏に氷點下は北滿でも二十年來にないレコードの尖端である

ルチエンコが列車の下敷となつて車輪で冥途へ

商業登記受理
特別區にて

東省特別區では市政管理局の手を經て各種商業の登記申請を受理せしめ廢業、移轉、開業の場合は必らず該規則に從ひ登記せしめる方針で三聯單の證書を發給することになつた

濱江雜俎

極東に於ける有力なるチーシンセメント會社は東鐵に對し價格表を送付しセメントの購入方を申請した

◇

十六日の東鐵金留對哈洋の換算率は二四二元

◇

十五日東鐵西部線エー木譯附近において第三號列車にて第十二區のコ[illegible]

四平街

あす公園の庭球大會 出場選手決る
午前九時から試合開始

體育協會庭球部主催第一回鐵、開四、公の對抗庭球大會は愈々來る廿日（日曜日）午前九時より公園コートにおいて擧行に決定した、當日は五組づゝの選手を出しリーグ戰となし最高點のチームを優勝組となすもので當日の白熱戰を非常な期待を以て迎へられてゐる、四軍の選手は左の如し

1 藤井 藤原　2 上野 平塚　3 入川 小林　4 鈴木 今井　5 金子 一松　補 田中 杉野

角力大會
今夜益濟寮で

體育協會相撲部は今十九日（土曜日）午後六時より益濟寮裏庭において相撲大會を開催、守備隊、機關區、驛、保線、地方の各方面より選手對抗勝負が行はれる、一般の飛入も大いに歡迎する由

賦課カード
至急に屆出を

當地方事務所は嚮に賦課カードを作製の資料調書を日支人各戶に配布せるが未だ右調書を返送せざる向往々あり當事者は困惑を來してゐる由、至急調書に明確に記入し當地方事務所へ提出されたしと

現金受拂時間
郵便局で變更

四平街郵便局にては來る二十一日より八月三十一日まで爲替貯金其他現金受拂時間を午前八時より正午までに變更された

ポスター展
十七日から開催

內務省社會局並びに各府縣より送附し來れる經濟統計圖表及び緊縮宣傳ポスター四十九枚を十七日より二十日まで四日間滿鐵社員俱樂部廳接室において一般の觀覽に供してゐる

安東

大和校生徒が各所で實習
夏休みを利用して

大和小學校では暑中休暇を利用し昨年高等科生を各方面に委囑し業務の實習を爲さしめたるがその成績極めて良好なりしため本年度も同一計畫のもとに本月二十二日より二十五日間實習せしめる事となつて實習個所並びに配屬兒童數は左の通りである

▲大森鐵工所一名▲無限公司五名▲機關區九名▲國際運輸二名▲電氣會社六名▲瓦斯會社四名▲消費組合三名▲楠美館二名▲圖書館四名▲滿磨商會一名▲製紙會社二名▲日東號一名▲丸三タクシ二名▲夜店十名▲實習販賣二十五名

右の內夜店は毎夜十時迄とし驛前土產販賣所は實習販賣二十五名の手に依つて毎日午前六時より同十時迄午後三時より同十時迄の二回開店する事となつた

豪雨から暴風に
被害は相當激しい

十五日夜半頃から降り出した豪雨は十六日夜明には物凄い暴風雨に變じたが七時頃より小降りとなり終日風は吹き通した、降雨量は七十粍で鴨綠江は平常より二尺二寸の增水、市中各所の大樹及び六尺以上の板塀の倒壞數ケ所に及び看板、門柱、廣告塔の飛散數なく電線も數ケ所切斷された、十五日夜十一時頃から十六日午前二時にかけ十二回停電して全市暗黑と化し電氣會社は總動員を行ひ徹宵修理に努むる等大混亂を呈した、特に沿線の果樹の如き約四百本吹き倒され落花五分に及びしと、尙鐵冠山附近は驛前附近の巨木幹の折れたもの數本あり、附屬地內の街路樹の一部は傾斜し驛構內の揭示板は或は傾き或は折損し剩つさへ同地の特產煙草の如きは約三十パーセントの被害があつた

安義對抗庭球試合

恒例に依る安義對抗庭球試合は來る二十七日午前十時より新義州に於て開催される事になり十五日安東側に挑戰狀が到着した、今年の出場チームは各七組宛で安東側に[illegible]受けてゐる

柔道大會
來廿七日擧行

國體優勝旗並に個人優勝カップ爭奪第二回安東柔道大會は來る二十七日正午から安東公會堂を會場に充て柔道有段者會主催の下に開催される事となつた出場者は有段者無段者合せて百數十名にのぼる見込みであるから劍道大會に劣らぬ大盛況を呈するであらう

鮮人の詐欺

新義州府外光城面雙下洞生れ當時府內老松町二ノ六昌基（三二）は本年二月中雙下洞の張慶英に對し自分の母名義に係る所有地所を相續するから保證を賴むとその關係書類の如く見せかけ捺印させたがその實張慶英の所有の田一千五百五十七坪及九百四十五坪の二筆を擔保に他より金を借るべく企らんだもので其の書類に依つて老松町三李根湜より三百五十圓を借用騙取したのを手始めに六月迄數千圓を騙取したる事が新義州署に探知され數日前逮捕目下嚴重取調を受けて居る騙犯人の共犯者として安東縣江岸通石川忠作も共に引致され取調を[illegible]

檢病的戶口調査

安東附近の傳染病は依然猖獗を極め殊に赤痢の新患續發し當局はこれが防止に大童の態であるが安東は傳染病患者總數において第六番目であるので安東署では約一週間に亘り臨時清潔法を施行すると共に檢病的戶口調査を行ふ事となつた

門間係長榮轉

地方事務所衛生係長門間敬一氏は奉天地方事務所勸業係長に榮轉近く赴任の筈

山本主事廿日赴任

安東地方事務所社會係主事山本敏一氏は今回本溪湖地方事務所庶務係長に榮轉來る二十日頃赴任の筈

於では目下選手選定中である

長春

軟式野球リーグ戰
二十日から一週間

長春スポンヂ協會主催にかゝる本年最初の夏期リーグ戰は愈々廿日から一週間に亘つて行はれるが出場チームは十七ー まで十一組の多數に達し、主將會議は十七日午後七時から滿鐵俱樂部で開かれルールその他の件を決定した

選手十餘名
州外劍道大會

來る八月十七日奉天で開催される事となつた恒例の州外劍道大會には長春から選手十餘名出場に決定いづれも猛練習を開始した

藤原貨物助役
營口に榮轉

長春驛貨物助役藤原龍一氏は今回の異動で營口驛貨物主任に榮轉月末頃正式赴任の豫定であると、氏は長春在任中、長春體育協會のため獻身的盡力をなし氏の轉任は長春體育界として惜まれてゐる

特產振興委員會

長春商工會議所では十七日午後三時からホテルで特產振興策に就いての委員會を開催すると

人事

▲大場警部（長春署警務主任） 旅順へ出張中の處十八日歸任 ▲村川五郎氏（新任長春細菌檢查所長） 十七日十三時十分着任 ▲大岩峯吉氏（長春地方事務所長） 廿一日大連に於ける消費組合理事總會出席のため廿日出發の豫定 ▲瀧谷初五郎氏（新任長春地方事務所社會主事） 十六日着任 ▲久永重男氏（新任鐵嶺地方事務所庶務係長） 事務引繼ぎのため十八日一先づ鐵嶺へ、正式赴任は月末の豫定

瓦房店

緊縮委員會映畫

公私經濟緊縮委員會瓦房店支部は[illegible]來る二十八日午後七時より滿鐵社員俱樂部において映畫會を開催、プログラムは「陛下巡幸帝都復興の帝都」「陛下臨幸帝都復興式典」「秩父宮殿下御渡滿記念寫眞」「朝日出づる國」「覺めよ國民」等である入場無料

開原

滿鐵球場で 庭球大會
けさ九時から

開原青年團にては今二十日午前九時より滿鐵コートにおいて庭球大會を開催し申込人員を四チームに別ちリーグ戰を行ふと團員並びに賛助員の出場を熱望する

青年團辯論會
廿二日公會堂で

開原青年團にては來る廿二日公會堂において辯論會を開催し團員の自由意の演說にて熟練を圖ふと

新作書頒布會

帝國繪畫弘進會の早川梅亭、戶羅直文、小野寺梅丘、國鑑卅、大雅山、大關寓江、高木美石、久野柳莊、山本耕坪、湯原石崖、宮川司山、長谷川溪水の十二畫伯新作品頒布會は前田警察署長、川崎地方事務所長發起にて二十日頃滿鐵俱樂部において開催すると

遠藤氏の寄附

前地方係長遠藤惠治郞氏は離開に際し開原神社へ金十圓を寄附したと

人事

▲子安藤平氏（長春車輛事務所長）は十七日來開し利光驛長同道新任挨拶のため各方面[illegible]

外蒙の現狀 (16)

Y X 生

十五、ボリヤードと烏梁海

(一)ボリヤード共和國

ボリヤードは蒙古民族と同一系統に屬し宗教風俗習慣略同一なるも、數百年前よりロシヤに隷屬せる爲教育の程度蒙古人に比し遙かに優る、而も一定の領土を有せずザバイカル一帶の興哥薩克の間に雜居し或は外蒙乃至烏梁海の領域內(主にホブスグル湖附近及び其の以北一帶)に遊牧し、或は國境を越えて遠く領外呼倫貝爾に及ぶ(此管內にては土地を支給せられ同管內に一族を組織せり)勞農政府の極東における民族政策の最初の一彈は先づ彼等に自治を與へザバイカル一州を其の領土として共和國を組織せしめたり、其政府所在地をウエルフネウジンスクに置き、此地を中心として各地に散居せる彼等同族を糾合して其所住行政區域を定め同時に郡縣を執行したり、左の如し

一、アギンスク、アイマグ(都市アギンスコイ)
二、アラルスキー、同(同クウトリツグ)
三、バルグジンスキー、同(同バルグジン)
四、ホーハンスキー、同(同ウッサ)
五、ウエルフネウジンスキー、同(同ウエルフネウジンスク人口約四萬人)
六、トロイツクサブスク、同(同トロイツクサブスク人口約八千四百人)
七、トンキンスキー、同(同トンカ)
八、エヒリツトブラガッド、同(同ウスチオルダ)
九、ホリンスキー、同(同ホリンスク)

以上九郡を更に六十一ケ村に分ち、其總面積三十五萬四千平方吉米、全人口約四十五萬人と稱せらる、予は其境內を通過し往復共に其首都ウエルフネウジンスクに滯在して政府各機關を訪ひたるが同處にボリヤード人の影を認めず是を同行のボリヤード人に聞くに彼驚じて曰く

共和政府とは表面の名目のみ、國務總理(同地方在住の支那人は國務總理と稱せずして省長と稱す)を始め各機關のボリヤード人總長は實際上政務に參與せしことなく一小事務員に至るまで全部露人を使用せり

と、故に其實權は細大となくロシヤにあり、彼等は既に勞農社會聯邦共和國國內に編入せられ其一附屬國たるに過ぎず、是外蒙政府とは大いに異る所とす

附記 支那の恰克圖領事館は恰克圖にあらずしてウエルフネウジンスクに設置し在り

(二)烏梁海共和國

烏梁海は外蒙西部烏里雅蘇臺及科布多の北方に位し唐努山脈を以て外蒙との境界をなす、北は露領エニセイスク縣に接しサヤン山脈を以て劃界せらる、人口僅に十萬に過ぎず、東部より中央に向ひ北方にはハケム、南方にはベーケムの二河、西部よりはケムチグ河貫流し共にエニセイ河に注ぐ、此沿岸十有餘の砂金鑛あり、亦多量の石綿岩鹽を産す、國內灌漑に便に土地亦豐饒、住民は農牧を兼業し露人以外々部との接觸殆ど無き爲め住民の氣風尚容易に去らず依然として原始生活の狀態にあり、言語も全く外蒙と異り文字は同じきも解するものは甚だ稀なり、宗教は喇嘛教を奉ずるも一部には薩滿教の風習行はる、性情は極めて獰猛なり

露人は數十年前より移住し來り各處に都市建設、道路改修、通信完備等事實上の彼等の植民地たりしかの觀あり、當時既に支那人の入境を禁じ居たるが、民國八年夏支蒙聯合軍侵入して在住露人を撤底的に驅逐したるも、第二次外蒙獨立と同時に運動を起し反つて共同の軍隊を掃討したり、次いで蒙古軍亦此地を撤退するに至り爾來數年殆ど其存在を忘れられたるかの狀態にありしが、突如外蒙と相前後して支那に對し獨立を宣言し漸次其獨立を認めらるゝに至れるも遠く僻地に介在するが故に其影響する所外蒙の如く大ならず、烏梁海共和國の現狀に關し蒙古人は笑て曰く「外蒙と同一視すべからず」と、蓋しボリヤード共和國と同じく單に表面上共和國としての面目を有するにあらざるか

下劣な野次

惠 秀 生

法政對實業の野球の試合を見てゐて一番氣持惡くさせられたのは下劣なる野次の飛んだことだつた。遙々本國から遠征して來た選手達は下劣な野次をあびせ掛けられる時どんな氣持がするだらうか。選手達は恐らく勝負のみの目的でやつて來たのではないのだ。「純眞なスポーツ」への精進のために海を越えて遠征して來たのだ。彼等は唯フエアプレイを望んでゐることだらう。そして又、彼等を迎へる當地の選手達も、心からこの遠來の同志を迎へて共にスポーツへの精進を意圖してゐることだらう。

かうした美しい意圖に依つて交へられるゲームを、下劣な野次は根こそぎ打ち壞してしまふ。熱狂の餘りの野次も人情だらう、然し相手を中傷し惡罵する野次は全く勇向けならぬ。味方の美技は賞讃するが相手の美技は嘲笑し、失策でもあれば言語道斷な罵詈雜言を吐く――大連ならでは見られない圖だ。

或人はそれを素町人根性だと云つた、或人は植民地根性だと許した、實際にかうした野次は滿洲の人氣を如實に表はしてゐるものかも知れない、我子可愛さに他の子供の持てる菓子をも奪ふ愚劣さだ斯うした點に表はれた滿洲の人氣が遠來の選手の腦裡を通ほしてどう母國に影響するだらうか「此處は俺等の天地だ、手前達の來る處ぢやねい」てな感じを與へないと誰が保證出來よう、

今後野球、陸上競技等の種々なチームが遠征して來ることだらうが、遠來の選手を心から迎へてやる態度が一般に要求されるべきだと思ふ。

夏を知らぬ滿洲輕井澤

連山關にて 野 村 生

滿洲の輕井澤と稱されてゐる憧れの連山關を訪れた自分は五、六年前の盛夏に暫時此の地に避暑した時、涼しいこと、空氣の良いこと、水が氷のやうに冷たいこと、鶯や郭公が鳴くことに驚いた、今井大隊長に聞けば兵士の健康狀態は大隊中での最右翼、小學校で聞けば生徒の健康も優良だと云ふことであつた、それなら、なぜ汎く紹介して避暑の爲め利用せぬのかと土地の人に聞いて見たら、或時滿鐵から其筋が來て調査に來たが「そんなことに利用されて呼吸器病の人なんかに澤山來られて困る」と云つた驛長さんがあつてオジヤンになつたのださうだ、自分は早速此の天惠の地を本紙上で紹介したものだつた、翌年は滿鐵が學術的に色々研究して小學兒童の山間聚落地となつてなかなか賑はふやうになつて來たが、まだ一般に山間避暑地として重視されて居らないやうに思はれる

×

連山關は暑さを凌ぐと云ふよりも、暑さを知らずに過ごすと云ふ方かも知れぬ、汽車から降りて驛を出ると街路の兩側に鬱蒼として思ひ切り伸び上つたポプラ並樹が一直線に植ゑられてある、摩天嶺の河の清流に立派な橋が架かつて居る渡れば第四大隊本部がある右折すれば清流に沿ふて柳の老木が町餘に渉つて繁茂して居る、旅館が二軒ある、簡單に泊れる、朝早く起きて見れば朝霧深く連峰を包み可憐な小鳥の囀り、鶯も啼いて居る、朝露を踏んで散歩する時の氣持の良いこと、晝は清流に魚を漁り、或は混蟲、藥草等を採り、夜は虫の鳴き聲や時鳥の絹を裂くやうな聲も聞くことがある、守備隊のラッパの音や、偶には機關銃の爆音も聞くことがある、懷しき母國にでも歸へつたやうな氣持がする、自分は大隊本部に敬意を表する筈であつたが、汽車の時間に迫られたのと、菱刈軍司令官が近日來られるので御多忙だらうと失禮した。

歐洲大戰同望 (15)

兩軍の戰術的清算

K、O、生

四、航空機と潜航艇(三)

飛行機と列んで戰爭の恐怖を三次元の世界に擴めたものに潜航艇がある。

一九一三年英海軍は演習によつて潜航艇の威力を知り恐怖を來した。一九一四年五月大戰直前の獨海軍の演習にもそれは豫想外の威力を示した。さうして同年九月英の三裝甲巡洋艦がオランダ沖を巡邏中U九號の爲に相次で撃沈されたと言ふ事實は、完全にその威力を證明した。僅かに五百噸の一小艇が三萬三千噸とその千五百名の乗員を海底に沈めたといふ事實は凡ての專門家に取りて大いなるセンセイションであつた

一九一五年二月獨は英國封鎖を宣言し、潜航艇戰を開始した當時獨逸には大部分一九〇八年建造のもの二十五隻有りて一時に八隻出動し得るに過ぎなかつたが、僅に二ケ月半に五十一隻の船舶を撃沈した。この潜航艇戰はルシタニアの撃沈に伴ふ米國の强硬なる抗議に會ふて中止されたが、英國にとりては夫れは依然たる恐怖の原因であり、ドッガアバンクの海戰に於て、又チュットランドの海戰において、獨艦隊を逃走せしめた主因は、この潜航艇に對する恐怖に外ならなかつた

陸上で勝利の望みを失つたドイツは一九一七年に入り遂に無制限潜航艇戰を宣言した。それによりて米國の參戰を誘致することを恐れて、獨白相も、墺帝もこれに反對し、獨帝も甚だしく躊躇したが獨の參謀本部は精細なる表示により、七月までに英國を屈服せしめ得る事、米國參戰するとするも其力が戰線に加はるまでには長時日を要する事を主張し、その承認を强要したのである

當時獨には百十一隻(その最頂點に於ても百四十隻)の潜航艇あり、一時にその半數出動し得るのみ、而して英國の情報機關はそれの何號が何日の何時、いづれの方面に出動するかをすら偵知し得たにも拘はらず、その跳梁を如何ともする事が出來なかつた。公表されたる犠牲は實際の三分の一內外に過ぎなかつたが、實は毎月百萬噸內外の船舶が撃沈され、撃沈されないものも極度に行動を妨害され、事實英國は飢餓に瀕した。米のシムス提督が倫敦から「聯合軍は今は已に海上を司配せず」と打電したのは四月である。たゞ一人ロイド・ジョージが理由無くして樂觀說を唱ふる外、英國の最高幹部は一時悉く前途の望を失つたと傳へられる。

併し[illegible]大洋の全部を封鎖するには獨の[illegible]あまりに少なく、而して[illegible]種の對抗方法は日に改善されて行つた、それの通路に水雷を布設し、網を張り、ボートと呼ばれた囮船を使用し、商船にも武裝せしめ、又カモフラージュを施して船の性質と前後と距離とを潜望鏡に對し混亂せしむる等の手段がその例である、だが結局最も有力なる兵器は驅逐艦であつた、水中の位置探知機や、一定の水深で爆發し七十五碼の直徑で有効なる爆彈等の新發明を備へた驅逐艦が、日米諸國からもの參加によつて次第に其數を增し、商船は隊伍を組みてこれら驅逐艦の警備の下に行動するに及んで、流石の潜航艇も次第にその活動を壓迫されて行つた、驅逐艦に對する唯一の武器は魚形水雷であつて、その製出も搭載も甚だ制限さるゝことを免れないからである。

且又、英國を餓死せしめるといふ標榜の下に行動を起した獨司令部は、あまりにこの標榜に執着し需品と兵員とを等値に見て、危險の多い警備附きの兵員輸送船に對する襲撃を避けた事で、一の過誤を犯した、需品の撃沈された事は隱蔽出來るが、兵員の撃沈は當然大なる心理的打撃と動搖とを敵國に起させ得ると言ふ事までは考へつかなかつたゝめに、千仞の功を遂に一簣に缺いたのであつた(此項終)

探偵小說 女妖 (145)

江戸川亂步作 横溝正史 伊藤幾久造畫

黒い棘(九)

花子が氣絶したのを見すますと由良子はニッタリと氣味惡い微笑を洩らした。胸に手をあてゝみると、心臓はまだ正確に鼓動を打つてゐる。然し、その顔には全く血の氣がなく、唇は恐怖の爲に激しく引釣つてゐた。而もその端からは、桃色の血汐が二筋三筋、首筋の方へ流れ出してゐるのだつた。

「可哀さうに氣絶して了つた。然し、この方が結局幸福かも知れないわ」

由良子はぶつぶつと獨り語を言ひながら、ウンと力を入れて花子を抱き起すと、それを引摺つて、帳の背後にある寢臺の側まで持つて行つた。そしてそれをがつくりと寢臺の下へ投げ出すと、彼女もその側に跪づいて人形の顔に接吻した。

と又もや寢臺の前へよつて、靜かに人形を抱き起した。

「さア、お母さま、今こそあなたの長い間の怨みを晴らしてあげます。あなたに情なかつた人々に對する復讐を、この由良子が代りになつてしてあげます。その眼を開いてよく見てゐて下さいまし」

由良子はまるで生きてゐる者に口をきくやうに、それから暫く何か搔き口說いてゐたが、やがてその人形をそつと寢臺の側に立たせた。

さうしておいて彼女は又、氣絶してゐる花子の側へよると、その身體を抱き上げて寢臺の上にねかせた。そして、萬一花子が正氣にかへつた時の用意であらう。荒繩をもつて彼女の身體を幾重にも幾重にも寢臺の上へ縛りつけて了つた。

今や彼女の樣子は全く狂女の他のものではなかつた。さつきの格鬪で、解けて亂れた髪の毛は、バラバラと肩の上に垂れかゝり、その美しい顔色は、今や全く紫色に變つてゐる。彼女はそれを鐵のやうに硬張らせて、人形から目を離すと、やがてつと立ち上つて祭壇の前へ行つた。そして胸に十字を切ると、祭壇に備へつけてある香爐のやうなものへ一つかみ白い粉を投入れる。とパッとほの白い焰が立つて、得ならぬ臭氣が部屋の中に立罩めた。

その樣子は、まるで昔の物語にある妖婆そのまゝだつた。彼女はこの度の復讐を固く胸に誓ふと同時に、いつの間にやらこの空屋敷に、奇怪極まる裝置を用意して置いたと見える。常日頃冷靜なゝまし過ぎる程つゝましい女だけに、一旦決心したとなると、それは恐ろしい程熱狂的だつた。そしてこの場面に一層の威厳と神秘を加へる爲に、兼て讀んだ事のある昔の恐ろしい拷問の場合を此處へ持つて來ておいたのだ。

ほの白い焰に、紫色の顔を一層物凄くくまどられながら、彼女は暫く一心に何か怪しげな呪文を唱へてゐた。が、やがてそれがすむと

「さアかうしておけば、お前さんはもう全くあたしの自由さ、泣かうがわめかうが、もうどうしやうもないのだよ」

由良子は毒々しく呟きながら、人形の胸にさゝつてゐる短刀をさつと拔き放つた。

あゝ、花子が今氣を失つてゐるのは、彼女にとつて全く幸福と言はねばなるまい。もし彼女が正氣でゐてこの恐ろしい光景を意識したら、彼女はきつと氣違ひになるか、それともこれだけでも悶死したかも知れないのだ。

やがて由良子は手にした短刀をさつと振上げた。それが下された刹那、花子は最早この世の人ではなくなるのだ。

危い！

實に危い一刹那……由良子はさつとその短刀を振つた……。

家庭

深刻味を加へてゆく 學校出の就職難

全國中學校長會議は寧ろ平凡だった

大連第一中學校　西内精四郎氏談

六月東京に於て開催された全國中學校長會議に出席して過般歸連した西内大連第一中學校長を訪ねてお土産話を訊く

今度東京で 開催された全國中學校長會には約五百六十名に達する多數の出席者がありました、協議事項の主なるものは公民教育の實施方法及學生の思想問題に關する文部省の諮問案についての協議でした。何しろ多年の懸案である中學校改善案といふ根本的な大きな問題が文政審議會で未だに解決されてゐない狀態ですから協議そのものにも油の乘らない感がありました、學生の思想問題も今更

事新らしい 問題ではなく其の對策を協議して見たところで容易に解決されるものではありません、中學校の改善案も長い間行惱みの狀態にありますが之は先づしつかりした學制系統案が出來ないことには全く手がつけられませんね、內地の就職難は實に深刻を極めて居ます、上級學校の卒業者でともかく職にありつける者は僅か一割にも滿たぬ數ですが、學校出の肩書きはもう就職戰線に立つて何等役立たないものになつてしまひました、

社會の傾向 がこうなつて來ると若し教育を從來のやうに投資事業的見方をするならばそれはまことに危險率の多い投機事業でしかあり得ないわけです、此の頃のやうに學校を出た者が容易に職にありつけないといふ事實に對し世人は教育に對する是までの考へ方によほど大きな改正を加へなければならないでせう、滿洲育ちの青年の中にも學校を出た[illegible]て遊んでゐるものが年々增加の傾向にありますが、滿洲に於ける就職難も年と共に深刻を加へてゆくでせう、私は

先日海水浴 に行つて感じたことですが、海岸に遊んでゐる夥だしい子供の群を目擊して滿洲の將來における就職戰線の多難なることを思つて暗然たらざるを得ませんでした、年々非常な勢ひで激增してゆく滿洲の就學兒童がどし〳〵實社會に排出されてゆくとき就職難は將來どう變化してゆくでせう、これは爲政者を始めとして我々教育者の愼重に考慮しなければならないことだと思ひます

キャンプの仕方 キャンプと健康 (2)

大連少年團主事　阿左見福馬

冷えは病氣の因

キャムプが流行すると、大人諸彼の區別なく、女も男も、子供も呑ん氣な遊山氣分で出かける。その結果はお定まりの飲み過ぎ、食ひ過ぎ、遊び過ぎ「キャムプをすると病氣に罹るからよくない」と云ふ樣な小言を食ふ。知らぬ親達は因つて成る源を知らないで「そうだ」と早呑込をして了ふから、眞の同志は甚だ迷惑する事が多い

原因 としては勿論食べ過ぎが第一だが、之に劣らぬものは冷える事である。下敷の不完全から來る冷の引込は實に危險千萬だ。滿洲の土地は乾燥してゐる位にあつさり考へて粘土の草原や、林の中でも莫蓙一枚位で寢轉ぶ者がある。之はどうしても防水敷布(グランドシーツ)を用ひたい(片面ゴム引のもので一枚二圓內外である)此のゴム引になつてゐる方を地面につけ其の上に叺か或は俵を切開いたものを敷き尚毛布二枚位を敷く。こうしてをけば

親 達に心配をかける事は決してない。强ひて折疊椅子を購入する迄もない、尙腹卷を用意するか、毛布を安全ピン(大形)で止め合せた袋形(スリーピングバック)を準備すれば一層理想的である。又上着として二人宛位毛布を共用する事は禁物である。それよりジヤケツのごろ寢がまだよい

寢具はよく乾かせ

先 づ冷る心配はないとして、往々不性者が萬年床をきめ込むのもサツパリの事である。キャムプ中は陽を拜んだら毛布、下敷叺の類は外に持出し毛布はロツプを張つて之に掛け、敷布、叺の類は組合せて(地面に投り出したのでは片面が乾いても片面濕る)立てるのである。又天幕のタレも捲つて通風をよくし地面を乾かしてをく。こんな小さな事もしないで魚釣に行つて來てフライでもこしらへビール何打かを倒す樣な豪をやると腹の方から故障を申出すのも無理はない

童話 お城の樹 (三)

桐野陣太郎

市長さんは每日市長室の窓から「御城の樹」の日每に元氣なくなつて行くのを見て心配してゐました。そして遂に都から偉い植物の博士を呼んで見て貰ふ事にしました。

博士の來る日市長さんは、燕尾服を着、山高帽を被つて停車場まで迎ひに出て早速「御城の樹」の下まで案內して來ました。

博士は木の幹をたゝいたり、見上げたりしては腕を組んでぢつと考へてゐました。その時です。市長さんは何か襟首に落ちた樣な氣がしたので、右手をそつと、そこに持つて行きました。襟首には果して何かむづ〳〵するものがあつたので指でつまみました。

「あッ!」市長さんは低く叫んで狼狽出しました。山高帽の落ちたのもかまわず、襟首を平の手ではたく〳〵たきゝながらはしり廻つてゐました。

「ナ、ナンです」博士は何事が起つたのかと、びつくりして振りむきました。

市長さんは青い顏をしながら、

「ケムシです。ワタシは、毛虫と蛇は生れつき大嫌ひなんです」

「いや分つた。分つた。なに分りました」博士は市長さんがどぎまぎしてゐるのに手をたゝいて叫びました。

「ナ、ナンです」今度は市長さんがびつくりしました。

「それがこの木の枯れかけた原因なんですよ。あれあのサイレンが原因です。サイレンを取らないとこの木は枯れてしまひますよ」

「それはどうしてです」市長さんはせきこんで尋ねました。

僕の奥さん?

次郎

……5……

紳士は同じことをそれから三度繰返した後、悄然と伏目に睡つてしまつた。列車が金州を過ぎた頃にはトン吉もうと〳〵と睡つてゐた。

「もし、もし、……」

輕くゆり起す聲に目を開けて見るとトン吉の前に目の覺めるやうな美しい婦人が立つてゐた。婦人はトン吉の顏と傍のトランクとを見比べてゐる。その時まだ例の紳士は睡つてゐた。

「失禮ですがあなたは僕の奥さんではありませんか?」

トン吉は紳士の口上を眞似て見た。

「ハイ、左樣でございます」

婦人の返事は實に意外だつた。

童謠 雨の滴

春木和夫

雨の街中
でんせんを
雨の滴が
走つてく

誰にたのまれ
この雨に
誰を訪ふ
こゝろやら

ころりころ〳〵
ならんで走る
涙のやうな
水の玉

獨逸語講座

七月十九日夜放送

講師　大連語學校講師　荻榮

(第三回)

zZ　cC　sS　xX

zu　Junge　zart　Tanz　Zorn　Cicero　Cato

Sand　Sund　las　Silbe　Max　Axt　Examen

a, o, u, au 及子音ノ前ノ　c = k

其他ノ母音ノ前ノ　c = ts,

(現今ニ於テハ固有名詞ハ c = k, 普通名詞其他ノ場合ハ c = z ヲ用フ)

Zentrum (Centrum), Komet (Comet).

hH　jJ　qQ　yY

haben　holen　Hut　Hund　Jagd　jene　ja

guer　bequem　Qual　Ysop　Lyrik　loyal

ä (ae), ö (oe), ü (ue)

Ä (Ae), Ö (Oe), Ü (Ue)

Äste　Jäger　Bär　Öl　Öfen　hören　über

müde Jüngling.

趣味の令孃を訪ねて ……十……

在學時代はスポーツマン

今はピアノ、裁縫などのお稽古にいそがしい　盛京子さん

▽▽大連△△醫院眼科醫長盛新之助氏の愛孃、京子さんを訪ねる山城町三番地の御宅に行けば丁度お母さんはお出かけの間際であつた。

「[illegible]の子はたゞ趣味でやつてるだけでしてお話致します程も出來ません」と謙遜されるのを無理にお目にかゝる。

間も無くお茶を持つて出て來られた京子さんは丸顏の快活なお孃さんである。本年春神明高女五年を卒へてピアノ、裁縫、お華の稽古等に忙しい日を送つてゐられるが當年十九歲とは見られぬ程子供々々した無邪氣さだ。

▽▽學校△△ ピアノは女學校に入つてから習ひ始めたのでございますが卒業後は一週に一度園山先生にお習ひして居ますけど一向上達致しません」と京子さんはなか〳〵はき〳〵してゐる。傍らからお母さんが

「何分兄弟が六人も小さいのばかりございましておちついてピアノのお稽古も出來ない樣でございますが綺麗なんかやらしておきましたら一日でもやつて居ます」と助太刀である。

京子さんは一寸見ても明るい氣分のスポーツガールといふ感じだが

▽▽在學△△ 時代から運動は大好きでバレー、ピンポン、ランニング何でもござれだ。御本人も「野球は何だか餘り好みませんが競技會ならよく觀に參ります」とおつしやる。

「學校を出てから運動が出來なくて淋しくありませんか」と聞けば「家で弟や妹とピンポンを致しますし、時には弟とキャッチボールなど致しますから身體には何ともございません」となか〳〵元氣だ

▽▽然し△△ 溢れる誇りの健康美のなかにも何處となくおちついた奥床しさが見えるのは、矢張り六人の頭のお姉さんの重みだらう

(寫眞盛京子さん)

廿五年前の松公園　現在の松林小學校の場所、西檢番も此處に在つた

其頃の事ども（2）

『満日紙創刊廿五周年に際し

知坊生

（五）宏濟彩票の話

面白かつたのは宏濟彩票だ、公共慈善に關する事業費補給の目的で大連公議會の手に發行されたものだ、第一回の開票は明治三十八年十二月十五日、若狹町と近江町との間の能登町筋に久しく殘つて居た利源茶園といふのが其開票場であつた、その頃附近には殆んど人家なく、越後町から逢坂町まで見通しの野原だつたが、軍隊撤退後吹きそめた不景氣風に襲はれた時とて、空元氣の一攫千金熱が多い、開票日の群衆は身動きもならぬ程の賑はしさ、頭彩五千圓、二彩二千圓、三彩一千圓、それがアワよくば一圓で得られるのだ、第一回の好運兒は當原事務所の林君、日支人間に少からぬ羨望の波を漂はしたが、その後は湯屋の三助に當つたり、或は全財産を投げ出してヤッと一枚手に入れた苦力に當つたり、さる商店では二回引續いて頭彩と二彩とにブッ附かり、之が爲めメキメキ店務を擴張したとの噂が立たりした、噂が擴がるほど人氣は昂まる、殊にそれが日本官憲の嚴重な監督下に實施されるので、支那人間の信用は益々濃厚になつた、當時湖南彩票など取寄せて賣出した者もあつたが、到底大連彩票の人氣に抗すべくもない、其後發行數を二倍にふやし、頭彩額も一萬圓に値上げされたが、分布範圍は廣く沿線各地に亘り、更に日本へ取次販賣して識實を喰ふ者さへ出來た、到頭彩票そのものにもプレミヤムが附いて、一圓の定價の者が一圓二十錢、乃至一圓五十錢にも賣れる、斯うなると立派な投資物件だ、自然買占めが始まる、仲買の數も殖える、それに絡まる悲喜劇も中々少なくない

（六）花柳界の景氣

話は少し前に戻るが、日露戰爭時代のブームは非常に短かつた、中心は重に營口と大連とにあつたが、その代表的バロメエタアは矢張り花柳界の狂轉振りであらう、例を擧げると三十九年四月の遼東新報に、その前年の思ひ出話しが掲載されて居る、當時の大連には十五六人の藝酌婦が居て、その總てが密航者であつたそうだ、料理屋といつた處で多くは粗造の支那家屋、甚だしいのになるとアンペラ葺きの板小屋だ、「雪はしんしん降りしきる、障子明くれば銀世界」なんて、大抵はラッパ節の一本調子だつたが、歌の文句の障子さへないお座敷での酒盛である、お客の大部は軍隊附の御用商人、燭臺代りに空つぽの酒樽を据へ、煙草の吸ひ口に十圓紙幣を卷附けて、スパリスパリと大盡を氣取つたなど、今からは想像出來ぬほどの珍光景であつた、私が三十九年一月汽車旅行した際にも、大石橋附近で停車すると守備の一兵卒が覗き込んで「日本の女は乘つて居らぬか、居れば一目見せて呉れッ」と大聲に叫ぶ、乘客一同思はず苦笑したが、私は心竊に戰爭の慘禍と、出征者の勞苦とを察せざるを得なかつた、又恰度その頃の事である、大連の北海組にさる從業員の妻君が到着したが、それが最初の女房とあつて、毎日店先に見物の山を築いたそうだ、埒もない罪もない逸話である

（七）素晴しい發展

尤も戰爭は人道上の悲慘事であるが、其處に一面平時には見ることの出來ない急激な進歩も芽生える、平和克復と同時にボロイ儲けはなくなつたが、戰後の新開氣分は各方面に横溢し、殊に人口の急増に伴なふ家屋の建築熱は驚く許り、一月經たぬ中に彼處にも此處にも町並は出來あがる、それも二三の大通りを除けば大部分當時の場末で、日本人町を中心に大山通、伊勢町が早く開けたが、支那商人の集合地點は奧町、東郷町、羽前町など、それ等を串貫して浪速町が立揃ひ更に信濃町の建設も急速であつた、面白いのは繁榮の先を唱ふた者が概ね料理店と下級勞働者であつたことで、奧町、羽前町、常盤町、扨は今の松林町である松公園など何れも絃歌の響かぬ所なく、更にそれが吉野町、磐城町、美濃町、西通といつた方面に擴大した、之は娛樂機關が金を誘ふのか、金がさうした機關を引附けるのか、兎に角新開地に共通した興味ある現象である、

（八）商人のボロ儲

景氣不景氣は時代の大勢ではあるが、人と場所とに依つてその見方は一樣でない、明治三十九年以後の數年間は、戰時仕入れたストックが澤山殘つて居て、品質は悪くなる、賣値は下がる、軍隊仕込の素人商店など、滿洲はモウ駄目だと青息吐息であつたが、そうした人々は二割以上儲からぬ商品は儲けでないと心得て居たのである、それは三十九年の春、神戸のさる麥粉輸入商店から店員が派遣されたが、この派遣員の第一印象が面白い、それは麥粉でも砂糖でも、日本に比べるとベラ棒な儲けである、

「戰時中大連の某商店に毎月麥粉二三百袋宛送つて居たが、それと砂糖とで店の費用が取れるやうな通信を屢々聞かされた、元來麥粉は大量に取引される者で、利益といつても一袋一錢か二錢位が關の山だ、それで店の經費が儲かるのは不思議に堪へなかつたが、今度來て見て始めて判つた」

とのこと、聞けばその時分ですら麥粉一袋に五十錢、砂糖一袋に一圓の利益はあつたが、戰時中は麥粉一袋に二圓以上儲かつたのだそうである、翻つて辯い在住商人がもう駄目だと考へた時にも、新渡來者には結構な滿洲であつたのだ

詩

ゆかり

月光の波間に浮かび上る巨大な—
鯨—の、そののろくながい！姿
體をまのあたりみるやうに！
いま私の「瞑想」のたゆたう水平
線上に
いまひとりの私自らの背後に在る
より尨大な「私」の生體が
半を水に浸しながらでも現はれて
來た
おゝどんなにか私は私自ちの姿體
が知り度かつたことであらう
闇！渦卷く濃ひ闇の息づまるその
さなかに
自らの顔貌も姿體もゆくさき—さ
へも知り得なくて漂ひかゝる魂ぎ
る苦悶に只手をにじり合はす—
と云ふのは！
私の上にも—暗くながく埋れて
ゐる！
希望の！
透きとほるこゝろ吸はるゝその蒼
い空—を想はする曉の明け方のあ
かるいどよめき—が！迫り寄らう
と云ふのかしら

◇

御前は何處へゆくのか！
それは私が私自らに質さねばなら
ない
問ひなのです、でも
やつぱり！
私は赴かなければならない
どつしどつしと内部から地響き立
てゝ追ひ追つてくる巨人—見上ぐ
る！の
容赦ない
跫音！がちゆうちよする
私を踏み出させずに置かないので
す
私が何處から來たのかを知らない
やうに何處へ、何しに？
只いちめんに立てこめてゐる濃霧
の野です
佇んで心耳を澄まして瞑目してゐ
る
御靜寂かな靜寂かな、私のこゝろ
御聽きなさい、そら、幽かに
かすかに—
いまし霧を超えて響いてくる靜寂
な
靜寂なる
聽音のなかの（古都にも似し）
規則正しき心音へ—こそ
悦びの！
醒めたる心魂が澄ませられてゆく
のです

新刊批評—ム—

◆旅の茶話（荻原井泉水著）「旅は先づ旅の計畫をし、想像をし、支度をする事が好い氣持である、もちろん、旅をしつゝある時は更に好い、而して、旅を終へてから其旅を追想し、筆錄し、或は談話するのは更に嬉しい……私は是を旅の三得といふ、即ち旅を思ふ、旅をする、旅を語る——である……而して是を聞く方に、旅を思つて貰ひたいのである」以上は現代俳壇の雄彼井泉水が本著の「はしがき」で述べてゐる言葉である、本著で「旅する心（九篇）」「其日其日（七篇）」「茶話風に（五篇）」の三部に分ち日本の山、河、海、湖或ひは古城、寺院等を俳味豐かな得意の隨筆で行脚してゐる、花袋、桂月今や亡く、それだけ餘計に本著に限りない執着が持てる（三百四十八頁、定價一圓三十錢東京芝二本榎西二創元社發行）

◆革命草案（ウエルズ原著 加藤朝鳥譯）ウエルズの生活の中心的理想、世界觀の展望を暴語つたものが本著である、彼は序文で「私の中心的理想を追及し、探險し……或は花を咲かせたものでありまして……私の中心理想を裸にしてその基礎石だけを直截に語つて見やうと試みたもの……」と言つてゐる、宗教問題、世界國建設、公反主義公然反逆を論じ現代の勢力ある各近代式國家の權力及びその抗爭力を說き、結局に於いて世界國家を高唱してゐる例によつてマルキストとは全然異にした立場から大理想論を吐いてゐる譯者朝鳥は最後に「ウエルズは知識階級の最高の支持者であり、本著はまた眞實な意味での思想善導書であり、現代の宗教家に贈りたいと激賞してゐる（四六版二百四十七頁定價一圓東京神田今川小路アルス發行）

◆貨幣錯覺（フィッシャー著山本米治譯）原著者が言はんとする貨幣錯覺とは何か、貨幣は經濟價値の尺度であると同時にそれ自身の價値にも變動がある、貨幣の價値と一般物價とは畢竟同一事相を異りたる方面から見たに過ぎぬが一般大衆は個々の物價の變動を痛切に體驗するだけで、其の變動の原因が主として貨幣の側にある場合に於ても仲々それに氣付かない、その自覺が明かでない爲に資產の處理、事業經營、又は財政經濟上の政策等が往々見當違ひとなる、是が即ち原著者の謂ふ手の貨幣錯覺なのである、原著者フイシャーはエール大學教授にしてその名著「貨幣の購買力」「弗價安定策」等で夙に世界に名を知られた經濟學界の權威者である、貨幣價値の不安定が如何なる原因から釀され、如何なる弊害を生ずるか、世人はしばしばその結果を別個な原因によるものと誤解してゐる、その救濟策は果して何か？著者は本著で讀者の前にこの問題を提供してゐる、譯者は日銀に勤める人、譯文亦正確近來の好著、序文は深井日銀副總裁（四六版二百四十九頁定價一圓五十錢東京丸ノ内昭和ビル日本評論社發行）

貔子窩沿岸一帶は貝類の漁場として有望
干潟の實地踏査で發見さる
姉帶技師の視察談

關東廳姉帶技師は今般貔子窩沿岸一帶に於ける干潟を實地踏査し左記視察談の如く州內貝漁業の發展上一大收穫を得て十七日歸任した

貔子窩沿岸の干潟調査は嘗て鹽業關係の方で鹽田利用の見地から調査されたことは聞いてゐたが、未だ漁業上調査された例はないといふことだつたので今度出かけてみたのでしたが、その結果は實は大變意外な發見をしました、觀察したのは東部州境となつてゐる碧流河口から貔子窩、登沙河に至る一帶の沿岸干潟地を大體見たのですが、同地附近は總じて養貝に適する所が頗る多く一面碧流河口沖にはマテ貝、蛤が實に廣大なる面積に亙つて生育してゐる、河口干潟には潮吹貝に似た米粒大の稚貝が一尺平方に約三百七十個の程度で無數に發生してゐるのを見受けたが更にこれは大沙河口に至れば一層多量となりその沖合には又長さ一寸五分から二寸大の潮吹貝が一尺平方に三十五、六個の割合でこれ又無數に生育してゐたが、最後に登沙河海岸の干潟はこれは內地の海邊に酷似してアサリ、蛤等の稚貝が多數棲みその又沖の遠淺にはマテ蛤、瑪何貝等の貝類が細砂の中に隨分多數生育してゐることが容易に想像出來た、ところで從來同地の貝類漁業は長く顧みられず天然の儘にほつてあつたので繁殖も少く稚貝の儘で死滅してゐるものも隨分多いといふ譯で今後採取の方法や適當の養殖法を講じたら將來貝類漁場として相當大なる收獲があるであらうと云々

外科治療はメスから電氣へ
外科の研究をして
深瀨周一博士歸る

【ハルビン特電十七日發】十六日の歐亞連絡列車で東大青山外科の深瀨周一博士が通過歸東したが氏は語る

私はウインで外科方面の研究をして來ましたが、ドイツは歐洲大戰後僅かに斯界の發達を來したのみで矢張ウインはその淵源地である、外科の

電氣療法　とレントーゲンラジウムの治療法は日本でも研究はしてゐるが學ぶ點は多く、特に電氣外科療法としてはホーイネック博士の獨特な研究と實驗は世界的に有名で博士は古稀に近く來年頃は定年で退職されるらしい、今日まで外科にはメスを使用して來たが、電氣による時は出血を少くし貧血者には最も好適の療法であることは內外に喧傳され日本にはその醫療器が二臺移送された筈で今頃は到着してゐると思ふ、日本でも電氣を應用しイボを治療したことはあるが、ドイツの如く發達してゐない、更に角切開に出血を少くして切開の部分を燒き療法のできることは生命の

危險率を　少くする上に効果がある事は勿論である、次はラジウムの癌治療であるが、日本にはラジウムが少ないので歐洲各國の如く刀圭界の癌とされてゐる該病を充分施術することのできぬは甚だ遺憾である、オーストリヤの如き國ですらロツクフエラー財團によりラジウムの癌治療を行つてゐるが、成績は良好である、レントーゲンにしてもよく發達し日本とは別に大差ないやうだが、仔細に研究するなれば醫療の社會化の如きその他先進國だけに學ぶ點は非常に多い、これらの外科は

不治の癌　を治癒するためラジウムの必要あり、切開（患者の種類にもよるが）は電氣、レントーゲンの世界である

北寧線の水害
線路上に浸水

【奉天特電十八日發】北寧鐵道の水害は饒陽河附近最も甚大で線路上は浸水四呎半に及び今明日中に減水して開通するか疑問である、目下奉天新民間は運轉してゐる、十九日葫蘆島から歸奉の豫定であつた張學良氏も兩三日出發を延期するかも知れないと、また白旗堡附近は兩三日前來の水害で不通であつたが連日の降雨で線路上三尺の出水を見るに至つた、昨夜來降雨止み本日は曇天であるが本日中降雨なければ減水し明日邊りは開通するものと見られてゐる

榮町一帶に排水溝
毎年の水害で

市內小崗子滿鐵用地榮町一帶の低地は毎年雨期毎に附近の譚家屯小崗子一帶の下水管を溢れた雨が東關角陸橋下より流出して同地域內に充滿したために同地では例年日支人家屋二、五百戶の浸水騷ぎを生じその後は又傳染病の發生を恐れて臨時清潔を施行する等非常なる被害を蒙つてゐるが右は同地一帶が低地の上に何等の防水排水の設備がないためであるといふので所轄小崗子署では最近滿鐵に對し右水害防止のため至急排水溝を施設するやう要望する所があつた

一食十錢を呼物に玄米宣傳
東京市內各區に食堂を設け
大童の傳研二木博士

【東京特電十八日發】鑿營研究所佐伯博士の七分搗米、帝大醫學部島薗博士の胚芽米に對抗して玄米食の主導者である傳研の二木謙三博士は講演やパンフレツト位では手溫しとし去る四月二十九日明治神宮表參道島津研究所一階に玄米普及食堂並に講習所を開設して試驗的に全國白米廢止玄米常用の具體的運動の第一步として街頭進出を試みたところ神宮參拜者や附近の學生、サラリーマン、勞働者から非常な歡迎を受け最近では淺草本鄕、神田の各區が玄米食堂設置方を希望するなど成績極めて良好なるため博士も東京市內各區に漸次一ケ所宛玄米食堂を設け白米退治の猛運動を起すこととなつた、一方上流階級への宣傳機關として赤坂區內にある某華族所有の大邸宅を開放して九月早々から金持階級にも玄米食の御利益を知らしむべく準備を進めてゐる、玄米食堂は一食お菜付で僅か十錢、焚き方の說明もすれば實際も見せる、玄米焚方の修得希望者には實習材料まで用意して指導するほか五十人以上の團體には市內外を問はず無料出張で講演するといふ親切振りで二木博士は全國玄米家運動に大童である

右につき博士は無病健康長壽を望む人は玄米野菜食を實行されたい、白米食は德川中世以後の惡習慣で有害無益である、私は玄米食に勝る食物はないと思ふ否さう信じてゐる國民は自覺して白米食を廢して戴きたい今後財政の許す限り玄米食堂を設け實地にその效能を知らしめる念願ですと語つた

支那人を手先に空巢を狙ふ
金品千五百圓を盜み
奉天に高飛びして捕はる

去る十三日午後七時三十分ごろ二人の强盜が市內佐渡町一番地大連民政署技師小島文爾方の留守中を窺ひ裏窓の網戶を破つて屋內に侵入、家中をかき廻して現金百圓と衣類四十四點（時價千六百圓）を窃取逃走した事件あり所轄大連署で犯人嚴探中贓品の一部を市內三河町カフエー十八番の女給君子に託し入質方を依賴したことから足がつき犯人は元總督府巡査で竊盜前科二犯森田悳太（三〇）と朝鮮生れ市內吉野町氷行商前科五犯崔萬河（三〇）の兩名であることを突止め搜査に努めた結果共犯崔は十六日午後四時自宅に舞ひ戻つたところを張込み中の庄司刑事が逮捕し、主犯森田は奉天へ逃走中を手配により十七日午後二時奉天署の手で取押へた

森田は犯行後巧みに鮮人崔をまいて逃走し崔は犯行を手傳はされたのみで贓品の分前は受けて居らず「盜みにかけて人後に落ちぬが今度ばかりは一杯食はされた」と取調の係官に苦笑してゐた、なほ吉岡大連署刑事は十七日犯人引取りのため奉天へ向つたが森田は劍道三段の强か者で本年四月旅順刑務所を出所したものである

腕の喜三郎

男の中の男一疋、血も淚もある俠客の大讀物をはじめ、面白い面白い讀物滿載、講談倶樂部八月號は正に銷夏絕好の快讀物

昨年の優勝校青島中學軍來る
今年も是非と希望に燃えて

全日本野球ファンの血をわかす全國中等學校野球大會滿洲豫選のトツプを切つて昨年の優勝校青島中學校ナインが十八日入港の大連丸で乘込んだ、一行は島川敎諭に引率され元氣潑剌としてゐるが、他校のメンバーが解らぬので心配顏の記者を取卷いて「大連商業は今年は强いさうですね」と聞く選ばれたもの十六名、このうち五名は新顏

監督の島川敎諭は語る

實は今年も是非と云ふ意氣込みで來たのです、昨年は幸ひ優勝出來たのに甲子園に出掛けて期待通り働けなかつた事は殘念に思つてゐます、まあ宿について上落ついて練習も萬全を期する考です

一行は上陸後直ちに吾妻旅館に向つた

內地行の小包增加
中元贈答品で

七月上半月間に大連郵便局で取扱つた內地行小包は總數五千六百三十四個で前月同期に比し千八十八個の增加を示したこれは中元贈答品發送の爲めと見られて居るが、通關檢査の結果二百十八個課稅された

本年度の就職率
大學が一割弱

【東京十七日發電通】中央職業紹介事務局では資本金一千萬圓以上の會社銀行三百二十五社につき本年度學校卒業生の就職狀況を調査中の處此の程其の結果を發表した夫に依ると三百二十五ケ所中本年新規採用をしたのは百六十ケ所に過ぎず此の採用人員總數は三千三百五十二人、專門學校以上七百五十一人、中等學校以上一千七百六十九人にして入社希望者數に對する就職率は大學卒業九、三パーセント專門學校一四、三パーセント、中等學校二四、三パーセントである

渾河增水し洪水憂慮
兩岸は泥海

【奉天特電十八日發】連日の豪雨の爲め渾河は大增水し濁流滔々として物凄い狀態を呈してゐるが、堤防を決潰するまでには至らない、しかし兩岸の田野は一面の泥海と化し收穫の望みなく被害甚大である、此の降雨が尙數日續けば下流の遼中、臺安各地方は大洪水に襲はれる虞があると憂慮されてゐる

農事會社の水害調査
案外尠い

過日の大豪雨に依る農場被害に關し大連農事株式會社では其の被害調査の爲め十六日千葉常務を貔子窩方面へ派遣し調査中であるが、暴風雨に依る損害は金州小蓮泡及其他にて耕地整理工事施行中のものは數ケ所の堤防破損したが被害は輕微で農作物は約一割乃至二割方減收の見込であるが、尙詳細調査中である

不具者の自殺

沙河口會內西沙河口新民屯居住の楊昭平（五九）は十七日午前七時ごろ自宅において阿片を多量に嚥下し苦悶中を同人妻が發見し直ちに小崗子博愛病院に收容したが遂に絕命した原因は幼少より不具者であつて生活難を悲觀してであると

次回連載小說は仲木貞一氏作『海の唄』
挿畫は春陽會の一木淳氏

本紙朝刊連載、日活現代劇脚本から脚本座同人が構成した「此の母を見よ」は滿洲に於ける新聞小說界に一エポツクを劃した尖端的創作として愛讀者の稱讚裡に近日完結を告げる事となつたが、次回小說は本邦小說界の中堅作家として將又劇作家として文壇に重きを爲し現に日本大學講師、文部省囑託、東京中央放送局文藝部長として令名ある仲木貞一氏原作小說「海の唄」を連載する、挿畫は春陽會の花形として本年無鑑查會員に推薦された一木淳氏の筆を煩し、仲木貞一氏の奔放華麗な才筆を作中の情景を點描する一木淳氏の丹青とは必ずや愛讀者各位を魅了し惱殺することを豫期して疑はない、作者仲木貞一氏は左の如く作者の言葉によりその抱負を語つてゐる。

作者の言葉
仲木貞一

我々の生活は、四方八方から責めつけられてゐる。それが社會と云ふものである。社會の爲に我々は生きてゐるやうなもので、その嚴然と決めつけられた習慣道德規則の中につゝましく生きて行けば、我々は幸福な生活を送る事が出來るのであらう。それが理想的文化人と云ふのかも知れない。

けれども、悲しい哉、我々の血の中には、幾十萬年以前の動物性が殘つてゐる。それを我々は我々の心の中のオリの中に押へつけてゐるのだが、時々番人の油斷を見すまして、その野獸性はオリから齒と爪を出したがるのである。それを押へる爲に、我々は日常不斷の苦勞をしてゐるとも云へる。

我々の生活は、一面この野獸と文明との鬪ひとも云ふ事が出來やう。其處に浮世の變化が生じ、生活の單調さを破る事が出來るのである。その最も甚だしい最近の現はれは、彼の歐洲大戰爭であると云へよう。

それ程大きくなくても、誰もの家庭に、誰もの個人生活に日常それがある。

これをば客觀的立場に立つて觀照する時、人生の中の深き哲學味を味はふ事が出來るので、ある。氣づかずにゐる自己心中の姿をば、初めて振返り見る事が出來る訓があり得るわけである。

この「海の唄」と名附くる一篇の小說は、斗實に立脚した世の中の有りの儘の姿に、然うした事件から當然起り得るカタストロフイーを事實らしく具象化して、此處に描き出したものである。

事實は小說よりも奇であると云ふ。この物語り等は、將に興味本位とも見られる程に、變化と刺戟との强いものであるが、作者の筆を下した動機とも云ふべきものを前もつて述べさせて戴く事にした。

滿倶上條の二壘打に芥田生還（第二回表）

8—1
大橋好投して法政軍慘敗
滿倶猛擊を浴せる

法大對滿倶第一回戰は豪雨晴れの十七日午後四時より滿倶球場に於て岩瀨（球）源川、宮武（壘）三氏審判の下に滿倶先攻で開始風なく暑からずグラウンド、コンデイシヨンも好くファンまた殺到したが滿倶終始法軍を壓倒し八對一で大勝す閉戰六時〇五分

▼中澤流の作戰▲

滿倶大瀧投手を立て法左投手鈴木幸を起用する、大橋投手の起用は變幻極まりなき中澤流の軍略たるを首肯せしむるに充分である、即ち法大の各打者は全く大橋投手のヒネくれた重々しい球に牛耳られて五回に入るまで藤井選手の二壘打一本他は皆凡飛に終る、ただしこの藤井選手の二壘打も綠川右翼がもう少しスタートを早く付けて居たなら決して逃して居た樣な飛球ぢやなかつた、これにひきかへ滿倶の各打者は左投手には充分慣れて居る、即ち實業の岩瀨投手を目標として充分研究を積んで居る、恐らくメンバーを交換して鈴木（幸）立つを知つたとき中澤監督各選手の頭には「打てる」と云ふ確信がひらめいたに違ひない、是の如く戰前までに中澤流軍略は藤田流の兵學を壓倒したの觀があつた

▼最初から猛打▲

滿倶は全く適中した、勝頭芥田選手が左中間に三壘打を、續く上條遊擊越二壘打、第三回には上條右翼單打、第四回には綠川の三壘打大瀧の安打とぶつ放しその他各打者も一樣に好い當りを見せて、鈴木（幸）を四回にノツクアウトせる迄に實にトウタル、ベース十、ラン五を數へ勝敗すでに決せる感があつた

▼法政の右翼手▲

而して第四回の波瀾を漸く鎭收した西垣投手も第五回勝頭片岡、疋田兩選手にともに三壘打を打たれ以後は全く制球力なく續く綠川の二壘打で遂に二點を加へられた勿論この二點は片岡、疋田、綠川選手の長打にも依るが法藤井右翼手の飛球に對する目測の拙さにも因るものと思はれる

▼法政遂に不振▲

同裏法軍矢野選手の三遊間單打をキツカケに、PH吉田選手の三遊間單打、大瀧選手の二越單打三本で一點を酬いたのみ後兩軍九回に入るまで凡退得點せず滿倶第九回に入るや芥田選球好く四球に出で上條の右飛に二進片岡の投强襲單打で一波瀾ありと思はれたが漸く法軍一點で食ひ止む疋出主將を初め片岡、上條、芥田、綠川の超努級を有し都市對抗戰に出陣せんとする前の意氣、各選手協力一致敵に當るの概玉碎を期しての乾坤一擲の猛打は法軍の陣營を微塵に飛散せしめたたゞし法軍もさるもの第二回戰には必ずや興新の意氣を示して滿倶に迫らんとするであらう

經過

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿得點	3	0	0	2	2	0	0	0	1	8
法得點	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

△第一回　滿倶吉野三邪失、芥田右中間に三壘打して吉野生還、上條の遊越二壘打に芥田生還、片岡は中犠飛して上條三進、疋田投併高須の投殺間野手本壘に投げたが間に合はず上條も生還總攻擊止む▲法政武田四球に出たが投手牽制球で一二間に挾殺され刈田三振、島三振

△第二回　滿倶時任四球、大橋遊飛、吉野の右飛野手好捕して時任を併殺▲法政藤井二飛、久保遊併後矢野三邪後遂に二擧二進し更に三盗したが鈴木（幸）三振

△第三回　滿倶芥田二邪、上條右中間二壘打したが三盗に死し片岡三邪▲法政倉二邪、大瀧二飛武田游飛

△第四回　滿倶疋田二邪失に出で二盗し高須の右飛後、綠川の一壘右を拔く三壘打に生還、時任綠川のスクイズ成つて綠川生還大橋三越單打し左翼手の球を彈く間に一擧三進、吉野四球（法政鈴木（幸）退き西垣投手となる）で二盗、芥田も四球で二死滿壘上條左飛に漸く止んだが滿倶亦二點▲法政刈田右飛、島二飛後

△第五回　滿倶片岡中堅右の三壘打、疋田も右越三壘打して片岡生還、高須三邪、綠川も右越二壘打して疋田生還、時任二邪失で綠川二進、時任二盗に死し大瀧遊邪▲法政矢野三遊間單打、（吉田西垣に代る）遊擊左を拔き矢野二進、倉中飛、大瀧二壘右を拔いて矢野生還し吉田三進、大瀧直ちに二盗して尙ほ有望だつたが武田遊飛、刈田遊邪

△第六回　滿倶（法政西垣に代り鈴木（茂）投手となる）吉野投邪芥田中飛、上條投邪▲法政成田（島に代る）遊邪、藤井四球に出たが捕手の好投に一壘に死し久保出三振

△第七回　滿倶（法政島退き成田左翼に入る）片岡一直、疋田左飛高須中飛▲法政矢野二遊間單打、鈴木（幸）の投邪、矢野を封殺、倉左飛、大瀧投邪

△第八回　滿倶綠川四球、時任中飛、綠川二盗、大橋遊邪に綠川三進、吉野一邪▲法政武田遊邪刈田一邪飛、成田左飛

△第九回　滿倶芥田四球、上條右飛片岡投手强襲單打し芥田一擧三進、疋田二邪で芥田生還、片岡二進、高須中飛▲法政藤井四球に出で投手牽制球を一壘手失して藤井二進、久保中飛、矢野の中犠飛に藤井三進、PH若林（鈴木（茂）に代る）立つたが空しく遊邪

（法　政）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
中武田	3	0	0	0	0	0	1	5	0	0
遊刈田	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0
左島田	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1
左成田	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
右藤井	2	0	1	0	0	0	2	3	1	0
三久保	4	0	0	0	0	1	0	1	2	1
一矢野	3	1	2	1	1	0	0	14	0	1
投鈴木幸	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0
投西垣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
代打吉田	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
投鈴木茂	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
代打若林	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
捕倉	3	0	0	0	0	0	0	2	2	0
二大瀧	3	0	1	0	0	0	0	1	2	2
計	33	1	5	1	1	3	3	27	13	4

（滿　倶）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
三吉野	4	1	0	0	1	0	1	0	1	1
中芥田	3	2	1	0	0	0	2	2	0	0
遊上條	2	1	2	0	0	0	0	3	5	0
捕片岡	4	1	2	1	0	0	0	3	1	0
一疋田	5	2	1	0	0	0	0	11	1	1
左高須	5	0	0	1	0	0	2	0	0	1
右綠川	3	1	2	0	1	0	1	2	0	0
二時任	2	0	0	1	0	0	1	4	1	0
投大橋	4	0	1	0	0	0	0	0	3	0
計	35	8	9	2	4	0	5	27	12	2

三壘打—芥田、綠川、片岡、疋田　二壘打—上條、綠川、藤井、大瀧　併殺—法一（藤井、矢野）　與へし安打—大橋（九回）五、鈴木幸（四回）五、西垣（二回）三、鈴木茂（四回）一　殘壘—滿六、法六　試合時間—二時間〇五分

■日活現代劇臺本より■

この母を見よ

（六六）

崎面座同人構成

倭子はシグナルの落ちるのを呆然とした意識のなかで、遠い昔の想ひ出の影をでも見るように眺めた——少しの危險をも意識せずに。

たゞ彼女は、それに依つてドッと重たい疲勞を全身に知つただけだつた。

此所まで來たら、もう大丈夫だらう、あの騷がしくも慌たゞしい跫音も此所までは追ひかけて來ないであらうといふ安心がほッと瞼先きに浮んで來た。

それと同時に、倭子の全身に色々の想ひ出、そして眼に觸れる總てのものが折り重なつて倒れかゝつて來た。

跫音が、ジクザクと彼女の感覺を踏み越えて向ふに遠去かつて行く——眩暈が眉間に渦巻いて顳顬の邊りが抉るような痛痒を覺えて來た、と思つた瞬間、倭子は何にか知らない大きく鋭い叫喚のなかにいきなり投げ込まれた。

一四七號の夜行列車が轟音熾じく此の「傷ましき母」を突き飛ばして、更にずるずると引きづつた。

「あッ！」

追ひかけて來た人々は、短いながら鋭い驚愕の叫びをあげて其の無慘な情景に眼を蔽ふた。

列車は急停車すると同時に、氣魂ましい警笛を深く凍てついた師走の夜空に響かせた。

燈を下げた列車の乘務員がひらりと列車から飛降りると忙し氣に走り寄つた。

周圍は騷然となつた。

緊張した沈默のなかで動搖が群衆を支配した。

醫者だ！

誰かゞ叫んだ、然し既に醫者を呼ぶ必要がなかつた、倭子の生命は完全な終焉の瞳を閉ぢて居た。

カンテラの薄暗い明りに照らし出された彼女の手には、血に染んだ紙幣が固握られてゐた。

時折り倭子の痙攣する唇から微かな呻き聲が漏れて來る、それは傷口から流れる血汐のように……

だが、萬事は終つてゐた。

非常事は各所に電話を以て通知された。

今まで怒號を浴びせながら追跡して來た群衆は、血にまみれて線路に斃れてゐる倭子の周圍に垣を作つた。

寂としたざわめき——。

人々は「悲慘な母」の姿を此所まで追ひかけて、初めて發見したのである。

常に人々は最後になつて　それを發見する

然し其の時は「死」だ。

人間の淺猿さである……。

突然、群衆の背後から人垣を分けて前へ前へと進んで來る女がある、狂つた樣に、髮を振り亂した洋裝の女である。恐ろしいまでに蒼褪めた顔、吊あがつた眼、何にか叫びながら無理無態に人垣を押し分けて其の女は近づいて來るのだ。

「通して頂戴！　どいてお奥れ！　あの人は妾のお友達だよ！」

千呂だ。

アパートの前を倭子が駈けて行くのを認めて今まで追駈けて來た千呂だ。

外套も着ける暇がない、薄い洋裝のまゝ、この寒い夜のなかを追つて來た雅子である。

千呂は、やつと群衆の前に現れた。

立つてゐる警官や列車乘務員を突き飛ばすように、彼女はいきなり倒れてゐる倭子を抱き起した。

倭子さん！

呼んだ、その死せる人の懷しい名を呼び續けた、無慘な其の死體を何度も搖さぶつて、嗚咽する聲を張り上げて其の名を呼んだ。

だが、倭子はもう答へない、「だから……だから……妾があの晩……あの……晩……」

千呂は、恥も外聞もなかつた、聲を立てゝ泣き崩れた。

——だから、あの晩妾が言つたのヨ、あなたは不幸だつた、慘めだつた、ミゼラブルだ！死んで行く貴女はいゝ、いやよくはない、よくはないが殘された子供は未だ可愛想だ、畜生！

千呂は冷たい倭子の身體を抱いてゐると、其所に凡樣としてゐる群衆に腹立たしいものを感じて來た、夜空も、列車も、シグナルも……そしてありとある總てのものに呪はしいものを感じて來た。

彼女は立上つた。

そして群衆に向つて、空に向つて、世間に向つて、神に向つて、キットなつて叫んだ。

誰が殺したんだ！

【寫眞は瀬花久子】

滿日文藝

滿日柳壇

『夏　痩』

夏やせを笑つて社長ひとゆすり　營口　一三
夏やせにあやかりたいと女將いひ
夏やせに下女人並の姿なり　大連　白鷺
時候夏やせ知らぬ顔で喰ひ
夏やせを案じて里の母たづね
夏やせのすみ〴〵語る生活苦　大連　柳子
夏痔とちと違つて妻はやせ
夏やせを母は餘計な氣をつかひ
夏やせをして出張の歸る朝　旅順　夏山
夏やせにしては怪しい咳拂ひ
夏やせの譯は乳母のみ知つてゐる　大連　滿山
カロリーがどうのかうのと夏痔し
夏やせとぼけて新妻眼を伏せる
あれでゐて苦力夏やせなど知らず　奉天　吉正
夏やせに流石の猛者もへこたれる　朝陽鎮　杢堂
血ふくれの蚊を夏やせの憤り
夏やせを今日も友から冷かされ
夏やせの盟を娘なぐさめる　大連　十八萬
女房の夏やせ目立つ共稼ぎ
犬までがほんとに瘠せ土用入り

新刊紹介

▲滿洲公論（七月號）（定價五十錢大連紀伊町其社發行）
▲大陸（七月號）（定價五十錢大連西公園町其社發行）
▲マンガマン（八月號）（定價二十錢東京高田馬場東京漫畫研究社發行）
▲無線電話（七月號）（定價五十錢東京日本橋通一ノ一日本無線電話普及會發行）
▲電通之友（七月號）第四十年記念號（定價一圓東京新橋際電友ビル內電報の友社發行）
▲[illegible]（七月號）（定價五十[illegible]）
▲土木[illegible]（七月號）（定價六十錢東京神田區錦町アーチシビル社發行）
▲書[illegible]（七月號）（定價卅錢東京麻布本村町四十六其社發行）
▲世界と吾等（七月號）（定價十錢東京[illegible]の十二國際聯盟協會發行）
▲受驗時代（七月號）（定價二十錢東京市谷東信濃町其社發行）